

平成25年度

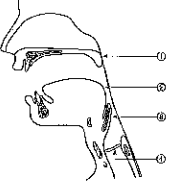
40期生

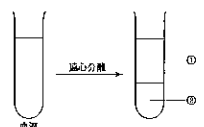
第2回統一模試

H25.10.7実施

解答・解説

問題 A		解答・解説
人体と歯・口腔の構造と機能		
1	<p>上肢を構成する骨の写真(別冊 No. 1)を別に示す。 骨の名称はどれか。 a 上腕骨 b 尺骨 c 桡骨 d 鎖骨</p> <p>▶keyword: 尺骨、桡骨、上腕骨</p>	<p>解答: c</p> <p>上肢の骨は自由上肢骨と上肢帯の骨からなる。上肢帯の骨は肩甲骨と鎖骨からなる。自由上肢骨の上腕には上腕骨が存在し、肩甲骨との間に肩関節、前腕の骨との間で肘関節をつくっている。前腕には橈骨と尺骨が並んで存在し、肘で両者がつくる関節が手首の回旋運動(回内・回外運動)を行っている。手の骨には8個の手根骨、5個の中手骨、基節骨・中節骨・末節骨からなる3個の指骨がそれぞれの指(親指は2個)から遠位に向かって連なる。写真は橈骨である。</p> <p>a × b × c ○ 橈骨は、尺骨と並行に位置する骨で、上端に関節環状面をもつ。 d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 54-56 新歯科衛生士教本 解剖学・口腔解剖学・組織発生学 15-17</p>
2	<p>硬口蓋に存在するのはどれか。 a 口蓋縫線 b 口蓋扁桃 c 口蓋舌弓 d 口蓋咽頭弓</p> <p>▶keyword: 口蓋</p>	<p>解答: a</p> <p>硬口蓋粘膜には中切歯舌側に切歯乳頭、正中線上に口蓋縫線、横断する方向に数本の横口蓋ヒダが存在する。硬口蓋と軟口蓋の構造物と機能に関連させて覚えておきたい。</p> <p>a ○ b × 口蓋扁桃は口腔側の扁桃窩に存在する。 c × 口蓋舌弓は軟口蓋と舌を結ぶヒダである。 d × 口蓋咽頭弓は軟口蓋と咽頭を結ぶヒダである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 14 新歯科衛生士教本 解剖学・口腔解剖学・組織発生学 172-173</p>
3	<p>下顎骨内面の写真(別冊 No. 2)を別に示す。 矢印に付着するのはどれか。 a 咬筋 b 側頭筋 c 外側翼突筋 d 内側翼突筋</p> <p>▶keyword: 咀嚼筋</p>	<p>解答: d</p> <p>咀嚼筋はすべて下顎枝に付着(停止)する。矢印は、内側翼突筋の付着部である下顎角内面の翼突筋粗面を示している。</p> <p>a × 咬筋は下顎角外面の咬筋粗面に付着する。 b × 側頭筋は筋突起に付着する。 c × 外側翼突筋は下顎頭前内側面にある翼突筋窩に付着する。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 37-39 新歯科衛生士教本 解剖学・口腔解剖学・組織発生学 202-204</p>
4	<p>神経堤由来はどれか。2つ選べ。 a 象牙質 b 大脳骨 c 末梢神経系 d 胃の粘膜上皮</p> <p>▶keyword: 神経堤</p>	<p>解答: a, c</p> <p>外胚葉の正中にできる神経ヒダの外側端は神経堤とよばれ、神経節をつくるほか、バラバラの細胞となって体の各所に移動し、末梢神経系などを形成する。頭部ではその細胞数が多く、頭蓋骨や象牙質、歯髄などの歯の結合組織、歯周組織などを形成する。大脳骨などの頭部以外の骨は、中胚葉から形成される。固有口腔から大腸までの消化管の粘膜上皮は、内胚葉に由来する。</p> <p>a ○ b × 中胚葉由来である。 c ○ d × 内胚葉由来である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 38-39</p>

問題 A		解答・解説	
5	<p>脂質の合成に関与する細胞小器官はどれか。</p> <p>a 滑面小胞体 b リソソーム c リソソーム d ミトコンドリア</p>	<p>解答: a</p> <p>細胞(内)小器官は、細胞の内部でさまざまな形や働きをもつ構造体のことで、オルガネラともよばれる。細胞のさまざまな働きは細胞小器官が分業している。</p> <p>a ○ b × リソソームはタンパク質の合成を行う。 c × リソソームは加水分解酵素を含み、異物や使用済みの細胞成分を分解する。 d × ミトコンドリアはエネルギー(ATP)の産生を行う。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 6-8 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 153-157</p>
▶ keyword: 細胞小器官			
6	<p>味覚の基本味に含まれるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 苦味 b 渋味 c 辛味 d 酸味</p>	<p>解答: a, d</p> <p>味覚は、基本的に5種類の味から構成される。従来は、甘味、酸味、苦味および塩味の4種類が基本味とされてきたが、近年、うま味が第5の味として認知されるようになった。なお、味覚は特殊感覚(特殊化した細胞が刺激を受容して中枢へ伝える)の1つである。</p> <p>a ○ b × 基本味に含まれない。 c × 基本味に含まれない。 d ○</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 74-75</p>
▶ keyword: 味覚、基本味、特殊感覚			
7	<p>頭頸部の正中断面の模式図を示す。</p>  <p>喉頭原音をつくる部位はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p>	<p>解答: d</p> <p>発声は、肺から呼吸を吐き出すことによって、喉頭にある声帯を振動させて音(喉頭原音)をつくる。喉頭より上の咽頭、口腔、鼻腔からなる声道で音が響き(共鳴)、声道を変形させて音声(言語音)に変えられる(構音)。発声・発音機能は、この発声・共鳴・構音の3要素から成り立つ。</p> <p>a × 図では、ちょうど鼻咽腔が閉鎖している。鼻咽腔閉鎖は、鼻音化していない母音の発音時や鼻音以外の子音の発音時、嚥下時などにみられる。 b × 睡眠中の筋肉の弛緩などにより仰臥位で舌や下顎が咽頭方向へ沈下すると、上気道が狭窄・閉塞して、いびきや閉塞性睡眠時無呼吸が生じることがある。 c × 喉頭蓋に相当する。図では、上を向いているが、嚥下時(咽頭期)にはこれが反転して喉頭口を閉鎖し、食塊が気管内に入ることを防いでいる。 d ○ 声帯の部分である。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 124-135</p>
▶ keyword: 発声、構音、喉頭原音			

問題 A		解答・解説	
8	<p>感覚とその受容器との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 視覚—有毛細胞 b 聴覚—杆状体細胞 c 痛覚—自由神経終末 d 温度覚—メルケル小体</p>	<p>解答: c</p> <p>感覚は、受容器から大脳皮質まで独立した伝導系をもつ特殊感覚と、そうでない体性-内臓感覚の2つに大きく分類される。特殊感覚には、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、平衡感覚がある。体性感覚には、痛覚、触(圧)覚、冷覚、温覚などの表面感覚と重量・位置・運動感覚などの深部感覚がある。内臓感覚としては、内臓痛のほか、空腹感やかわき感(口渴感)などが知られている。</p> <p>a × 視覚は特殊感覚の1つであり、網膜にある視細胞で光を受容する。視細胞には、明暗を受容する杆状体細胞と色を受容する錐状体細胞がある。 b × 聴覚は特殊感覚の1つであり、空気の振動として鼓膜に伝えられた音波は、内耳の蝸牛管の一部が特殊化したラセン器(コルチ器官)にある有毛細胞に感受される。 c ○ 自由神経終末は、感覚神経繊維の末端が末梢で特別な構造をつくることなく終わる終末である。痛覚、触覚、温度感覚を受容するといわれる。 d × メルケル小体は、表皮の基底層に存在する明瞭な細胞であるメルケル細胞に神経終末が接するもの。これに接する神経終末は円錐状に広がり、触門板とよばれる。持続的な圧刺激を受容するといわれている。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 189-205 基礎歯科生理学 第5版 155-201</p>
▶ keyword: 体性感覚、特殊感覚、受容器			
9	<p>抗凝固剤を加えた血液を遠心分離した図を示す。</p>  <p>①はどれか。</p> <p>a 血球 b 血漿 c 血清 d 血餅</p>	<p>解答: b</p> <p>抗凝固剤を加えて血液を遠心分離すると、血漿と血球に分離される。</p> <p>a × 血球は、②の部分占める。 b ○ c × 血清は、血漿から血液凝固成分(フィブリノーゲン)を取り除いたものである。 d × 血餅は、血液が凝固したものである。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 116-118</p>
▶ keyword: 赤血球			
疾病の成り立ち及び回復過程の促進			
10	<p>先天欠如の頻度が高いのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 上顎中切歯 b 上顎側切歯 c 下顎第二小臼歯 d 下顎第一大臼歯</p>	<p>解答: b, c</p> <p>一部の歯が先天的に欠如しているものを部分的無歯症という。永久歯では第三大臼歯、上顎側切歯、第二小臼歯の先天欠如の頻度が高い。</p> <p>a × 欠如しにくい。 b ○ 前歯群の最後部の歯であり、欠如しやすい。 c ○ 小臼歯群の最後部の歯であり、欠如しやすい。 d × 欠如しにくい。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 70-71</p>
▶ keyword: 先天欠如			

問題 A		解答・解説
11	<p>重層扁平上皮が認められるのはどれか。</p> <p>a 上行性歯髄炎 b 急性化膿性歯髄炎 c 慢性化膿性歯髄炎 d 慢性増殖性歯髄炎</p> <p>▶ keyword : 慢性増殖性歯髄炎</p>	<p>解答 : d</p> <p>歯髄炎は急性歯髄炎と慢性歯髄炎に分類される。比較的増殖能力の旺盛な若年者の歯髄では、慢性的な弱い刺激に応じて、肉芽組織が芽状に増殖し、歯髄ポリープを形成することがある。その表層を被覆する重層扁平上皮は、口腔粘膜上皮に由来すると考えられている。</p> <p>a × 歯周炎や骨髄炎が根尖孔から歯髄に波及したもので、急性炎症の症状を呈する。</p> <p>b × 臨床的に急性症状を示す化膿性炎で、軟化象牙質に覆われ、仮性露髄の状態にある。</p> <p>c × 開放性の歯髄炎で、歯髄表層は潰瘍を形成している。</p> <p>d ○ 芽状の肉芽組織の増殖がみられる歯髄炎で、表層は重層扁平上皮で被覆されていることが多い。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 97-101</p>
12	<p>偏性細胞寄生性の病原微生物はどれか。</p> <p>2つ選べ。</p> <p>a プリオン b ウイルス c リケッチア d マイコプラズマ</p> <p>▶ keyword : 偏性細胞寄生性、宿主細胞、代謝経路</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>病原微生物の特性は基本的な知識である。偏性細胞寄生性とは、寄生先の宿主細胞に依存して生存・増殖する性質である。</p> <p>a × プリオンは生命体ではなく、感染性タンパク質である。</p> <p>b ○ 細胞構造と代謝経路を持たず、自己増殖能がないので、寄生先の宿主細胞に依存し増殖する。</p> <p>c ○ 代謝経路を一部欠いているので、寄生先の宿主細胞の補充に依存して増殖する。</p> <p>d × マイコプラズマは自己増殖能があり、人工培地に発育するので、偏性細胞寄生性ではない。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 微生物学 15、43-46、48-54</p>
13	<p>ミュータンスレンサ球菌の歯病原性の特性でないのはどれか。</p> <p>a 耐酸性 b 耐塩性 c 乳酸産生能 d 不溶性グルカンの産生</p> <p>▶ keyword : ミュータンスレンサ球菌、歯病原細菌</p>	<p>解答 : b</p> <p>ミュータンスレンサ球菌は、プラーク中や舌表面、唾液にも生息する歯病原細菌である。</p> <p>a ○</p> <p>b × 耐塩性をもつのはブドウ球菌であり、10%の食塩存在下でも増殖できる。ブドウ球菌の分離には高濃度の食塩を加えた選択培地を用いる。</p> <p>c ○ スクロースをインペルターゼで構成単糖（グルコース、フルクトース）に分解した後に、個々の単糖を発酵して乳酸を産生する。</p> <p>d ○ 複数のグルコシルトランスフェラーゼ（GTF）の酵素作用によりスクロースから不溶性グルカンを生成する。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 微生物学 126-127</p>

問題 A		解答・解説															
14	<p>デンタルプラーク細菌の運動性を生きた状態で観察するのに適しているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 暗視野顕微鏡 b 位相差顕微鏡 c 透過型電子顕微鏡 d 走査型電子顕微鏡</p> <p>▶ keyword : 光学顕微鏡、電子顕微鏡、運動性細菌</p>	<p>解答 : a, b</p> <p>顕微鏡には色々な種類があり、観察対象物や観察目的によって使い分けている。細菌は全長1~10 μm 程度なので、これらを肉眼でみえる大きさにまで拡大して観察するのに光学顕微鏡が適している。より微細な構造を観察するには電子顕微鏡を用いる。</p> <p>a ○ 光学顕微鏡の一種で、1,000倍にまで拡大すれば、細菌を個々の細胞レベルで観察できる。暗視野顕微鏡は試料に固定・染色などの処理を加えないので、細菌を生きた状態で観察できる。運動性細菌の観察に適している。</p> <p>b ○ 光学顕微鏡の一種で、1,000倍にまで拡大すれば、細菌を個々の細胞レベルで観察できる。位相差顕微鏡は細菌試料を未処理のまま、生きた状態で観察できるので、運動性細菌の観察に適している。</p> <p>c × 電子顕微鏡の拡大倍率は数万倍以上と非常に高く、菌体の精密な構造を観察するのに適しているが、あらかじめ重金属で処理し固定した試料に電子線を照射するため、細菌を生きた状態では観察できない。</p> <p>d × 透過型電子顕微鏡と同じ理由で、生きた状態では観察できない。走査型の場合は菌体の表層構造を立体的なイメージとして把握できる。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 微生物学 171-173</p>															
15	<p>4つの薬物のED₅₀とLD₅₀を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ED₅₀</th> <th>LD₅₀</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>10</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>最も安全性の高い薬物はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 安全域、治療係数</p>		ED ₅₀	LD ₅₀	①	10	100	②	1	10	③	1	50	④	5	10	<p>解答 : c</p> <p>用量-反応曲線において、50%の個体に薬理反応を引き起こす用量を50%有効量(ED₅₀)といい、50%の個体が死亡する用量を50%致死量(LD₅₀)という。安全域(治療係数)は、薬物の急性毒性の指標となり、LD₅₀/ED₅₀の値である。一般的に、この係数が大きいほど安全である。</p> <p>a × 安全域は100/10=10である。</p> <p>b × 安全域は10/1=10である。</p> <p>c ○ 安全域は50/1=50である。</p> <p>d × 安全域は10/5=2である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 薬理学 11-12</p>
	ED ₅₀	LD ₅₀															
①	10	100															
②	1	10															
③	1	50															
④	5	10															
16	<p>内服薬はどれか。</p> <p>a 坐剤 b 丸剤 c トローチ d パップ剤</p> <p>▶ keyword : 内服薬、坐剤、トローチ、パップ剤</p>	<p>解答 : b</p> <p>内服薬とは、経口投与で使用される薬のことである。</p> <p>a × 坐剤は肛門または陰に適用する固形の外用薬である。</p> <p>b ○ 丸剤は医薬品を球状にした固形の内服薬である。</p> <p>c × トローチは口腔や咽喉などの局所に適用する外用薬である。</p> <p>d × パップ剤は医薬品の粉末と精油成分を含み、湿布などに用いる泥状(粘土状)の外用剤である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 薬理学 8 新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 45-49</p>															

問題 A		解答・解説																																				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み																																						
17	<p>ペリクルの生理的機能はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯の脱灰の抑制 b 歯の透明度促進 c 口腔細菌への抗菌効果 d 歯面への口腔細菌の選択的付着</p> <p>▶ keyword: ペリクル、機能、細菌、脱灰</p>	<p>解答: a、d</p> <p>ペリクルは萌出もしくは完全研磨などによる新鮮な歯面の露出直後の歯面に、唾液由来のタンパク質や粘タンパク質が吸着されて、形成された無色透明で1μm未満の有機性の薄膜である。ペリクルは微生物を含まないが、ペリクルを構成している糖タンパク質と細菌表面の特異的なレセプターが結合するため、主としてレンサ球菌が選択的に結合する。薄膜を形成することにより、歯面を酸や物理的刺激などの外的刺激から保護する。また、溶け出したカルシウムやリンを拡散させないようにして歯の脱灰を抑制し、再石灰化を促進している。</p> <p>a○ ペリクルの薄膜形成により、酸による歯の脱灰を抑制する。 b× ペリクルによる歯の透明度の促進は認められない。 c× ペリクルは細菌を含まないが、抗菌効果はなく、細菌が付着してプラークを形成する足場となる。 d○ 口腔細菌はイオン結合や水素結合などの電気的相互作用、ペリクルの糖タンパク質と細菌の特異的なレセプターを結合させる特異的相互作用、ファンデルワールス力などでペリクルに付着している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 108 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 91</p>																																				
18	<p>歯磨剤の組成を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研磨剤</td> <td>0.0</td> <td>40.0</td> <td>90.0</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>潤滑剤</td> <td>20.0</td> <td>25.0</td> <td>0.0</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>発泡剤</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>粘結剤</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>香味剤</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>保存剤</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>この表で粉、錠、液状、液体に分類したとき歯磨剤はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: 歯磨剤、組成、練歯磨剤</p>		①	②	③	④	研磨剤	0.0	40.0	90.0	20.0	潤滑剤	20.0	25.0	0.0	70.0	発泡剤	2.0	2.0	1.5	1.5	粘結剤	0.0	1.0	0.0	1.0	香味剤	1.0	1.0	1.0	1.0	保存剤	0.5	0.5	0.5	0.5	<p>解答: b</p> <p>「歯みがき類」はその働きだけでなく、形状により、粉、潤滑、練、液状、液体に分類される。この分類は主として研磨剤（清掃剤）の組成の違いが顕著である。練歯磨剤と液状歯磨剤では液状歯磨剤のほうが研磨剤が少なく潤滑剤が多い。</p> <p>a× 液体歯磨剤である。 b○ 練歯磨剤である。 c× 粉歯磨剤である。 d× 液状歯磨剤である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 125-127</p>	
	①	②	③	④																																		
研磨剤	0.0	40.0	90.0	20.0																																		
潤滑剤	20.0	25.0	0.0	70.0																																		
発泡剤	2.0	2.0	1.5	1.5																																		
粘結剤	0.0	1.0	0.0	1.0																																		
香味剤	1.0	1.0	1.0	1.0																																		
保存剤	0.5	0.5	0.5	0.5																																		

問題 A		解答・解説	
19	<p>生体においてフッ化物の摂取率が最も高いのはどれか。</p> <p>a 食品 b 飲料水 c 空気 d お茶</p> <p>▶ keyword: フッ化物、代謝、吸収、飲料水</p>	<p>解答: b</p> <p>フッ化物は胃や小腸などの消化管から吸収され、飲料水からの吸収が最も高いとされている。消化管から吸収されたフッ化物は約90%が血液を介して尿中に排泄される。空気中に高濃度のフッ化物が存在する場合は、肺からも吸収される。</p> <p>a× フッ化物は食品のなかでも魚介類や海藻などに多く含まれているが、蛋白質やタンパク質と強く結合しているため、食品から摂取したフッ化物の吸収率は飲料水よりも低いとされている。</p> <p>b○ 飲料水中に溶解しているフッ化物は86~97%程度の吸収率を示す。 c× 空気中にもフッ化物は存在する。フッ化物を含んだ土壌や塵埃由来のものや工場から排泄されるものなどがあるが、日本では工場からの排気には、浄化装置の整備によりフッ化物はほとんど排出されない。 d× 茶葉に含まれるフッ化物の量は多いが、飲料として摂取するときは1ppmFほどになる。吸収率は飲料水より低いとされている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 154-155</p>	
20	<p>CPIにあてはまるデータ分類はどれか。</p> <p>a 間隔尺度 b 順序尺度 c 名義尺度 d 比率尺度</p> <p>▶ keyword: データの尺度、保健統計</p>	<p>解答: b</p> <p>保健統計で取り扱うデータはその特徴から間隔尺度、順序尺度、名義尺度、比率尺度の4つに分類される。その分類によってデータの取り扱いとその後の処理が異なる。</p> <p>a× 日数などの等間隔性が保たれているときの尺度である。摂氏(°C)、華氏(°F)は間隔尺度であり、値の差に意味があるが、その比率には意味をもたない。 b○ 順序尺度は、「よい」「ふつう」「悪い」のように順序に意味はあるが、その間隔には意味がない尺度のことである。CPIやう蝕の分類C₁~C₄などが該当する。 c× 名義尺度は、男女、検査者コードなどのように分類のみに意味があり、順序には意味がない尺度のことである。 d× 比率尺度は0点を有するもので、値の差のみならず値の比率にも意味がある。身長、体重、う蝕有病者率や歯周ポケットの深さなどの測定値は比率尺度である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 89-90</p>	
21	<p>1歳6か月児歯科健康診査では細分化するが、3歳児歯科健康診査では細分化しないう蝕罹患型はどれか。</p> <p>a O型 b A型 c B型 d C型</p> <p>▶ keyword: う蝕罹患型、1歳6か月児、3歳児</p>	<p>解答: a</p> <p>1歳6か月児は3歳児よりう蝕罹患率が低く、今後のう蝕発生リスクを軽減するためにう蝕罹患型のO型が細分化されている。3歳児はう蝕罹患率が高くなっていくが、う蝕感受性の低い下顎前歯部のみう蝕罹患者については、う蝕多発傾向を区分するためC型が細分化されている。</p> <p>a× う蝕がない場合はO型と判定される。1歳6か月児ではさらにO₁型とO₂型の、口腔内環境がよい場合と悪い場合とに区分して、今後のう蝕の発生を効果的に抑制するよう指導する。 b○ 上顎前歯部のみ、または白歯部のみう蝕がある場合の罹患型である。 c○ 白歯部および上顎前歯部にう蝕がある場合の罹患型である。 d○ 白歯部および上下顎前歯部にう蝕がある場合の罹患型であるが、3歳児歯科健康診査では、下顎前歯部のみう蝕があるC1型、下顎前歯部を含むほかの部位にう蝕があるC2型に区分する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 247-249</p>	

	問題 A	解答・解説																																																																																																
22	<p>学校における定期歯科健康診断の結果の一部を圖に示す。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>CO</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>CO</td><td></td> </tr> <tr> <td>上</td><td></td><td></td><td>X</td><td>E</td><td>D</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td></td><td>下</td> </tr> <tr> <td>下</td><td></td><td></td><td>X</td><td>E</td><td>D</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td></td><td>上</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>X</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> </table> <p>DMF 歯数はどれか。 a 5 b 6 c 7 d 8</p> <p>▶ keyword : DMF</p>	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8				CO											CO		上			X	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		下	下			X	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		上				X													8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	<p>解答: a DMF は永久歯のう蝕経験であるので、CO は D に含めない。乳歯のう蝕経験は def となる。 a ○ C (D)=3 本、△ (M)=1 本、○ (I)=1 本の合計 5 本 b × c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 39-42</p>
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																			
			CO											CO																																																																																				
上			X	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		下																																																																																			
下			X	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		上																																																																																			
			X																																																																																															
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																			
23	<p>口腔内の付着物・沈着物で微生物を含むのはどれか。2 つ選べ。 a 舌苔 b ステイン c プラーク d ペリクル</p> <p>▶ keyword : プラーク、ペリクル</p>	<p>解答: a, c 歯の表面にはさまざまな付着物・沈着物が存在し、これらは歯と口腔の健康維持に大きな影響を与える。 a ○ 舌背の中央部から舌根にかけて付着する黄白色の堆積物で、微生物、剝落角化上皮、唾液成分などから構成される。 b × 外来性色素沈着物で、お茶などの非金属色素沈着物と金属性粉塵の金属色素沈着物がある。 c ○ 湿重量 1g あたり 1.0~2.5×10¹¹個の微生物が含まれているときれ、う蝕や歯周病などの直接的な原因となる。 d × 歯面に形成された有機性の薄膜で、微生物を含まない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 108-114</p>																																																																																																
24	<p>プラークが原因となりうるのはどれか。 a 口腔乾燥症 b 口臭恐怖症 c 真性口臭症 d 歯の酸蝕症</p> <p>▶ keyword : プラーク、口臭</p>	<p>解答: c 口臭診断分類では、口臭症は真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症に分類され、現在の国際的基準となっている。そのうちプラークが原因となるのは真性口臭症である。 a × 唾液分泌量の低下が原因である。 b × 心身症や統合失調症の症状の 1 つである。 c ○ 真性口臭症のうち生理的口臭、口腔由来の病的口臭の原因は舌苔やプラークである。 d × 歯の酸蝕症は、産業職場で発生した酸のガスやミスト、摂食障害による嘔吐の際の胃酸が直接歯に接触することにより生じるといわれるエナメル質からの脱灰症状である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 196-199</p>																																																																																																

	問題 A	解答・解説
25	<p>我が国において全死亡数に対する割合が増加傾向にあるのはどれか。 a 肺炎 b 心疾患 c 悪性新生物 d 脳血管疾患</p> <p>▶ keyword : 主要死因、死亡率</p>	<p>解答: a 近年の我が国における主要 4 死因は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎となっている。死因構造の中心は感染症からいわゆる生活習慣病へと大きく変化している。 a ○ 肺炎による死亡割合は平成 12 年に初めて 9% を超え、以後増加傾向にある。 b × 心疾患による死亡割合は若干ながら減少している。 c × 悪性新生物による死亡割合は 30% を超えていたが、平成 22 年は 29.5% であった。 d × 脳血管疾患による死亡割合は確実に減少している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 28-29 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 24-26</p>
26	<p>地球環境の変化と健康影響の組合せで正しいのはどれか。 a 温暖化——皮膚がんの増加 b 砂漠化——呼吸器系疾患の増加 c 酸性雨——食中毒の多発 d オゾン層破壊——免疫機能の低下</p> <p>▶ keyword : 地球環境の変化</p>	<p>解答: d 地球規模で起こっている環境変化は生態系にさまざまな影響を及ぼしており、ヒトの健康に影響をもたらしていることが知られている。 a × 温暖化の影響は、感染症流行域の拡大や食中毒の多発などが知られている。皮膚がんの増加はオゾン層破壊の影響として知られている。 b × 呼吸器系疾患の増加は大気汚染との関連が考えられている。 c × 酸性雨の影響は、農作物への影響、河川の酸性化などが知られている。 d ○ オゾン層破壊の影響は、皮膚がんや白内障の増加、免疫機能の低下などが知られている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 49-51 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 50-53</p>
27	<p>公共施設における受動喫煙防止を規定しているのはどれか。 a 地域保健法 b 環境基本法 c 健康増進法 d 母子保健法</p> <p>▶ keyword : 健康増進法、受動喫煙防止</p>	<p>解答: c 喫煙は喫煙者自身のみならず、周囲の者に対しても大きな影響を及ぼすことが明らかになってきた。そのため、受動喫煙防止対策が広く講じられるようになってきた。 a × 地域保健推進のための基本方針などを定めている。 b × 環境保全のための基本理念などを定めている。 c ○ 第 25 条において、多数の者が利用する施設を管理する者に対して受動喫煙防止のための措置を講ずることが示されている。 d × 母性、乳児および幼児の健康の保持と増進をはかることを目的としている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 236-238 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 10-11</p>
28	<p>病因因子への曝露の有無に着目した疫学研究法はどれか。 a 横断研究 b 臨床研究 c コホート研究 d 患者対照研究</p> <p>▶ keyword : 疫学研究法、コホート研究</p>	<p>解答: c 疫学研究法は、時間的経過からみるものと病因因子への曝露の有無に着目したものとに分類できる。 a × ある時点で発生状況や分布をみる。 b × 臨床的な問題の解決のために疫学的方法を応用するものであり、必ずしも病因因子への曝露の有無にだけ着目するものではない。 c ○ 病因因子への曝露の有無に着目して分析する。 d × 疾病の有無に着目する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生歯学 10-16 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 57-59</p>

問題 A		解答・解説	
29	トータル・ヘルスプロモーション・プランについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a 生活状況が調査される。 b 40歳以上が対象となる。 c 労働基準法に規定されている。 d 必要に応じてメンタルヘルスケアが実施される。	解答: a, d トータル・ヘルスプロモーション・プラン (THP) はすべての労働者を対象として、その心身両面の健康の保持・増進をはかる事業である。 a ○ 健康測定の項目として実施される。 b × すべての労働者を対象としている。 c × 「労働安全衛生法」の規定に基づき推進されている。 d ○ 必要に応じて、運動指導、保健指導、メンタルヘルスケア、栄養指導が実施される。	文獻: 最新歯科衛生士教本 保健生化学 291-292 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 7, 167-169
▶keyword: 産業保健、トータル・ヘルスプロモーション・プラン			
30	ワクチンの定期接種が勧奨されているのはどれか。2つ選べ。 a ポリオ b 風疹 c B型肝炎 d 流行性耳下腺炎	解答: a, b 我が国では、感染症ワクチンの接種は義務接種から「受けるよう努めなければならない」(努力義務)に変更された。また、集団予防に比重をおいた「二類疾病」と個人予防に比重をおいた「二類疾病」に分けており、二類疾病については各自の判断に基づいて接種を受けることとなっている。 a ○ 生ワクチンが接種される。 b ○ 生ワクチンが接種される。 c × 任意接種(不活化ワクチン)である。 d × 任意接種(生ワクチン)である。	文獻: 最新歯科衛生士教本 保健生化学 67-68 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 74-76
▶keyword: 予防接種			
31	医療保険の給付で現物給付が行われるのはどれか。 a 移送費 b 出産手当金 c 疾病手当金 d 入院時食事療養費	解答: d 医療保険制度には現物給付と現金給付がある。前者は保険者から医療機関に直接支払われるもの、後者は患者がまず医療機関に支払い、事後に保険者から患者に支払うものと、保険者から事前に患者に支払い、患者が医療機関に支払うものがある。 a × 現金給付である。 b × 現金給付である。 c × 現金給付である。 d ○	文獻: 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第7版 78-80
▶keyword: 医療保険、現物給付			
32	福祉業務とその根拠となる法律の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。 a 生活保護の決定—生活保護法 b 身体障害者の発見—知的障害者福祉法 c 母子家庭への指導—母子保健法 d 高齢者の施設への入所措置—老人福祉法	解答: a, d 社会福祉業務は、国家扶助の適用を受けている者、身体障害者、児童その他保護育成を必要とする者が、自立してその能力を發揮できるよう、必要な生活指導、更生指導、その他の保護育成を行うことを目的としている。福祉六法とは、生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、老人福祉法、母子及び寡婦福祉法をいう。 a ○ 生活保護法は、生活扶助など8種類の扶助が定められている。 b × 身体障害者の発見は、身体障害者福祉法である。 c × 母子家庭への指導は母子及び寡婦福祉法に示されている。 d ○ 老人福祉法は、高齢者の老人ホーム等への入所について定めている。	文獻: 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第7版 93-108
▶keyword: 社会福祉制度、福祉六法			

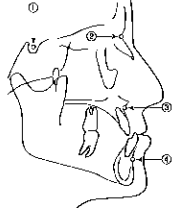
問題 A		解答・解説	
33	アミノ酸について正しいのはどれか。2つ選べ。 a リジン: 米の第一制限アミノ酸 b ロイシン: とうもろこしの第一制限アミノ酸 c グリシン: 必須アミノ酸 d メチオニン: 含硫アミノ酸	解答: a, d 食品のタンパク質に含まれる必須アミノ酸のうち、最も不足している必須アミノ酸を第一制限アミノ酸とよぶ。必須アミノ酸とは、タンパク質を構成している約20種類のアミノ酸のうち体内で合成できないアミノ酸のことで、バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン(スレオニン)、フェニルアラニン、トリプトファン、メチオニン、リジン、ヒスチジンの9種類をさす。含硫アミノ酸とは硫黄を含んだアミノ酸の総称で、メチオニン、システイン、システインなどのことである。 a ○ リジンは米、小麦の第一制限アミノ酸である。 b × ロイシンはじゃがいもの第一制限アミノ酸である。 c × グリシンは非必須アミノ酸である。 d ○ メチオニンは含硫アミノ酸の1つである。	文獻: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 18-20, 145-148 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 54-59, 184-190
▶keyword: 第一制限アミノ酸、必須アミノ酸、含硫アミノ酸			
34	n-3系脂肪酸はどれか。 a オレイン酸 b パルミチン酸 c アラキドン酸 d ドコサヘキサエン酸	解答: d n-3系脂肪酸とは、脂肪酸の構造式のメチル基側から数えて、最初の二重結合の位置が3番目と4番目の炭素-炭素結合に現れる多価不飽和脂肪酸をいう。また、脂肪酸の構造式のメチル基側から数えて、最初の二重結合の位置が6番目と7番目の炭素-炭素結合に現れる多価不飽和脂肪酸をn-6系脂肪酸とよぶ。 a × オレイン酸はオリーブ油に多く含まれる一価不飽和脂肪酸である。 b × パルミチン酸は飽和脂肪酸である。 c × アラキドン酸は必須脂肪酸の1つで、n-6系脂肪酸である。 d ○ ドコサヘキサエン酸(DHA)は魚油に多く含まれるn-3系脂肪酸である。	文獻: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 153-156
▶keyword: n-3系脂肪酸			
歯科衛生士概論			
35	歯科衛生士の業務独占はどれか。2つ選べ。 a 歯科保健指導 b 精密印象採得 c 予防的歯石除去 d フッ化物歯面塗布	解答: c, d 業務独占とは、その免許を得たものでなければその業務(仕事)をしてはならないよう規定されたものをさす。フッ化物応用や機械や器具を用いた歯面清掃、予防的歯石除去など歯科疾患の予防のために行う歯科予防処置は歯科衛生士の業務独占である。一方、歯科診療の補助は、保健師助産師看護師法第5条の一部で、看護師の業務独占である。歯科衛生士は歯科衛生士法(第二条2)により開放される。 a × 歯科保健指導は誰が行ってもよいが、歯科衛生士であることを名乗って行うことができる名称独占である。 b × 精密印象採得は、絶対的医行為であり、歯科衛生士は行えない。 c ○ d ○	文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 42-47
▶keyword: 業務独占、名称独占、歯科衛生士法			
臨床歯科医学			
36	貧血の分類に必要な検査項目はどれか。2つ選べ。 a 血清鉄 b HbA1c c ビタミンB ₁₂ d 総コレステロール	解答: a, c 貧血の有無はまず血液一般検査を行い、分類には網状赤血球数、血清鉄、ビタミンB ₁₂ や葉酸を検査する。 a ○ b × HbA1cは糖尿病の検査である。 c ○ d × 総コレステロールは脂質の代謝の検査である。	文獻: 最新歯科衛生士教本 臨床検査 26-27, 71-72 新歯科衛生士教本 臨床検査法 71-79
▶keyword: ビタミンB ₁₂ 、血清鉄			

問題 A		解答・解説	
37	下顎右側犬歯の窩洞の写真(別冊 No. 3)を別に示す。 正しいのはどれか。 a 2 級窩洞 b 3 級窩洞 c 4 級窩洞 d 5 級窩洞	解答: b 症例は、遠心隣接面に発生したう蝕に対する窩洞で、切縁隅角の除去および修復を必要としないものである。 a × b ○ c × d ×	文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 22-23 新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 29-31 保存修復学 第6版 110-111
▶ keyword: 窩洞の分類			
38	下顎左側第一小臼歯歯頸部へのレジン添加型グラスアイオノマーセメント修復中の口腔内写真(別冊 No. 4)を別に示す。 直前に行った操作はどれか。 a 窩洞の水洗 b 修復材の増築 c 歯面処理工材の塗布 d パーニッシュの塗布	解答: b 写真は下顎左側第一小臼歯へ光照射をしているところである。レジン添加型グラスアイオノマーセメント修復中に光照射を必要とするのは、セメント自体の重合硬化のためである。 a × 窩洞の水洗にはスリーウェイシリンジを用いる。 b ○ レジン添加型グラスアイオノマーセメントは光重合触媒が配合しており、光照射によって重合硬化する。 c × レジン添加型グラスアイオノマーセメントの歯面処理工材はポリアクリル酸水溶液であり、光照射を必要としない。 d × パーニッシュの塗布後は光照射を必要としない。	文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 92-95
▶ keyword: レジン添加型グラスアイオノマーセメント、前処理			
39	コンボジットレジン修復中の口腔内写真(別冊 No. 5)を別に示す。 行っている処置はどれか。 a 即時歯間分離 b 緩徐歯肉排除 c ラバーダム保湿 d マトリックスリテーナーによる隔壁法	解答: a 写真は、簡易防湿下での上顎左側中切歯 4 級窩洞への木製ウェッジと透明ストリップスを挿入している状態を示している。隔壁法は、複雑窩洞の単純化を主目的として採用されている。 a ○ ウェッジは即時歯間分離に採用されている。歯間に挿入することにより、歯間乳頭部歯肉の排除やマトリックスの固定も同時に施すことが可能である。 b × 写真は即時歯肉排除を行っている状態である。緩徐歯肉排除には、テンポラリーストップピングや暫間被覆冠などを用いる。 c × 上唇部へのロールワッテ(巻き綿花)挿入による簡易防湿が施されている。 d × 透明ストリップスをウェッジで固定することにより、隔壁法を行っている。	文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 105-110 新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 62-65
▶ keyword: 即時歯間分離			
40	抜歯時の髄室開拡に使用する器具はどれか。2つ選べ。 a レンツロ b スプレッター c ラウンドバー d ダイアモンドポイント	解答: c, d 髄室開拡時には、まずスチールバーやスプーンエキスカベーターで軟化象牙質を除去し、次いでダイヤモンドポイントでエナメル質を除去し、髄室への穿通を行う。その後、天蓋歯質を完全に切り除き、根管口を明示する。 a × 根管充填用シーラーの根管内への搬送と填入に使用する。 b × 側方加圧根管充填法を実施する際に、ガッタバーチャポイントを根管壁に加圧圧接するための器具である。 c ○ 軟化象牙質を切削除去する器具である。 d ○ エナメル質と象牙質の切削除去に使用する。	文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 149-151
▶ keyword: 軟化象牙質、天蓋除去、髄室開拡			

問題 A		解答・解説	
41	15%濃度で使用し中性で無機質溶解作用のある根管清浄薬はどれか。 a EDTA b 生理食塩水 c 過酸化水素水 d 次亜塩素酸ナトリウム	解答: d 根管清浄薬は有機質溶解剤と無機質溶解剤に大別される。前者には次亜塩素酸ナトリウムが使われアルカリ性で、潤滑作用により器具操作を滑らかにし、消毒作用を有する。後者には EDTA が使われ、中性でキレート作用により歯質を軟化し、狭窄根管や石灰化根管の拡大時に使用する。また、スミア層除去効果に優れている。 a ○ 15%で使用し、中性領域で、キレート作用により無機質溶解作用を有する。 b × 清浄剤の洗い流しに使用するが、薬剤としての効果はない。 c × 1~3%で使用し、次亜塩素酸ナトリウムと交互に使用すると発泡作用がみられる。 d × アルカリ性で有機質溶解作用を有する根管清浄薬である。	文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 156
▶ keyword: 根管清掃、無機質溶解、中性			
42	ブランクについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a 有機成分の70%は細菌である。 b バイオフィームを形成している。 c 形成初期にはグラム陰性桿菌が多い。 d 深い歯周ポケットには好気性菌が多い。	解答: a, b ブランクは、歯の表面に付着した細菌の塊であり、歯周病の直接的な原因因子である。 a ○ b ○ ブランクは、バイオフィームを形成しており、細菌の塊として存在する。 c × 形成初期にはグラム陽性菌が多いが、成熟してくると嫌気性のグラム陰性桿菌やスピロヘータなどが増加してくる。 d × 深い歯周ポケットの歯肉線下ブランクでは、主に嫌気性菌が優勢となる。歯肉線下ブランクでは、主に好気性菌が優勢となる。	文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27-30
▶ keyword: ブランクバイオフィーム			
43	アタッチメントレベルについて正しいのはどれか。 a 歯肉頂からポケット底部までの距離 b 歯肉頂から歯肉歯槽粘膜境までの距離 c セメント-エナメル境から歯肉頂までの距離 d セメント-エナメル境からポケット底部までの距離	解答: d アタッチメントレベルは、セメント-エナメル境からポケット底部の位置を示し、歯周組織の破壊程度や治療後の改善度が把握できる。 a × プロービングデプス (PD) である。 b × 角化歯肉幅である。 c × 歯根膜がセメント-エナメル境より歯根側にある場合、歯肉退縮量である。 d ○ 付着レベルが測定できるアタッチメントレベル (AL) である。	文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 54
▶ keyword: アタッチメントレベル			
44	歯周外科治療について正しいのはどれか。 a フラップ手術は外斜切開を伴う。 b 歯肉切除術は付着歯肉幅の狭い前歯に適応である。 c 歯周ポケット掻爬術は線維性の歯肉増殖症に行う。 d 新付着術はクレーン-カプランのポケットマーカーを用いる。	解答: d 歯周外科治療について理解することは重要である。 a × フラップ手術は内斜切開を伴う。 b × 歯肉切除術は前歯の場合は審美性の問題があり、付着歯肉幅の狭い場合には禁忌である。 c × 歯周ポケット掻爬術は、線維性の歯肉増殖症において禁忌である。 d ○	文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 79-101
▶ keyword: 歯周外科治療			

問題 A		解答・解説
45	<p>総義歯製作過程の写真（別冊 No. 6）を別に示す。</p> <p>この操作はどれか。</p> <p>a 咬合採得 b 辺縁形成 c 咬合床の調整 d 擬形印象採得</p> <p>▶ keyword: 筋圧形成、印象採得、モデリングコンパウンド</p>	<p>解答: b</p> <p>写真は、モデリングコンパウンドを用いて筋圧形成（筋形成）を行っているところである。個人トレーを用いて軟化したモデリングコンパウンドを部分的にトレー辺縁部に添加し、温湯中にくぐらせた後、口腔内に戻し、当該部位に応じた機能運動を行わせ、辺縁の形成を行う。モデリングコンパウンドの代わりにボーダータイプのヘビーポディシリコンゴム印象材を用いる方法もある。</p> <p>a × 咬合採得では、義歯床に何かを添加する作業はない。 b ○ c × 咬合床の調整にモデリングコンパウンドは使用しない。 d × 擬形印象採得には既製トレーを使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 92-95</p>
46	<p>前歯部ブリッジの支台装置として使用されるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 3/4冠 b 全部鑄造冠 c 前装鑄造冠 d 硬質レジンジャケット冠</p> <p>▶ keyword: 3/4冠、前装鑄造冠</p>	<p>解答: a, c</p> <p>ブリッジは支台装置、ポンティック、連結部から構成され、支台歯に装着される。前歯部の場合、審美性と強度を兼ね備えていなければならない。</p> <p>a ○ 口腔内に露出している歯冠の一部を覆うタイプのクラウンで、前歯部に使用される。利点として、歯質の切削量が少ないため歯髄に与える影響が少ない、歯周組織に対する刺激が少ない、審美性に優れるといったことがあげられるが、保持力や強度に劣る。二次う蝕になりやすいといった欠点もある。</p> <p>b × 審美性に劣るため、前歯部には使用しない。 c ○ 鑄造して製作したクラウンのメタルフレームの唇側や頬側など口に触れる部分に、歯冠色の材料を前装し、天然歯の色調を再現したクラウンである。機能性と審美性を兼ね備えたクラウンとして、前歯部や上顎小白歯部など審美性が必要とされる部位に応用される。 d × 金属を全く使わずに、全体を歯冠色の材料を成形してつくるクラウンである。金属を使用しないため前装鑄造冠以上に審美性に優れ、金属アレルギーの心配もないが、ブリッジの支台装置として使用するには強度が不足している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 46-52</p>
47	<p>支台築造の目的はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 残存歯質の補強 b 辺縁歯肉の保護 c 対合歯の挺出防止 d クリアランス量の調整</p> <p>▶ keyword: 支台築造</p>	<p>解答: a, d</p> <p>支台築造は主に歯冠部歯質の強度を高め、保持力を増強するために行われる処置である。築造窩洞を形成した後、印象採得し、模型上で金属鑄造体を製作して築造窩洞にセメント合着する方法とコンポジットレジンなどの成形充填材を直接口腔内の築造窩洞に充填する方法がある。</p> <p>a ○ 残存歯質の補強は、金属材料やコンポジットレジンなどによって行われる。 b × 辺縁歯肉の保護は、支台築造の目的ではない。 c × 支台築造により、対合歯との咬合接触を回復するわけではないため、挺出防止にはならない。 d ○ クリアランス量を調整することにより金属の節約ができる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 77-78</p>

問題 A		解答・解説
48	<p>口唇裂について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 多因子要因により発症する。 b 唇裂は胎生 12 週頃に生じる。 c 唇裂の発症部位は左側に多い。 d 発生頻度は出生児 2,000 人に 1 人である。</p> <p>▶ keyword: 口唇裂</p>	<p>解答: a, c</p> <p>口唇裂は顔面に発生する裂奇形の 1 つである。</p> <p>a ○ b × 胎生 4~8 週頃に生じる。 c ○ d × 発生頻度は、400~500 人に 1 人とされている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 26-29</p>
49	<p>白色を呈する口腔粘膜疾患はどれか。</p> <p>a 類天疱瘡 b 単純疱疹 c 正中菱形舌炎 d 口腔カンジダ症</p> <p>▶ keyword: 白色病変、口腔カンジダ症、口腔粘膜疾患</p>	<p>解答: d</p> <p>口腔粘膜疾患には、水疱形成を主徴とする疾患、紅斑やびらんを主徴とする疾患、潰瘍を主徴とする疾患および白斑を主徴とする疾患などがある。</p> <p>a × 水疱形成を主徴とする。 b × 水疱形成を主徴とする。 c × 舌正中に発症し赤色の隆起を伴う。 d ○ 典型的な白色病変で、<i>Candida albicans</i> を中心とするカンジダ菌によって引き起こされる日和見感染症である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 60-63</p>
50	<p>三叉神経痛の特徴はどれか。</p> <p>a 疼痛は就寝中も持続する。 b 痛みは両側性に発生する。 c 女性より男性に多くみられる。 d 疼痛が誘発される部位がある。</p> <p>▶ keyword: 三叉神経痛</p>	<p>解答: d</p> <p>三叉神経痛はその神経支配領域に数秒から数分間持続する発作性の激しい電撃様疼痛として起こり、その痛みを誘発する発痛帯が存在することが特徴的な疾患である。</p> <p>a × 就寝中は誘発される刺激がないため、症状は消失する。 b × 痛みは片側性に発生し、正中を越えて対側へ広がることはない。 c × 40 歳以上の中高年者に多くみられ、女性に多い。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 124-125</p>
51	<p>表面麻酔について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 塗布後ただちに処置を開始する。 b よく乾燥させた粘膜に塗布する。 c 表面麻酔薬はすべてアミド型である。 d 嘔吐反射が強い患者の白歯部の口内法エックス線撮影に用いる。</p> <p>▶ keyword: 表面麻酔</p>	<p>解答: b, d</p> <p>表面麻酔は、スケーリング部位や注射針の刺入部位のほか、嘔吐反射の強い患者に対する印象採得や白歯部の口内法エックス線撮影などの際に用いる。</p> <p>a × 塗布後、2~3 分以上待ってから処置を開始する。 b ○ c × すべてエステル型である。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 185-187</p>

問題 A		解答・解説
52	<p>頬筋機構に関する筋はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 顎筋 b 口輪筋 c 側頭筋 d 顎二腹筋</p> <p>▶keyword: 頬筋機構 (バクシネーターメカニズム)</p>	<p>解答: a、b</p> <p>頬筋機構 (バクシネーターメカニズム) は、正常咬合の成立や不正咬合の発現を考えるうえで重要な概念である。歯列を取り巻く力のバランスが崩れると不正咬合を惹起する。歯列の維持・安定には頬筋、口輪筋、上咽頭収縮筋、舌などから発生する力、咬合力、萌出力が関与している。</p> <p>a ○ b ○ c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 25、26</p>
53	<p>側面頭部エックス線規格写真のトレースを図に示す。</p>  <p>基準点の名称で正しい組合せはどれか。</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>a セラ ナジオン A点 B点 b ポリオン オビゲル A点 B点 c オビゲル ポリオン ナジオン メントン d ポリオン オビゲル メントン ナジオン</p> <p>▶keyword: 頭部エックス線規格写真分析</p>	<p>解答: a</p> <p>頭部エックス線規格写真分析での基本的な基準点を知ることが重要である。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50</p>
54	<p>保定装置で行うのはどれか。</p> <p>a 永久保定 b 自然的保定 c 器械的保定 d セプトトミー</p> <p>▶keyword: 保定</p>	<p>解答: c</p> <p>矯正歯科治療は広義には、不正な状態を積極的に治す動的矯正治療と、治った状態を維持して後戻りを防ぐ静的矯正治療とがある。保定とは静的矯正治療のことであり、動的矯正治療によって目的の位置に移動させた歯および顎骨をその位置と状態で長期間保持し、安定できる条件を整える処置をいう。</p> <p>a × 長期にわたって器械的保定を行っても後戻りが心配されるようなとき、動的治療後に補綴装置で永久的に固定することをいう。</p> <p>b × 自然的保定とは、動的矯正治療で得られた正常な状態を装置を使わずに保持することをいう。</p> <p>c ○ 動的矯正治療後に移動させた歯および顎骨が、新たな環境に適応し、新しいバランスが確立するまで保定装置を使って咬合を維持することをいう。</p> <p>d × 矯正歯科治療後、特に捻転の治療後の安定を得るためには、弾性線維による後戻りを防止し、歯肉線維の再排列を促進させることが必要となってくる場合がある。その際に、歯頸部周囲の歯肉線維を外科的に切断することにより再発の傾向が減少する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 61-63</p>

問題 A		解答・解説
55	<p>乳歯の歯内療法について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 根管充填にはガッタパーチャポイントを用いる。 b 生活歯髄切断法では根管拡大が必要である。 c 根部歯髄まで炎症が波及している場合は麻酔抜髄を行う。 d 窩洞形成時の偶発的点状露髄は直接覆髄法の適応症である。</p> <p>▶keyword: 根管充填、生活歯髄切断法、抜髄、直接覆髄</p>	<p>解答: c、d</p> <p>乳歯の歯内療法については、各処置の概要と使用する器材、薬剤について覚えておく。</p> <p>a × 乳歯では生理的歯根吸収がみられるため、非吸収性根管充填材は使用しない。</p> <p>b × 生活歯髄切断法では根部歯髄を残すため、根管拡大は不要である。</p> <p>c ○ 根部歯髄に炎症が波及している場合は麻酔抜髄を行う。</p> <p>d ○ 直接覆髄法は、非感染性の健康歯髄における点状露髄のときに用いる処置である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 77-79</p>
56	<p>乳歯列期に存在する歯間空隙はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 遊長空隙 b 発育空隙 c 安静位空隙 d リーウェイススペース</p> <p>▶keyword: 乳歯列期、生理的歯間空隙</p>	<p>解答: a、b</p> <p>乳歯列期においては、生理的歯間空隙とよばれる歯と歯の間に空隙が存在するのが正常である。遊長空隙と発育空隙は実際に乳歯列期に存在する空隙であるが、リーウェイススペースは計算上のスペースである。安静位空隙とは、自然な状態で上顎と下顎との間に認められる空隙で、歯間空隙ではない。</p> <p>a ○ 上顎の乳門切歯と乳犬歯の間、下顎の乳犬歯と第一乳臼歯の間に認められる歯間空隙である。</p> <p>b ○ 乳歯列期における遊長空隙以外の歯間空隙である。</p> <p>c × 安静位でみられる上顎と下顎との間の空隙である。</p> <p>d × 乳歯列の側方歯群歯冠近心径の和は永久歯列のそれよりも大きく、その差をリーウェイススペースという。計算上のスペースで、空隙があるわけではない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 36-42</p>
57	<p>小児の歯肉炎について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 乳歯萌出前から発症する。 b 口腔清掃の不良に起因する。 c 健康な状態に戻すのは難しい。 d 増齢とともに発症頻度が増加する。</p> <p>▶keyword: 歯肉炎、口腔清掃</p>	<p>解答: b、d</p> <p>小児の歯肉炎は乳歯の萌出後、多くが口腔清掃の不良により発生し、増齢とともに増加する。適切な口腔衛生指導を行うと、早期に炎症は消失し、健全な状態に回復する。</p> <p>a × 歯肉炎は歯が萌出していなければ発生しない。</p> <p>b ○</p> <p>c ×</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 50-51</p>

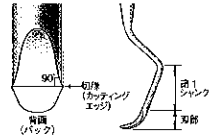
問題 A		解答・解説	
58	<p>小児における障害と歯科的特徴の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 進行性筋ジストロフィー——歯列弓狭窄</p> <p>b ダウン症候群——開口</p> <p>c 脳性麻痺——上顎前突</p> <p>d 自閉性障害——エナメル質形成不全</p>	<p>解答：b、c</p> <p>障害を有する小児においてはその障害に特有の歯科所見を呈することがある。</p> <p>a × 進行性筋ジストロフィー患者では、筋力の低下により巨舌となり歯列弓拡大を引き起こす。</p> <p>b ○ ダウン症候群患者では、筋緊張が低下して見かけ上の巨舌となり開口を引き起こす。</p> <p>c ○ 脳性麻痺患者の多くは遠直型であり、この型の患者の多くに上顎前突がみられる。</p> <p>d × 自閉性障害患者に特有の歯科所見はない。</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 小児歯科 111-118</p>
<p>▷ keyword：進行性筋ジストロフィー、ダウン症候群、脳性麻痺、自閉性障害</p>			
59	<p>加齢に伴う歯の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬耗・摩耗</p> <p>b 歯髄腔の狭窄</p> <p>c 透明象牙質の消失</p> <p>d セメント質の非薄化</p>	<p>解答：a、b</p> <p>加齢に伴う歯の変化は、歯数の減少、咬耗・摩耗、歯髄腔の狭窄、透明象牙質の出現、セメント質の肥厚が認められる。</p> <p>a ○ 加齢に伴い歯は磨耗していく。特に咬合することによる切縁や咬合面が磨滅した場合を咬耗とよぶ。</p> <p>b ○ 加齢に伴い象牙質内側に生理的第二次象牙質の形成が起こる。また、咬耗・摩耗により修復象牙質の形成が起こるため、歯髄腔は狭窄する。</p> <p>c × 歯根部歯髄腔の象牙細管内に二次的石灰化が起こるため透明化し、透明象牙質が出現する。</p> <p>d × セメント質は歯根膜側に徐々に添加されていくため、加齢とともに肥厚していく。</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 20-21</p>
<p>▷ keyword：加齢に伴う歯の変化</p>			
60	<p>口腔清掃に用いる器具の写真（別冊 No. 7）を別に示す。</p> <p>この器具を用いて清掃する部位はどれか。</p> <p>a 舌</p> <p>b 口蓋</p> <p>c 頬粘膜</p> <p>d 歯間部</p>	<p>解答：a</p> <p>写真は舌ブラシの1種であり、舌表面に付着した舌苔の除去に用いられる。</p> <p>a ○ 舌の清掃に用いる舌ブラシである。</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 129-130</p>
<p>▷ keyword：舌ブラシ、舌苔</p>			
61	<p>障害者に対するノーマライゼーションの考え方で正しいのはどれか。</p> <p>a 資格の取得を制限する。</p> <p>b 社会への参加を支援する。</p> <p>c 障害の種類で生活の場を分ける。</p> <p>d 重度障害者は施設からの外出を控える。</p>	<p>解答：b</p> <p>ノーマライゼーションは、障害の有無に関わらず、一般の人と同じように日常生活を送る権利があるとする考えである。</p> <p>a ×</p> <p>b ○</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 9-11 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 6-8</p>
<p>▷ keyword：ノーマライゼーション</p>			

問題 A		解答・解説	
62	<p>脳性麻痺の分類で最も多いのはどれか。</p> <p>a 遠直型</p> <p>b 圓縮型</p> <p>c 失調型</p> <p>d アテトーゼ型</p>	<p>解答：a</p> <p>脳性麻痺は運動の障害の型と麻痺部位の組合せで表現される。</p> <p>a ○ 遠直型は、脳性麻痺の約70～80%を占める。緊張で不随意的に筋肉が硬くなる。腱反射は亢進し、筋肉は細かく痙攣する。そのまま長期間放置すると、関節は拘縮を起こし、骨の変形とともに姿勢も変形する。</p> <p>b × 圓縮型（強剛型）は、多動運動に際して四肢が鉛管状または歯車状の抵抗を示す。</p> <p>c × 失調型は、協調運動および平衡機能の障害による目的動作失調が起こる。</p> <p>d × アテトーゼ型は、目的のある行動を起こそうとすると不随意運動を示す。睡眠時は緊張がなくなりラックスしている。反射機能は比較的正常で拘縮や四肢の変形は起こりにくい。</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 51-54 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 25-28</p>
<p>▷ keyword：脳性麻痺</p>			
63	<p>精神遅滞と診断される知能指数（IQ）の境界値はどれか。</p> <p>a 60</p> <p>b 70</p> <p>c 80</p> <p>d 90</p>	<p>解答：b</p> <p>精神遅滞とは、明らかに知的機能が遅れている（IQ70以下）、適応行動の障害を伴う場合で、それらが18歳未満に発症する、という3つの条件を満たすものである。その程度はIQによって軽度（IQ50～70）、中等度（IQ35～49）、重度（IQ20～34）、最重度（IQ20未満）に分類される。</p> <p>a ×</p> <p>b ○</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 42-43 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 13-14</p>
<p>▷ keyword：精神遅滞、知能指数</p>			
歯科予防処置論			
64	<p>歯周病の第一次予防はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 禁煙</p> <p>b PMTC</p> <p>c 歯周外科処置</p> <p>d ルートプレーニング</p>	<p>解答：a、b</p> <p>歯周病の予防の概念を Leavell と Clark の三段階5つの予防手段にあてはめる。第一次予防は歯周病の発病を予防することで、その第一段階は健康増進であり健康教育や口腔清掃、健康を維持増進させるための適切な運動や栄養摂取、禁煙などがあげられる。第二段階は特異的防御であり定期的な歯科予防処置として PMTC やスクレーピングなどがあげられる。発症初期段階の第二次予防では、歯周病を早期に発見して歯周基本治療を開始し、口腔の機能喪失を防止するために歯周外科処置やルートプレーニングを行う。第三次予防は口腔機能回復を目的として歯周補綴や歯科矯正などを含む。</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 9</p>
<p>▷ keyword：第一次予防、予防の概念</p>			

問題 A		解答・解説
65	<p>歯周組織について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉の炎症は通常、付着歯肉から始まる。</p> <p>b コルは炎症が起こりやすい部位である。</p> <p>c スティッピングは遊離歯肉にみられる。</p> <p>d 歯根膜は前歯部よりも臼歯部のほうが厚い。</p>	<p>解答: b、d</p> <p>歯科予防処置を行うために、歯周組織の構成要素とその特徴を把握する。</p> <p>a × 歯肉の炎症は通常歯肉乳頭部から始まる。</p> <p>b ○ コルは角化していないうえ、清掃が難しくプラークが溜まりやすいので炎症が起こりやすい部位である。前歯部でピラミッド型、臼歯部では平坦な形をしている。</p> <p>c × スティッピングは直径 0.1 mm ほどのみかんの皮のような小さな窪みで、健康な状態の付着歯肉に形成される。</p> <p>d ○ 一般に咬合圧を強く受ける臼歯部の歯根膜は前歯部よりもやや厚い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 13-15、28-32 最新歯科衛生士教本 歯周治療 8-11 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 240-249</p> <p>▶keyword: スティッピング、コル、歯根膜、歯肉の炎症</p>
66	<p>プラークについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉縁上プラークはグラム陰性菌が多い。</p> <p>b 歯肉縁下プラークは健康な歯肉溝内にも必ず存在する。</p> <p>c デンチャープラークには真菌が多く存在する。</p> <p>d プラークバイオフィームは抗菌薬が効きにくい。</p>	<p>解答: c、d</p> <p>プラークは歯科の二大疾患であるう蝕と歯周病の発生の重要な因子であるため、歯科予防処置をしていくうえでプラークについての知識は必須である。</p> <p>a × 歯肉縁上プラークは、グラム陽性菌、歯肉縁下プラークはグラム陰性菌が主体である。</p> <p>b × 歯肉縁下プラークは、健康な歯肉溝内にはほとんど存在しない。</p> <p>c ○ デンチャープラークに多く観察される真菌であるカンジダ属は、義歯の材質のレジンに対する付着能が高い。</p> <p>d ○ プラークバイオフィームはバリアの役割をもち、生体の免疫系や抗菌薬が浸透しにくいという特徴がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27-30 最新歯科衛生士教本 保健生化学 108-114 最新歯科衛生士教本 微生物学 115-122</p> <p>▶keyword: 歯肉縁上プラーク、歯肉縁下プラーク、デンチャープラーク、プラークバイオフィーム</p>
67	<p>歯周炎の進行プロセスで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 高度歯周炎は Miller の分類 1 度程度である。</p> <p>b 軽度歯周炎は付着上ポケット 3~5 mm 程度である。</p> <p>c 中等度歯周炎は骨縁下ポケット 4~7 mm 程度である。</p> <p>d 歯肉炎は歯肉縁が増殖し真性ポケットを形成する。</p>	<p>解答: b、c</p> <p>歯周炎は歯肉炎が進行し、歯槽骨、歯根膜、セメント質に炎症が波及した状態をいう。歯周炎は付着の喪失、歯槽骨の吸収がみられる。歯肉の発赤・腫脹、プラークや歯石の沈着を認め、歯周ポケットが形成される。プロービングにより出血し、歯槽骨の吸収に伴い、歯肉退縮や歯の動揺も認められる。</p> <p>a × Miller の分類、0 度は生理的な動揺の範囲、1 度は唇・舌（頬・口蓋）的にわずかに動揺、2 度は唇・舌（頬・口蓋）的に中程度、近遠心的にわずかに動揺、3 度は唇・舌（頬・口蓋）的に、近遠心的に動揺し、垂直的にも動揺する。</p> <p>b ○ 歯肉の腫れが大きくなり、歯周病原細菌が歯周組織に侵入し、付着（接合）上皮が根尖側へ移動し剥がれ、真性ポケットが形成される。3~5 mm の骨縁上ポケット程度となる。</p> <p>c ○ ポケットの深化と歯槽骨、歯根膜への炎症が拡大し、付着レベルが根尖側に移動し、歯槽骨頂を越えて付着が喪失する。4~7 mm 程度の骨縁下ポケットとなる。</p> <p>d × 歯肉に限局性の軽度の発赤と腫脹のみなら、歯肉縁が歯冠側に増殖し、歯肉（仮性）ポケットができる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 31、99-100</p> <p>▶keyword: 歯周炎の進行</p>

問題 A		解答・解説
68	<p>歯周組織で角化しているのはどれか。</p> <p>a 歯根膜</p> <p>b 付着上皮</p> <p>c 外縁上皮</p> <p>d 歯肉薄上皮</p>	<p>解答: c</p> <p>歯周組織は、歯を歯槽窩内に植立させ、咬合力に耐える役割と外力や刺激に対しての防御機能、修復・再生能力を担っている。</p> <p>a × 歯根膜は歯根周囲を取り囲む脈管系や神経を含んだ線維からなる結合組織である。歯を歯槽窩内に連結させてハンモックのように吊り下げている。</p> <p>b × 付着上皮は非角化である。歯とヘミデスマゾームにより結合している。細胞代謝は約 6 日間と口腔粘膜と同様に早い。</p> <p>c ○ 辺縁歯肉や付着歯肉の表面を覆っている外縁上皮は、高度に角化した重層扁平上皮であり、細胞間隙が狭く、機械的・化学的刺激が結合組織内に侵入するのを防御している。創傷治癒が早い。</p> <p>d × 歯肉薄上皮は非角化である。機械的刺激に脆弱であるが、歯肉内面からの組織液を歯肉溝へ浸透させる半透膜のような重要な働きがあり、これを生化学的透過性関門という。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 8-14</p> <p>▶keyword: 歯周組織</p>
69	<p>歯周病のリスク要因はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 喫煙</p> <p>b 腎臓病</p> <p>c 糖尿病</p> <p>d 高血圧</p>	<p>解答: a、c</p> <p>歯周病の進行には個人差がある。先天的因子では遺伝性疾患、代謝性疾患、血液疾患があげられ、後天的因子に喫煙、糖尿病、ストレス、後天性免疫不全症候群、栄養障害、骨粗鬆症などがあげられる。</p> <p>a ○ 喫煙によって微小血管が収縮して、毛細血管を委縮し免疫機能を低下させる。肺がんや心疾患のリスク要因でもある。</p> <p>b ×</p> <p>c ○ 糖尿病に罹患している患者は、全身的な代謝障害を起こしており、感染症に対する抵抗力が低下している。歯周治療後の治癒にも影響を及ぼす。</p> <p>d × 高血圧は、脳卒中、心疾患を引き起こすリスク要因である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 276-277 最新歯科衛生士教本 歯周治療 33-34</p> <p>▶keyword: 歯周病と全身疾患の関連</p>
70	<p>歯周組織検査について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a BOP はプロービング直後のみに出血した部位を記録する。</p> <p>b 根分岐部病変の検査はファーケーションプローブを使用する。</p> <p>c ポケットデプスはセメント-エナメル境からポケット底部の距離である。</p> <p>d 歯の動揺度検査で垂直方向に動く歯は Miller の分類 3 度と判定する。</p>	<p>解答: b、d</p> <p>歯周病の治療計画を立てていくうえで、歯周組織の情報を把握することは問題点を抽出するために重要なデータとなる。各検査の方法を把握し、それを行う手技を身につけることが大切である。</p> <p>a × BOP はプリーディングオンプロービングといい、プロービング時の出血をさす。適正なプロービング圧で測定後、20~30 秒後に出血があれば記録する。</p> <p>b ○</p> <p>c × ポケットデプスは歯肉縁からポケット底部までの距離をいう。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 114-121 最新歯科衛生士教本 歯周治療 50-57、118-126 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-100</p> <p>▶keyword: BOP、ファーケーションプローブ、ポケットデプス、動揺度検査</p>


問題 A		解答・解説
71	<p>プローブの写真(別冊 No. 8)を別に示す。</p> <p>写真のプローブと得られる情報との組合せて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①—歯の動揺度</p> <p>b ②—根分岐部病変の有無</p> <p>c ③—インプラント周囲の炎症の有無</p> <p>d ④—地域歯周疾患指数</p>	<p>解答: b, c</p> <p>歯周プローブを使用して歯周ポケットの検査を行うことをプロービングという。歯肉線下は観察に制限のある部位もあり、目的を明確にし、プローブの選択を行うことやプロービングを注意深く行うことでさまざまな情報を得ることができる。</p> <p>a × ①は WHO 指定の CPI のプローブで、地域歯周疾患指数 (CPI) 検査時に使用する。集団検診用として考案された。歯の動揺度はピンセットで測定する。</p> <p>b ○ ②はファーケーションプローブで、水平方向に挿入して使用する。複根歯の分岐部病変の有無・破壊の程度を測定する。</p> <p>c ○ ③はプラスチック製で、インプラント埋入後の周囲組織が完全に治癒してから軽いタッチで行い、炎症の有無を確認する。</p> <p>d × ④は垂直方向に操作するポケットプローブで、臨床の場で多く使用されている。歯周ポケットの深さ、形態を計測しアタッチメントレベルを算出する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99</p>
▶keyword: 歯周プローブの種類と得られる情報		
72	<p>プロービングから得られる情報はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯根の長さ</p> <p>b 歯周ポケットの深さ</p> <p>c アタッチメントレベル</p> <p>d 歯肉線下ブラークの長さ</p>	<p>解答: b, c</p> <p>プロービングから得られる情報は、①歯周ポケットの深さ・形態、②歯周組織の抵抗力・炎症の存在、③歯肉の質・形態、④歯根の形態、⑤歯肉線下ブラーク、歯肉線下歯石の有無と程度、⑥アタッチメントレベル、⑦根分岐部病変の有無とその程度などがあげられる。</p> <p>a × 歯根の長さはエックス線写真で判断する。</p> <p>b ○ 歯周ポケットの深さ (PD) は、歯肉辺縁からポケット底部までの距離をいう。</p> <p>c ○</p> <p>d × 歯肉線下ブラークの付着の有無はわかるが、量についてはわからない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-95 最新歯科衛生士教本 歯周治療 120-124</p>
▶keyword: プロービング		
73	<p>歯周検査用エキスポローラーの使用方法で正しいのはどれか。</p> <p>2つ選べ。</p> <p>a 固定は要しない。</p> <p>b 強くしっかりと把持する。</p> <p>c 歯肉線下歯石の触知に用いる。</p> <p>d 先端部側面を歯面から離さずに適合させる。</p>	<p>解答: c, d</p> <p>歯周検査用エキスポローラーはスケーリング・ルートプレーニングの術前・術中の歯石の探知や術後の評価などに用いる。エキスポローラーの先端の感触を指に伝えるために、軽く確実に把持し、しっかりと固定を求め、きわめて軽いタッチで歯面に当てる。使用目的は、①歯根面の形態の探査、②歯肉線下・歯肉線下歯石の有無、歯石量や硬さ、分布の探査、③スケーリング後の評価などである。</p> <p>a × 固定は必要である。探査部位の近くの歯もしくは口腔外固定を組み合わせ固定を置く。</p> <p>b × エキスポローラーの先端の感触を指に伝えるために執筆状変法把持法で、軽く把持する。強く把持すると感触が鈍る。</p> <p>c ○</p> <p>d ○ 歯面の解剖学的特徴を理解し、エキスポローラーの先端部側面を歯面から離さずに適合させる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 91-93</p>
▶keyword: エキスポローラー		

問題 A		解答・解説														
74	<p>写真(別冊 No. 9)を別に示す。</p> <p>このスケーラーを使用する部位はどれか。</p> <p>a 前歯部</p> <p>b 臼歯部近心面</p> <p>c 臼歯部遠心面</p> <p>d 臼歯部頬舌側面</p>	<p>解答: d</p> <p>写真のスケーラーはグレーシートタイプキュレットスケーラーで、片刃で、オフセットブレードを有する。そのため、一口腔内で特定部位専用のスケーラーを使い分ける必要がある。</p> <p>グレーシートタイプ使用部位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>#1/2</td> <td>前歯部</td> </tr> <tr> <td>#3/4</td> <td>前歯部</td> </tr> <tr> <td>#5/6</td> <td>前歯部、小臼歯部</td> </tr> <tr> <td>#7/8</td> <td>臼歯部頬舌側面</td> </tr> <tr> <td>#9/10</td> <td>臼歯部頬舌側面</td> </tr> <tr> <td>#11/12</td> <td>臼歯部近心面</td> </tr> <tr> <td>#13/14</td> <td>臼歯部遠心面</td> </tr> </tbody> </table> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○ 写真のスケーラーは #7/8 で、臼歯部頬舌側面用である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 138 新歯科衛生士教本 歯科予防処置論 48</p>	#1/2	前歯部	#3/4	前歯部	#5/6	前歯部、小臼歯部	#7/8	臼歯部頬舌側面	#9/10	臼歯部頬舌側面	#11/12	臼歯部近心面	#13/14	臼歯部遠心面
#1/2	前歯部															
#3/4	前歯部															
#5/6	前歯部、小臼歯部															
#7/8	臼歯部頬舌側面															
#9/10	臼歯部頬舌側面															
#11/12	臼歯部近心面															
#13/14	臼歯部遠心面															
▶keyword: グレーシートタイプキュレットスケーラー、オフセットブレード																
75	<p>図を示す。</p>  <p>このスケーラーはどれか。</p> <p>a カーブドシクルタイプ</p> <p>b ストレートシクルタイプ</p> <p>c グレーシートタイプキュレット</p> <p>d ユニバーサルタイプキュレット</p>	<p>解答: d</p> <p>図のスケーラーは刃部内面が第1シャंकに対して90°の位置にある。また、カッティングエッジが刃端にある。そして、刃部内面の形態は匙状を呈している。したがって、ユニバーサルタイプキュレットスケーラーである。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 137 新歯科衛生士教本 歯科予防処置論 41、45-46</p>														
▶keyword: ユニバーサルタイプキュレットスケーラー、スケーラー刃部形態																

問題 A		解答・解説	
76	<p>グレーシータイプキュレットスケーラーによる上顎右側臼歯部頰側のスケーリングで正しい組合せはどれか。</p> <p>a 第一大臼歯近心—#11—サイドポジション</p> <p>b 第一小臼歯遠心—#14—バックポジション</p> <p>c 第一大臼歯遠心—#9—フロントポジション</p> <p>d 第二小臼歯近心—#12—フロントポジション</p>	<p>解答: d</p> <p>効果的にスケーリング・ルートプレーニングを行うためには、視野が広く安全に操作できる位置を探すことが必要である。術者の位置には、バックポジション (11~1時)、サイドポジション (9時)、フロントポジション (8時) がある。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 152</p>	
▷keyword: ポジション			
77	<p>写真 (別冊 No. 10) を別に示す。グレーシータイプキュレットスケーラーの操作で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p>解答: b, c</p> <p>グレーシータイプキュレットスケーラーの特徴は、部位特異的であること、片刃、オフセットブレードを有していることである。片刃は、第1シャンクを床面に垂直にしてトウを手前に向けたとき、下側にあるほうがカッティングエッジである。このとき、カッティングエッジが右側にあるのが奇数番、左側にあるのが偶数番である。オフセットブレードにより、第1シャンクを歯面に平行に位置づけたとき、操作角度が自然に正しくなるようデザインされている。また、操作時には刃部内面と歯面との操作角度を70°とするのが基本である。</p> <p>a × 刃部内面が歯面とは反対側を向いてしまっているため、カッティングエッジが歯面に当たっていないことになる。この部位の場合、グレーシーキュレットは奇数番 (#7) を使用するが、この写真では偶数番 (#8) を使用しているため、適切ではない。</p> <p>b ○ カッティングエッジが歯面側にあり、操作角度も適切である。</p> <p>c ○ 第1シャンクが歯面に平行に位置づけられ、スケーラーの選択も正しい。</p> <p>d × 第1シャンクは歯面に平行に位置づけられているが、ハンドルが喉の方向に向いてしまっている。この状態では操作できない。この部位では#14を使用するが、#13を無理に当てようとするこのような状態に陥る。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154 最新歯科衛生士教本 歯周治療 137-150</p>	
▷keyword: グレーシータイプキュレットスケーラーの操作			
78	<p>超音波スケーラーで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a マグネット方式とピエゾ方式がある。</p> <p>b 深い歯周ポケットにも処置が可能である。</p> <p>c 手用スケーラーに比べて術者や患者の疲労は大きい。</p> <p>d 手用スケーラーと比較して細かい歯石の把握ができる。</p>	<p>解答: a, b</p> <p>近年、超音波スケーラーは改良され、小さな直径や長い作業長をもったインサートチップ、歯質剥離量の少ないプラスチックチップが開発された。そのため、深い歯周ポケットや根分枝部への到達性がよくなり、歯肉縁下のスケーリング・ルートプレーニングに対しても効果的な器具として使用される。</p> <p>a ○ 電気エネルギーを超音波機械振動に変換する方法によって、マグネット方式 (磁歪振動子) とピエゾ方式 (電歪振動子) に分かれる。</p> <p>b ○ ロングネックで細いインサートチップは深い歯周ポケットに適合する。</p> <p>c × 手用スケーラーは操作に熟練を要し、疲労度も大きい。超音波スケーラーの使用法は簡便で、短時間で多量の歯石や硬い歯石も除去できるので、患者や術者の疲労は手用スケーラーに比較して少ない。</p> <p>d × 超音波スケーラーは、インサートチップ自体が振動しているので細かい歯石の把握は手用スケーラーに比較すると劣る。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-171</p>	
▷keyword: 超音波スケーラー			

問題 A		解答・解説																		
79	<p>エアスケーラーと超音波スケーラーの比較を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エアスケーラー</th> <th>超音波スケーラー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動数</td> <td>①</td> <td>25,000~40,000 回/秒</td> </tr> <tr> <td>操作角度</td> <td>15°</td> <td>15°</td> </tr> <tr> <td>除去圧</td> <td>40~80 g</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>キャピテーション効果</td> <td>③</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>発熱</td> <td>なし</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> <p>①~④にあてはまる組合せで正しいのはどれか。</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>a 2,000~6,000 回/秒 40~80 g なし あり</p> <p>b 25,000~40,000 回/秒 40~80 g あり なし</p> <p>c 2,000~10,000 回/秒 20~25 g あり なし</p> <p>d 25,000~40,000 回/秒 100~120 g なし あり</p>		エアスケーラー	超音波スケーラー	振動数	①	25,000~40,000 回/秒	操作角度	15°	15°	除去圧	40~80 g	②	キャピテーション効果	③	あり	発熱	なし	④	<p>解答: a</p> <p>エアスケーラーは、エアタービンの圧縮空気を応用してチップを微振動させ、歯石を除去する器具で、超音波スケーラーに比べて、非常におだやかな動きをチップに伝える。超音波スケーラー、エアスケーラーともに、多種類のチップの組合せにより、ルートプレーニングや根分枝部への応用などにも使用されている。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-172</p>
	エアスケーラー	超音波スケーラー																		
振動数	①	25,000~40,000 回/秒																		
操作角度	15°	15°																		
除去圧	40~80 g	②																		
キャピテーション効果	③	あり																		
発熱	なし	④																		
▷keyword: エアスケーラーと超音波スケーラーの比較																				
歯科保健指導論																				
80	<p>次の文の□に入る用語で正しいのはどれか。</p> <p>医療面接の目的は、ラポールの形成、□、情報収集の3つである。</p> <p>a 治療費の削減</p> <p>b 治療の動機づけ</p> <p>c 治療時間の短縮</p> <p>d 治療方針の徹底</p>	<p>解答: b</p> <p>医療面接 (メディカルインタビュー) に関する設問である。医療面接とは、初診からメインテナンスに至るまでの診療すべての期間において行われる対面行為である。</p> <p>a × b ○ 医療面接を行うことで、治療の動機づけとなり、患者が積極的に歯科医療に関心をもち参加するように促すことができる。</p> <p>c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 80-82</p>																		
▷keyword: 医療面接																				
81	<p>日本人の肥満者が増える背景はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 運動量の増加</p> <p>b 食事時間の延長</p> <p>c 脂肪摂取量の増加</p> <p>d 生活時間の夜型化</p>	<p>解答: c, d</p> <p>肥満者とは、日本肥満学会肥満症診断基準検討会により、「BMIが25以上の者」をさす。男性の割合は年々増加しているが、女性の場合は20歳代の20%以上が低体重という問題も生じている。</p> <p>a × 運動量の低下が肥満に影響する。</p> <p>b × 食事時間の短縮などにより、あまり噛まずに食べることからの食べ過ぎも原因の1つとなっている。</p> <p>c ○ d ○ 生活時間の不規則化や夜型化は、肥満の原因となる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 41</p>																		
▷keyword: 食生活、肥満																				

問題 A		解答・解説	
82	<p>POS で術者が観察した結果を記録するのはどれか。</p> <p>a S : Subjective b O : Objective c A : Assessment d P : Plan</p> <p>▷keyword : SOAP</p>	<p>解答 : b</p> <p>POS (Problem Oriented System) とは、問題志向型診療システムで、患者の問題点を抽出・分析して、治療計画を立案する方法である。歯科衛生過程で行う実施記録を 4 項目 (SOAP) に分けて記録する。</p> <p>a × S (自覚的症候) は、患者の訴えていることである。 b ○ O (他覚的所見) は、観察した結果である。 c × A (判断) は、術者の評価、分析、判断である。 d × P (方針) は、術者がどうするか、立案した計画である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 71-74</p>	
83	<p>虐待を疑う口腔や歯の特徴のうちネグレクトによるのはどれか。</p> <p>a 前歯の破折 b 顎顔面の外傷 c 上唇小帯の断裂 d 多発性未処置う蝕</p> <p>▷keyword : 虐待、ネグレクト、虐待防止法</p>	<p>解答 : d</p> <p>ネグレクトとは、両親や家族から放置、無視を受けることで、虐待の 1 つである。身体的 (暴行・性的 (わいせつ行為))・心理的 (心理的外傷を与える言動) な虐待などを受けている場合もある。虐待の早期発見や早期対応は「児童の虐待防止等に関する法律」「高齢者虐待防止法」「障害者虐待防止法」によっても法的になされている。虐待防止法では、虐待を発見しやすい立場にある者の早期発見義務、国民の通告義務が謳われている。</p> <p>a × 身体的虐待を疑う。 b × 身体的虐待を疑う。 c × 身体的虐待を疑う。 d ○ 歯の治療痕がない、すべての歯がう蝕になっている場合などは、ネグレクトを疑う。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第 2 版 49-50</p>	
84	<p>音波歯ブラシの特徴はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 超音波によってプラークを除去する。 b 毎分 30,000 回程度の振動様式である。 c 把柄部に専用歯ブラシを差し込んで使用する。 d 水分振動と泡で細菌の構造にダメージを与える。</p> <p>▷keyword : 音波歯ブラシ</p>	<p>解答 : b, d</p> <p>口腔清掃には、患者の状態に合わせて、専用歯ブラシのほか、電動歯ブラシや音波歯ブラシ、超音波歯ブラシなどを使用して効果的に指導を行う。音波歯ブラシは、毎分 30,000~40,000 回の振動による音波エネルギーでプラークを破壊する。口腔内で 1~5 mm の振れ幅が唾液などの水分を激しく振動させ、同時に多量の泡を発生させる。</p> <p>a × 音波エネルギーでプラークを除去する。 b ○ c × 付属の専用歯ブラシを使用する。 d ○ 音波歯ブラシの激しい水分の振動と泡は歯周病原細菌の線毛を破壊し、細菌の構造にダメージを与える。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 205-210</p>	

問題 A		解答・解説	
85	<p>口腔清掃補助用具の写真 (別冊 No. 11) を別に示す。</p> <p>口腔清掃時にこれら双方の用具が必要なのはどれか。</p> <p>a ブリッジ b 正中離開部 c 陶材焼付鑲造冠 d コンタクトゲージ 110 μm 通過部</p> <p>▷keyword : デンタルフロス、フロススレッダー</p>	<p>解答 : a</p> <p>写真 A はデンタルフロス、B はフロススレッダー (誘導針) である。ブリッジや連結修復冠、矯正治療患者のブラケットの結紮部などの歯間隙形空腔部 (両隣接面における接触点を頂点とし、歯頸部間を底辺とする鼓形の空腔) の清掃時、切縁から通常の使用方法で挿入しようとしてもデンタルフロスが歯間を通過できないときに、頬舌的にデンタルフロスを歯間隙形空腔に通過させるために、フロススレッダーの輪にデンタルフロスを通し、フロススレッダーの直線部先端を歯間隙形空腔に挿入、通過させて使用する。</p>  <p>a ○ b × 正中離開部は歯間が広いので、デンタルフロスは通常の使用方法で容易に通過でき、フロススレッダーは不要である。歯間は十分に広ければ、歯ブラシのみで清掃可能であるし、歯間ブラシの使用が適切である。 c × 陶材焼付鑲造冠は隣接歯と連結されていないので、デンタルフロスは通常の使用方法で挿入可能である。フロススレッダーは不要である。 d × コンタクトゲージは、歯間接触点に挿入し歯間離度検査を行う器具で、厚さが 50 μm、110 μm、150 μm の 3 種類がある。110 μm 通過部は、接触点が比較的緩い状態で、デンタルフロスは通常の使用方法で容易に通過でき、フロススレッダーは不要である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 220、222-223</p>	
86	<p>洗口剤の説明で正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 洗口剤使用後は水でうがいする。 b 医薬部外品と化粧品とに分類できる。 c 薬用成分としてフッ化物を配合できる。 d 洗口剤の 1 回の使用量は 10~20 mL である。</p> <p>▷keyword : 洗口剤</p>	<p>解答 : b, d</p> <p>洗口剤はマウスウォッシュ、水歯磨きともよばれ、薬事法により化粧品と医薬部外品とに分けられる。歯磨剤との違いは、口に含んでうがいをするだけで、水で洗口しないことである。</p> <p>a × b ○ 薬事法により、医薬部外品と化粧品に分けられている。 c × 薬事法により、フッ化物の配合が認められるのは、医薬部外品歯磨剤のみであり、洗口剤には薬用成分としてフッ化物を配合できない。 d ○ 洗口剤の使用量は、10~20 mL を口に含み、20~30 秒間洗口後に吐き出し、その後水で洗口しない。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 227-228</p>	
87	<p>明らかに口臭があると認められるのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 病的口臭 b 生理的口臭 c 仮性口臭症 d 口臭恐怖症</p> <p>▷keyword : 口臭</p>	<p>解答 : a, b</p> <p>口臭の国際分類のうち、社会的容認度を超えて明らかに口臭があると認められるものが真性口臭症であり、生理的口臭と病的口臭に分けられる。</p> <p>a ○ 病的口臭は、プラークや歯石の付着、歯周病、清掃不良などの口腔内を由来とするものと糖尿病や肝疾患、腎疾患などの口臭を発生する全身疾患に由来するものに分けられる。 b ○ 生理的口臭は誰にでもある口臭で、起床時や空腹時、月経時などに生理的口臭が増える。 c × 仮性口臭症は、実際には口臭が認められないのに「口臭がある」と思っている場合で、「口臭がない」という検査結果を説明すると訴えが改善される。 d × 口臭恐怖症は実際には口臭を認めないが、患者は口臭があると思いつけ、「口臭がない」という検査結果を受け入れない状態をいう。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 100-101</p>	

問題 A	解答・解説
<p>88 食育基本法で規定されているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 保健機能食品の普及 b 地産地消活動の推進 c 個別の品質表示基準の表記 d 食文化継承のための活動支援</p> <p>▶keyword: 食育基本法</p>	<p>解答: b, d</p> <p>食育基本法は、平成 17 年に制定され、「食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている」と明記されている。</p> <p>a × 食育基本法に規定されていない。保健機能食品とは、保健の効果を表示することのできる食品で、栄養機能食品と特定保健用食品に分類される。</p> <p>b ○ 地産地消とは、国内の地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取り組みである。</p> <p>c × 食育基本法に規定されていない。食品表示は、品質表示の適正化に関する法律である JAS 法に基づいて表記されている。</p> <p>d ○ 食を通じて地域などを理解することや失われつつある食文化の継承をはかることを支援している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 40、269</p>
<p>89 幼稚園児のう蝕予防のための間食指導として正しいのはどれか。</p> <p>a 粘稠度の高い食べ物は避ける。 b 間食はすべてキシリトール入りを選ぶ。 c あまり嚼まなくても食べられるものを選ぶ。 d 間食は少量を何回かに分けてとる。</p> <p>▶keyword: 間食、幼児</p>	<p>解答: a</p> <p>幼児は 1 日に必要な栄養量を 3 回の食事でも満たせないため、間食が必要である。間食の摂取エネルギー量の目安は 1~2 歳児で摂取エネルギーの 10~15%、3~5 歳児で 15~20% とされている。間食の量、種類、回数、摂取するエネルギーなどがう蝕の発症に関与している。</p> <p>a ○ 粘稠度の高い食べ物は、口腔内の停滞時間が長くなり、う蝕のリスクを高めるので避ける。</p> <p>b × キシリトールは不溶性グルカンの基質にはならず、プラークの酸産生の材料にもならないが、多量にとると一過性の下痢を起こすので摂取量に注意が必要である。</p> <p>c × よく嚼んで食べると唾液分泌を促進し、う蝕予防に働く。</p> <p>d × 間食の回数が多いとう蝕を発症しやすくなる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 258-262</p>
<p>90 青年期の食生活における特徴的な問題点はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 間食 b 孤食 c 不規則な食生活 d アルコール摂取増加</p> <p>▶keyword: 食育、青年期の食生活上の問題点</p>	<p>解答: b, c</p> <p>青年期とは、一般的に 15~29 歳までの時期とし、15~19 歳（青年前期）、20~29 歳（青年後期）に分類される。</p> <p>a × 学齢期は友達付き合いのなかで、間食を購入するなど好きなときに好きなものを食べるようになり、不規則な食習慣につながっている。</p> <p>b ○ 間食や孤食、戸食、小食など不規則な食習慣が増えてくる。また、欠食・偏食およびダイエットなどで食事が軽視され、栄養素が十分に補給されないことがある。</p> <p>c ○ 思春期以降、保護者の観察下からやや離れ、部活や塾通い、進学や就職による生活の変化などから生活そのものが不規則になりやすい。</p> <p>d × 成人期になるとアルコール摂取の機会が増加し、過度の進用もみられる。これらは、肝臓・膵臓などの異常をもたらす、肥満を招くおそれがある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 270-275</p>

問題 A	解答・解説
<p>91 摂食・嚥下機能の評価に用いられるのはどれか。</p> <p>a PMA b OHI c PCR d RSST</p> <p>▶keyword: RSST (反復唾液嚥下テスト)</p>	<p>解答: d</p> <p>摂食・嚥下機能障害のスクリーニングの種類には、RSST (反復唾液嚥下テスト)、段階的フードテストなどがある。</p> <p>a × PMA Index は歯肉炎の広がりを評価する指数である。</p> <p>b × OHI は歯面に付着しているプラークと歯石の付着・沈着面積を観察して口腔衛生状態を評価する指標である。</p> <p>c × PCR は歯頸部のプラークの有無を評価する指標である。</p> <p>d ○ RSST は随意的な嚥下反射を 30 秒間に何回できるかを測定するテストで、30 秒間で嚥下回数が 3 回以上で正常、2 回以下の場合は嚥下障害の可能性が高いと判断する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 110-111 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 65-69</p>
<p>92 介護予防事業（地域支援事業）における一次予防事業について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 個別サービス計画の立案が必要である。 b 口腔機能向上に関する普及啓発活動などを行う。 c 計画、活動は地域包括支援センターの職員と連携する。 d 地域に在住する 60 歳以上のすべての高齢者を対象とする。</p> <p>▶keyword: 介護予防事業（地域支援事業）、一次予防事業、地域包括支援センター</p>	<p>解答: b, c</p> <p>平成 18 年 4 月の介護保険制度改正により、介護状態になることへの予防および介護状態の重症化予防を重視した介護予防が導入された。「生活機能の維持・向上」の一次予防事業と、「生活機能低下の早期発見・早期対応」の二次予防事業として実施される。</p> <p>a × 二次予防事業の事業内容である。二次予防事業では、事前アセスメント、個別サービス計画の立案などが作成される。</p> <p>b ○ 口腔機能向上に関する普及啓発活動などを行う。</p> <p>c ○ 計画、活動は地域包括支援センターの職員と連携する。</p> <p>d 地域に在住する 60 歳以上のすべての高齢者を対象とする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第 2 版 108-111</p>
<p>93 ある中学校の ITA 総会の際に学校保健委員会主催で、中学生に必要な口腔保健の知識について保護者も認識を深め、家庭での協力を促すことを目的とした講演会を開くことになった。学校歯科医とその医院に勤務する歯科衛生士に講師を依頼するにあたりふさわしいテーマはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 生活行動と歯肉炎 b フッ化物洗口の有効性 c 受動喫煙の全身および口腔への影響 d メタボリックシンドロームと歯周病の関連</p> <p>▶keyword: 歯科衛生教育活動、中学校、思春期</p>	<p>解答: a, c</p> <p>保護者が中学生の子どもの口を見る機会は減り、歯磨きなども子ども任せになるため、改めて子どもの口腔の健康について考えてもらうことが重要である。この時期、安易に菓子などの間食をとる傾向、塾などの影響による夜寝の生活、朝食欠食など、口腔環境に悪影響を及ぼす要因が多々ある。また、思春期のホルモンバランスの変化などにより、歯肉炎が増加する時期である。青少年に対し、タバコの害について正しい知識を提供し、興味本位で喫煙しないよう、家族で注意喚起したいテーマであり、受動喫煙の害などに触れるよい機会でもある。</p> <p>a ○ 生活行動と歯肉炎</p> <p>b × フッ化物洗口は特に 4~14 歳の期間に実施することが最も有効であるとされる。保護者にフッ化物洗口の知識を伝えるのは、洗口開始の時期である 4 歳頃で幼稚園や保育園がふさわしい。</p> <p>c ○ 受動喫煙の全身および口腔への影響</p> <p>d × メタボリックシンドロームは成人期、特に 40 歳以降の人に注意を促したい問題である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 263-270</p>

問題 A		解答・解説	
<p>94 近年の在宅要介護高齢者の生活環境の傾向として正しいのはどれか。</p> <p>a 単身世帯の減少 b 女性の介護者の増加 c 家族を介護するための離職や転職の減少 d 急性期回復後の医療機器使用の増加</p> <p>▶keyword: 在宅介護</p>	<p>解答: d</p> <p>在宅要介護高齢者および介護者に対する歯科衛生教育において、要介護者本人のQOL向上と介護者の介護負担軽減のため、その生活環境を把握することは重要である。近年の傾向として、単身世帯・高齢夫婦世帯が増加し、高齢者による高齢者の介護「老・老介護」も問題となっている。このような世帯では社会とのつながりが希薄になり、孤立しがちである。医療・保健・福祉の各職種が連携し合い、在宅での介護を支援し、閉じこもりを防止し、社会参加を促していく。</p> <p>a × 単身世帯は増加している。 b × 平成 24 年度版高齢社会白書（内閣府）では、介護者の割合は男性 30.6%、女性 69.4%と報告されているが、過去に比べて、男性の介護者が増加している。 c × 平成 24 年度版高齢社会白書（内閣府）では、家族を介護するための離職や転職が増えているとの報告がある。 d ○ 近年、医療機関では長期間の入院は困難で、急性期を過ぎ、回復した後はすぐに在宅療養に入ることが多い傾向にある。慢性疾患や身体的障害が残存している場合や、酸素吸入装置、喀痰の吸引装置など、医療機器を自宅で使用するケースも多い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 138-140 平成 24 年度版高齢社会白書（内閣府）</p>		
歯科診療補助論			
<p>95 浸潤麻酔下でのスケーリング処置後の片付けにおいて、感染性廃棄物とバイオハザードマークの色との組み合わせで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ディスポーザブル針——黄色 b 歯石の付いたガーゼ——黄色 c 血液の付いたガーゼ——赤色 d 消毒用綿球——橙色</p> <p>▶keyword: 医療廃棄物、バイオハザードマーク</p>	<p>解答: a, d</p> <p>医療廃棄物であることを示すものがバイオハザードマークであるが、廃棄物の内容によって色が異なる。赤色は血液、膿汁などの液状・泥状のもの、橙色は固形状のもの、黄色は注射針、メスなどの鋭利なものである。</p> <p>a ○ ディスポーザブル針は鋭利なものであるため、黄色となる。 b × 歯石の付いたガーゼは固形状のものとなるため、橙色である。 c × 血液の付いたガーゼは固形状のものとなるため、橙色である。 d ○ 消毒用綿球は固形状のものとなるため、橙色である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 28</p>		
<p>96 感染リスクと手洗いの組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 高リスク——衛生的な手洗い b 中間リスク——手術的な手洗い c 低リスク——衛生的な手洗い d 最小リスク——日常手洗い</p> <p>▶keyword: 手指消毒、感染リスク</p>	<p>解答: a, d</p> <p>手指消毒の分類は、液体石けんと流水による日常手洗い、消毒剤と流水による衛生的な手洗い、消毒剤と流水、滅菌ブラシを用いて行う手術的な手洗いの3つである。基本的な手法として、洗淨消毒法とすり込み式消毒法を組み合わせて実施する。処置の前後に目的に応じた手指消毒を行う必要がある。</p> <p>a ○ 高リスクの対象は、血管などの体内に直接挿入される器材を取り扱う場合で、手洗いは手術的な手洗いもしくは衛生的な手洗いを実施する。使う器材は滅菌しなければならない。 b × 中間リスクの対象は、正常な粘膜に接触する器材を取り扱う場合で、手洗いは衛生的な手洗いを実施し、器材は消毒しなければならない。手術的な手洗いの必要はない。 c × 低リスクの対象は、傷のない皮膚に接触する場合であり、手洗いは日常手洗いを実施し、器材は洗淨および乾燥させて管理する。衛生的な手洗いの必要はない。 d ○ 最小リスクの対象は、通常は直接接触しないようなものであり、手洗いは日常手洗いを実施し、器材は洗淨および乾燥させて管理する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 10、14-17</p>		

問題 A		解答・解説	
<p>97 石膏の硬化を促進させる方法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 練和速度を速くする。 b 硫酸カリウムを加える。 c 石膏の混水比を大きくする。 d 20%塩化ナトリウムを加える。</p> <p>▶keyword: 石膏の硬化時間</p>	<p>解答: a, b</p> <p>石膏の硬化時間に影響を与える使用条件に起因するものとして、混水比、練和条件、水温、硬化促進剤および硬化遅延剤の使用などがあげられる。</p> <p>a ○ b ○ c × 硬化が遅延する。 d × 3~5%の塩化ナトリウムが適切な濃度であり、20%では逆に遅延する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 101 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 171</p>		
<p>98 グラスアイオノマーセメントの取り扱いで正しいのはどれか。</p> <p>a 合着のみに用いられる。 b 操作時間に余裕がある。 c 一括もしくは2分割練和を行う。 d 練和時に熱が発生するためガラス練板を使用する。</p> <p>▶keyword: グラスアイオノマーセメントの取り扱い</p>	<p>解答: c</p> <p>セメント類は使用頻度が高いので、種類や使用目的、取り扱い、操作方法の基礎知識を確実に理解する。</p> <p>a × グラスアイオノマーセメントは、合着、裏層、修復などの用途がある。 b × c ○ d × ガラス練板を使用し、セメントの反応熱を放熱させながら練和するのは、リン酸亜鉛セメントである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 112-113 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 62-63 ポイントチェック⑥ 134</p>		
<p>99 無歯顎の精密印象に使用する印象材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 寒天印象材 b ゴム質印象材 c アルジネート印象材 d 酸化亜鉛ユージノールペースト</p> <p>▶keyword: 酸化亜鉛ユージノールペースト</p>	<p>解答: b, d</p> <p>無歯顎の精密印象に使用する印象材には、酸化亜鉛ユージノールペーストと、アンダーカットが認められる場合にはゴム質印象材がある。</p> <p>a × 弾性印象材で無歯顎の精密印象に使用する。 b ○ 弾性印象材なので、印象面にアンダーカットが認められる場合でも使用でき、有歯顎、無歯顎双方に使用する精密印象材である。 c × 弾性印象材で単一印象では軟形印象に使用するが、寒天との混合印象による有歯顎の精密印象にも使用される。 d ○ 粘膜面の正確な印象が採得できる精密印象材であるが、非弾性印象材なので無歯顎の精密印象にしか使用しない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 88-92、93-94 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 133-149、154-156</p>		
<p>100 鑄造コア製作のために形成された根管内の印象採得を行っている写真（別冊 No. 12）を別に示す。</p> <p>使用している器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a レンツロ b クレンザー c シリンジ（注入器） d ダイヤモンドポイント</p> <p>▶keyword: 合成ゴム質印象材</p>	<p>解答: a, c</p> <p>形成された根管の印象採得の際、シリンジで根管内へ印象材を注入しても、底部まで印象材が注入できないことが多い。レンツロ（スパイラルルートキャナルファイラー）を用いて底部まで印象材を注入するとよい。</p> <p>a ○ b × 抜髄など根管内容物の除去や根管の清掃に使用する。 c ○ d × 主に高回転エアーペンに取り付けて歯の切削に用いる。超微粒子ダイヤモンドはレジンの仕上げ研削に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 146</p>		

問題 A		解答・解説	
101	<p>写真(別冊 No. 13)を別に示す。前歯部の歯間分離に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 歯間分離器</p>	<p>解答: b, c</p> <p>歯間分離は、隣接する歯を離間させ、歯と歯に間隙を作る方法で、即時歯間分離法と緩徐歯間分離法がある。即時歯間分離法は、修復時にその場で歯間分離を行う方法で、各種歯間分離器やウェッジを用いる。緩徐歯間分離法は、時間をかけて次回来院時まで徐々に歯間を分離させる方法で、通常は臼歯部で行われる。</p> <p>a× 歯間分離器のエリオット型であり、臼歯部に用いる。 b○ 歯間分離器のアイボリー型であり、前歯部に用いる。 c○ ウェッジである。くさび状にした木製やプラスチック製の小器具で、歯間に挿入して両側の歯を分離する。 d× ポリッシングストリップスで、隣接面の研磨などに用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 105-110</p>	
102	<p>25歳の女性。下顎左側第一大臼歯にOM窩洞のメタルインレーを装着することになった。準備するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬合紙 b デンタルフロス c マトリックスバンド d タッフルマイヤー型リテーナー</p> <p>▶keyword: メタルインレー修復</p>	<p>解答: a, b</p> <p>OM窩洞とは、咬合面・近心隣接面にわたる窩洞である。メタルインレーの口腔内試適・合着は、①インレー体の窩洞への挿入・圧接、②咬合調整、③修整部の仕上げ・研磨、④合着の順である。</p> <p>a○ 咬合の点検には、咬合紙を用いる。 b○ 合着用セメントが硬化したら、エキスポローラー、スケーラー、デンタルフロスなどで余剰セメントを除去する。 c× 隔壁を行う際に用いる。 d× 隔壁を行う際、バンドの保持に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 63-68</p>	
103	<p>器具とその処置との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯周パック——縫合 b ポケットマーカー——ポケット底部の印記 c シュガーマンファイル——歯肉整形 d オーシャンピンチゼル——歯槽骨整形</p> <p>▶keyword: 歯周外科治療</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a× 歯周パックは縫合ではなく、創部に直接圧接し、固定をするものである。 b○ c× シュガーマンファイルは歯槽骨の整形に用いる骨ヤスリである。 d○ オーシャンピンチゼルは骨ノミである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 153-158 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 155-161</p>	
104	<p>顎間関係の記録をする際に必要な器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ノギス b 平行測定器 c 咬合平面板 d モールドガイド</p> <p>▶keyword: 垂直的顎間関係</p>	<p>解答: a, c</p> <p>a○ 下顎安静位を利用して計測する場合はノギスを用いる。鼻下オトガイ点間距離を計測し、その値から安静空隙量を引いた値を咬合高径とする。 b× ブリッジ作製に形成した支台歯の平行性を検査するために使用する。 c○ 仮想咬合平面を決定する際に使用する。上顎の咬合床を挿入し、正面から瞳孔線と平行に、側面から鼻橋道線と平行になるように調整する。 d× 使用する人工歯の大きさ、形態を選択する形態見本である。シェードガイドと同様に、人工歯の種類、メーカーにより異なる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 94-99</p>	

問題 A		解答・解説	
105	<p>義歯装着患者への指導で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 義歯は熱湯消毒をする。 b 義歯は水中で保管する。 c 義歯は歯磨剤を使用して磨く。 d 夜間就寝中は義歯を外す。</p> <p>▶keyword: 義歯装着、患者指導</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a× 熱湯消毒はレジンの変形につながるため、行ってはいけない。 b○ 保管は水中に浸したままで行い、乾燥させない。保管時に義歯洗浄剤を使用して歯の増殖を抑制することも重要である。 c× 歯磨剤はレジンへの摩擦を引き起こすため使用しない。 d○ 夜間就寝中は原則として義歯を外し、顎粘膜を生理的状态に回復させるようにする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 181-190</p>	
106	<p>義歯調整時に準備する器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 適合試験材 b バイトゲージ c カーバイドバー d パラフィンワックス</p> <p>▶keyword: 義歯装着、カーバイドバー、適合試験材</p>	<p>解答: a, c</p> <p>a○ 義歯床の適合状態を検査するために用いる材料である。硬化後の被膜厚さで適合状態を判断する印象材タイプと、硬化せずに塗布したペーストの圧迫状態から適合状態を判断するペーストタイプがある。 b× 咬合採得時の咬合の高さを決める際に使用される計測器具である。 c○ 義歯床や人工歯の切削調整にカーバイドバーとストレートハンドピースを使用する。 d× パラフィンワックスは主にレジン義歯床の仮床、咬合堤の製作、人工歯の排列などに使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 172-174</p>	
107	<p>埋伏抜歯手術に使用する器具を写真(別冊 No. 14)を別に示す。使用する順番で正しいのはどれか。</p> <p>a ① → ④ → ③ → ② b ② → ③ → ④ → ① c ③ → ④ → ① → ② d ④ → ③ → ② → ①</p> <p>▶keyword: 埋伏抜歯</p>	<p>解答: b</p> <p>写真は、①破骨鉗子、②マイセル・マレット、③ヘーベル(エレベーター)、④抜歯鉗子である。埋伏抜歯手術の手順は、口腔内洗浄→術野の消毒→局所麻酔→歯周靭帯の切離および粘膜炎膜切開→粘膜炎膜弁の翻転→骨切除および歯の分割→病巣の掻爬→縫合→止血である。歯の分割を行わない場合、マイセル・マレットで骨除去を行い、ヘーベルで歯を脱臼させ、抜歯鉗子を用いて抜歯を行い、破骨鉗子で骨の鋭縁の除去を行う。</p> <p>a× b○ c× d×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 139-151、234-240 ポイントチェック® 166</p>	

問題 A		解答・解説
108	<p>歯科用局所麻酔に使用する器材について正しいのはどれか。</p> <p>a 浸潤麻酔には 25 G または 27 G の注射針を用いる。</p> <p>b 注射用カートリッジは使用する直前に冷暗所から取り出す。</p> <p>c 注射用カートリッジは使用時にアルコール綿で全体を清拭する。</p> <p>d 浸潤麻酔用注射器はブランジヤーの指をかける部分がリング状になっている。</p>	<p>解答: c</p> <p>局所麻酔に使用する器材には、注射器、カートリッジ、注射針がある。注射器には、浸潤麻酔用と伝達麻酔用がある。注射針はディスプレイで、浸潤麻酔と伝達麻酔で注射針の太さが異なる。</p> <p>a × 浸潤麻酔には、31 G または 33 G の注射針を用いる(臨床現場では 30 G も使用している)。伝達麻酔には、25 G または 27 G の注射針を用いる。</p> <p>b × 注射用カートリッジは、冷暗所から取り出し、室温遮光下で保管してから使用する。</p> <p>c ○ 注射用カートリッジは、加熱(高温蒸気滅菌、煮沸消毒)するとカートリッジを損傷し、紫外線はアドレナリンを分解する。薬物・薬液中での保管はゴム栓を通してカートリッジ内に薬物が入り込む可能性がある。</p> <p>d × 伝達麻酔用注射器はブランジヤーの指をかけるところがリング式になっている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 188-190 ポイントチェック⑥ 164-165</p>
▶ keyword: 局所麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔		
109	<p>口腔内小手術と使用器材の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 小帯切除術——— 剝離剪刀</p> <p>b 歯槽骨整形術——— 粘膜剝離子</p> <p>c 軟組織内囊胞摘出術——— 骨膜剝離子</p> <p>d 歯根端(尖)切除術——— マイセル・マレット</p>	<p>解答: a, d</p> <p>口腔内小手術には、顎骨内の嚢胞および良性腫瘍摘出術、軟組織内の嚢胞および良性腫瘍摘出術、歯根端(尖)切除術、歯槽骨整形術、小帯切除術、口腔インプラント手術がある。</p> <p>a ○</p> <p>b × 歯槽骨整形術は骨膜起子、骨膜剝離子を使用する。</p> <p>c × 軟組織内嚢胞摘出術は粘膜剝離子を使用する。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 242-249 ポイントチェック④ 167-168</p>
▶ keyword: 口腔内小手術		
110	<p>局所止血処置における一時的止血法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 結紮法</p> <p>b 焼灼法</p> <p>c 塞栓法</p> <p>d 圧迫止血法</p>	<p>解答: c, d</p> <p>局所止血処置は、一時的止血法と永久止血法に分けられる。一時的止血法には、圧迫止血法、指圧法、釈放法(タンポン法)、圧迫包帯法があり、永久止血法には、結紮法、血管縫合法、創縁縫合法、焼灼法(凝固法)、抜歯窩縁縫合法、骨からの出血に対する止血法(挫滅法、栓塞法)がある。</p> <p>a × 永久止血法である。結紮法には、止血鉗子で血管損傷部を把持し、縫合糸で結紮して止血する血管結紮法、出血している血管が明示できない場合に出血点を中心に周囲組織に糸を通し、縫合結紮して止血する周囲結紮法、広範囲から同時に出血して止血困難な場合に、出血部位へ分布している動脈の中根側を結紮する分布動脈結紮法がある。</p> <p>b × 永久止血法である。凝固法ともいう。電気メスやレーザーを使用して出血部位を凝固する方法である。</p> <p>c ○ 一時的止血法である。タンポン法ともいう。滅菌ガーゼを創部に挿入して圧迫する方法である。圧迫止血法と同じ原理だが、ガーゼの代わりに酸化セルロースなどの局所止血剤を用いる場合もある。</p> <p>d ○ 一時的止血法である。最も基本的な止血法で、出血部位に滅菌ガーゼや綿花を当てて、持続的に圧迫する方法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 163-166 ポイントチェック④ 26</p>
▶ keyword: 止血法		

問題 B		解答・解説
		人体と歯・口腔の構造と機能
111	<p>十二指腸の十二指腸乳頭に分泌される消化液をつくるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 耳下腺</p> <p>b 肝臓</p> <p>c 膵臓</p> <p>d 副腎</p>	<p>解答: b, c</p> <p>消化器系は機械的消化を行う消化管と、化学的消化を行う消化腺からなる。消化腺には唾液腺、肝臓、膵臓がある。唾液腺は大唾液腺(耳下腺、顎下腺、舌下腺)と小唾液腺からなり、唾液を口腔内に分泌する。肝臓は胆汁を産生し、胆汁は総肝管-胆嚢-胆嚢管-総胆管を経て十二指腸乳頭に分泌される。膵臓は膵液を産生し、膵液は膵管を通り、総胆管と合流した後、胆汁とともに十二指腸乳頭に分泌される。</p> <p>a × 耳下腺は大唾液腺の1つで、口腔前庭に唾液を分泌する。</p> <p>b ○ 肝臓は胆汁を産生し、十二指腸乳頭に分泌する。</p> <p>c ○ 膵臓は膵液を産生し、十二指腸乳頭に分泌する。</p> <p>d × 副腎はホルモンを産生し、血管に分泌する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 92-93 新歯科衛生士教本 解剖学・口腔解剖学・組織発生学 37</p>
▶ keyword: 肝臓、膵臓、唾液腺、胆汁、膵液、唾液		
112	<p>口腔前庭に存在するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 舌小帯</p> <p>b 下唇小帯</p> <p>c 切歯乳頭</p> <p>d 耳下腺乳頭</p>	<p>解答: b, d</p> <p>上下の歯列と口唇・頬との間の狭い空隙を口腔前庭、歯列より後方の領域(空隙)を固有口腔といい、固有口腔の天井に口蓋が、床に舌がみられる。上唇小帯と耳下腺乳頭は口腔前庭に、舌小帯と切歯乳頭は固有口腔に存在する。</p> <p>a × 舌小帯は舌下面正中と下顎槽正中中部まで広がる板状のヒダである。</p> <p>b ○ 下唇小帯は下顎左右中切歯間の歯槽粘膜から口唇粘膜に走るヒダである。</p> <p>c × 切歯乳頭は上顎中切歯のすぐ後ろの口蓋にある隆起である。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 11-12</p>
▶ keyword: 口腔前庭、固有口腔		
113	<p>鐘状期の歯胚の写真(別冊 No. 1)を別々に示す。</p> <p>矢印で示すのはどれか。</p> <p>a 歯小囊</p> <p>b 歯堤</p> <p>c 代生歯胚</p> <p>d エナメル器</p>	<p>解答: c</p> <p>写真は鐘状期前期の歯胚である。口腔上皮から歯堤が伸び、乳歯の歯胚のエナメル器の跡に代生歯胚が形成されている。乳歯の歯胚は、エナメル器と歯乳頭、それらを取り囲む歯小囊から構成されている。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ○</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 210-213</p>
▶ keyword: 歯胚、歯堤、代生歯胚		
114	<p>□に入る数字の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>ヘモグロビンは、αタンパク質とβタンパク質からなる①[]異体で、1分子あたり②[]つの鉄を含む。</p> <p>① ②</p> <p>a 二 2</p> <p>b 二 4</p> <p>c 四 2</p> <p>d 四 4</p>	<p>解答: d</p> <p>ヘモグロビンは赤血球に含まれ、肺から全身へ酸素を運搬するタンパク質である。ヘモグロビンは独自の立体構造をとり、ヘムとよばれる鉄を含む物質と結合した2種類のタンパク質(αタンパク質とβタンパク質)が2分子ずつ集まった四量体を形成する。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 18、25 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 169-171</p>
▶ keyword: ヘモグロビン		

問題 B		解答・解説	
115	<p>加水分解酵素はどれか。2つ選べ。</p> <p>a リパーゼ b アミラーゼ c カタラーゼ d アルコール脱水素酵素</p> <p>▶ keyword : 酵素</p>	<p>解答 : a, b</p> <p>酵素は生体内で起こる化学反応を触媒する分子である。加水分解酵素は加水分解反応を触媒とする酵素の総称で、アミラーゼ、ペプシン、トリプシン、リパーゼなどの消化酵素やコラーゲナーゼなどのタンパク質分解酵素（プロテアーゼともいう）が含まれる。</p> <p>a ○ リパーゼは中性脂肪を加水分解する。 b ○ アミラーゼはデンプンを加水分解する。 c × カタラーゼは過酸化水素を酸素と水に変える酸化還元酵素である。 d × アルコール脱水素酵素はアルコールを酸化してアルデヒドにする酸化還元酵素である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 24、26 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 5</p>	
116	<p>ヘモグロビンにおける酸素結合度と酸素分圧の関係を図に示す。</p> <p>ヘモグロビンが動脈から毛細血管に移動する間に酸素を離すヘモグロビンの割合はどれか。</p> <p>a 21% b 75% c 96% d 100%</p> <p>▶ keyword : ヘモグロビン、酸素分圧</p>	<p>解答 : a</p> <p>酸素分圧の違いにより生じた結合（飽和）度の差だけ酸素が放出される。つまり、$96 - 75 = 21$（%）である。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 184-185</p>	
117	<p>内臓平滑筋の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 収縮速度は骨格筋に比べて遅い。 b フィラメントの配列は規則正しい。 c 隣接する細胞が電気的に連絡する。 d 収縮の特続時間は骨格筋に比べて短い。</p> <p>▶ keyword : 内臓平滑筋</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>内臓平滑筋は消化管、腸管、子宮、尿管などの中空臓器の壁や径の細い血管壁を構成している。</p> <p>a ○ 骨格筋に比べて収縮速度が遅い。 b × フィラメントの配列は不規則である。 c ○ 隣接する細胞間にギャップジャンクションをもち、電気的に連絡する。 d × 骨格筋に比べて収縮の特続時間が長い。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 63-64</p>	

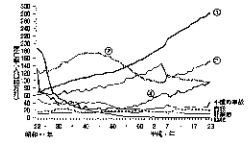
問題 B		解答・解説	
118	<p>大脳の外観と機能局在を図に示す。</p> <p>運動性言語中枢はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 機能局在、大脳</p>	<p>解答 : a</p> <p>大脳新皮質には、運動機能、感覚機能、連合機能を行う領域がある。</p> <p>a ○ ①は前頭葉に存在する運動性言語中枢を示す。 b × ②は後頭葉に存在する視覚野を示す。 c × ③は側頭葉に存在する感覚性言語中枢を示す。 d × ④は側頭葉に存在する聴覚野を示す。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 152-154</p>	
疾病の成り立ち及び回復過程の促進			
119	<p>主として外因によって起こるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 天疱瘡 b 壊血病 c 血友病 d 水俣病</p> <p>▶ keyword : 内因、外因、壊血病、血友病、天疱瘡、水俣病</p>	<p>解答 : b, d</p> <p>病気は内因と外因の相互作用によって起こる。内因には、年齢や性別などの素因、ホルモン分泌の亢進や低下などの内分泌異常、染色体異常や遺伝性疾患などの遺伝子異常、自己免疫疾患などの免疫機能の異常がある。外因には、三大栄養素のタンパク質、脂肪、炭水化物のほか、水分やビタミン、ミネラルなどの欠乏や過剰による栄養障害、創傷や骨折、放射線や紫外線、電流、熱傷や凍傷、気圧の変化などのさまざまな物理的因子、種々の毒性のある物質、身体の中で産生される毒素、環境破壊による公害病、サリドマイドなどの薬物などの化学的因子、ウイルスや細菌、真菌、原虫、寄生虫などの病原性生物などの生物学的因子がある。</p> <p>a × 天疱瘡は、上皮細胞のデスモゾームに対する自己抗体が産生されることによって起こる自己免疫疾患である。 b ○ 壊血病は、ビタミンCの欠乏により血管壁がもろくなることにより出血しやすくなる。 c × 血友病は血液凝固因子の第Ⅷ因子や第Ⅸ因子が欠損して起こるもので、血液が凝固せず、出血が止まらなくなる。血友病の因子はX染色体にあるため伴性遺伝によって遺伝し、男性(XY)に発病する。 d ○ 水俣病は、工場排水に含まれていたメチル水銀が魚介類を介して身体の中に蓄積して発病した水銀中毒による公害病である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 5-7</p>	

問題 B		解答・解説
120	<p>血液に由来する色素はどれか。2つ選べ。</p> <p>a メラニン b カロチン c ビリルビン d ヘモグロビン</p> <p>▶keyword: 内因性色素、外来性色素、ヘモグロビン、ビリルビン、メラニン</p>	<p>解答: c、d</p> <p>身体の色素には、体内でつくられるメラニンやヘモグロビンなどの内因性色素と、食物に含まれるものや胆汁などのように外から入り込んで沈着する外来性色素がある。皮膚や口腔粘膜の色はメラニンや血液のヘモグロビン、食物由来のカロチンなどによる。</p> <p>a × メラニンは皮膚や口腔粘膜の角化重層扁平上皮を構成しているメラノサイトにより産生される。</p> <p>b × カロチンはニンジンやカボチャ、柑橘類などに含まれる色素で、食物として身体に取り込まれる。</p> <p>c ○ ビリルビンは赤血球が分解してつくられ、胆汁色素として糞便の色の元となる。血中のビリルビンが多くなり、組織に沈着していたものが黄疸である。</p> <p>d ○ ヘモグロビンは赤血球の主要成分で、肺で酸化ヘモグロビンとなり、末梢組織に酸素を運搬する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 29-30</p>
121	<p>化膿性炎の原因となるのはどれか。</p> <p>a 細菌 b 真菌 c ウイルス d スピロヘータ</p> <p>▶keyword: 化膿性炎、膿瘍、蜂窩織炎、好中球</p>	<p>解答: a</p> <p>化膿性炎はブドウ球菌やレンサ球菌により起こる滲出性炎で、口腔内に起こる炎症では最も一般的である。膿は化膿性炎の滲出物で、多数の好中球や変性した好中球(膿球)を含み、黄緑色で不透明な滲出液である。</p> <p>a ○</p> <p>b × 真菌によって起こる真菌症には、カンジダ・アルビカンスの日和見感染によって起きるカンジダ症などがある。</p> <p>c × ウイルスによって起こるものには、インフルエンザ、B型やC型肝炎、HIV、単純ヘルペスや帯状疱疹、エイズ(HIV)、麻疹、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)などがある。</p> <p>d × スピロヘータはグラム陰性菌であり、そのなかの梅毒トレポネーマが梅毒病原体である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 48-49</p>
122	<p>ウイルスに存在するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 核膜 b 核殻 c カプシド d ペプチドグリカン</p> <p>▶keyword: ウイルス、構造、カプシド、エンベロープ、核酸</p>	<p>解答: b、c</p> <p>ウイルスの基本構造は、遺伝情報を担う核酸(DNAまたはRNA)と、それを保護するカプシドとよばれるタンパク質の殻で構成される。ある種のウイルスには、最外層をエンベロープとよばれる脂質膜で覆われたものもある。</p> <p>a × 核膜は核酸(染色体)を包む膜で、真核生物に特有の構造である。微生物では真菌や原虫などがもち、原核生物に分類されるウイルスや細菌にはない。</p> <p>b ○ 核殻はウイルスからヒトまですべての生命体が有し、遺伝情報を担うゲノムの本体である。ウイルスのゲノムはDNAの場合とRNAの場合がある。</p> <p>c ○ カプシドは核酸を保護するタンパク質性の殻であり、ウイルス特有の構造である。</p> <p>d × ペプチドグリカンは細菌に特有の細胞壁構成成分で、ウイルスにはない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 49-51</p>

問題 B		解答・解説
123	<p>食作用と抗原提示作用を併せもつのはどれか。</p> <p>a 好中球 b Bリンパ球 c Tリンパ球 d マクロファージ</p> <p>▶keyword: 食作用、抗原提示細胞</p>	<p>解答: d</p> <p>免疫担当細胞のなかで、食作用を示すものと抗原提示作用を示すものについて、それぞれ代表的なものを理解しておく。代表的な食細胞として好中球とマクロファージがあげられる。抗原提示作用を示す細胞としては樹状細胞やBリンパ球、マクロファージなどがある。</p> <p>a × 好中球は代表的な食細胞であるが、抗原提示作用はない。</p> <p>b × Bリンパ球には抗原提示作用はあるが、食作用はない。</p> <p>c × Tリンパ球は、抗原提示細胞によって提示された抗原情報を認識する側の細胞である。食作用はない。</p> <p>d ○ マクロファージは食作用により細胞内に取り込んだ抗原物質を消化し、その一部をMHCクラスII分子と結合して細胞外に提示し、ヘルパーT細胞による認識を行う。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 77-78、83-88</p>
124	<p>ステロイド性抗炎症薬の副作用はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯の着色 b 胃腸障害 c 歯肉の増殖 d 満月線顔貌(ムーンフェイス)</p> <p>▶keyword: ステロイド性抗炎症薬、胃腸障害、満月線顔貌(ムーンフェイス)</p>	<p>解答: b、d</p> <p>ステロイド性抗炎症薬の副作用としては、投与中に現れる胃腸障害、感染症の悪化、満月線顔貌、糖尿病、骨粗鬆症や投与中止後に現れる離脱症候群(脱力感、ショックなど)が挙げられている。</p> <p>a × テトラサイクリン系抗生薬の副作用として知られている。</p> <p>b ○</p> <p>c × 抗てんかん薬のフェニトイン、高血圧治療薬のカルシウム拮抗薬、免疫抑制薬のシクロスポリンなどの副作用として知られている。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 93-95 新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 91-93</p>
125	<p>口腔粘膜に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a グルタルール b オキシドール c 次亜塩素酸ナトリウム d ベンザルコニウム塩化物</p> <p>▶keyword: オキシドール、ベンザルコニウム塩化物、グルタルール、次亜塩素酸ナトリウム、口腔粘膜</p>	<p>解答: b、d</p> <p>消毒薬は病原微生物の数を減らして病原性を除去することを目的とした薬物である。口腔粘膜には、組織刺激性や腐食性が比較的に少ないオキシドール(3%過酸化水素水)、第四級アンモニウム塩(ベンザルコニウム塩化物、ベンゼトニウム塩化物)、ヨウ素化合物(ポビドンヨード、歯科用ヨードグリセリン、希ヨードチンキ)などが適用される。</p> <p>a × グルタルアルデヒドともいう。芽胞を含めすべての微生物に有効な消毒薬であるが、腐食作用が強いためヒトには用いない。</p> <p>b ○ 口腔粘膜の消毒や口内炎の洗口に用いる。また、う窩や感染根管の清掃、歯の洗浄など歯科では広く用いられる。</p> <p>c × ほとんどの細菌、真菌、ウイルスに有効な消毒薬であるが、腐食作用が強くヒトには用いない。また、金属腐食作用も強いため金属製の医療器具の消毒にも用いない。</p> <p>d ○ 陽性(逆性)石けんともよばれる界面活性剤で、組織刺激性が少なく、口腔粘膜の消毒、手術部位の消毒、技工歯の洗浄などに用いる。普通の石けんとは逆の陽イオン部に活性基がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 123-130 新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 107-115</p>

問題 B		解答・解説	
126	薬物療法において原因療法はどれか。 a 降圧薬 b 抗炎症薬 c 抗悪性腫瘍薬 d 麻薬性鎮痛薬	解答：c 薬物は治療目的により、原因療法、対症療法、予防療法および補充療法に分けられる。原因療法とは疾病の原因を除去する療法である。対症療法とは、疾病の原因に対し直接的な薬物治療ができない場合に、その症状を取り除くために薬物を適用するものである。予防療法は疾病の発症を予防するために薬物を適用することである。補充療法は生体に不足している栄養分などを補充することである。 a × 高血圧治療に用いられる降圧薬は、対症療法である。 b × 炎症の諸症状を緩和する抗炎症薬は、対症療法である。 c ○ がんに用いられる抗悪性腫瘍薬は、原因療法である。 d × 癌性疼痛などに対する麻薬性鎮痛薬は、対症療法である。	文献：最新歯科衛生士教本 薬理学 3-4
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み			
127	う蝕と歯周病に共通する第一次予防はどれか。2つ選べ。 a PMTC b 小窩裂溝塞塞 c 薬用歯磨剤の使用 d 甘味飲食物摂取の制限	解答：a, c 疾病の自然的経過のどの段階においても、その前段階で防ぐことが予防である。 a ○ 以前はう蝕予防を目的としていたが、現在では歯周病予防としても広く行われている。 b × う蝕に対してのみの第一次予防になる。 c ○ 薬用成分によりプラークをつきにくくする。 d × う蝕に対してのみの第一次予防になる。	文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 146-150、185-188
128	歯ブラシによる清掃で除去できるのはどれか。 a 歯石 b ペリクル c 食物残渣 d 着色性沈着物	解答：c 歯の付着物には、歯ブラシによる清掃で除去できるものとできないものがある。 a × 歯石はプラークが石灰化したもので歯ブラシでは除去できない。 b × 唾液中の糖タンパク由来の被膜で歯ブラシでは除去できない。 c ○ d × 外来性色素の沈着で歯ブラシでは除去できない。	文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 108-114 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 205
129	歯磨剤の基本成分はどれか。 a ソルビトール b 塩化ナトリウム c 乳酸アルミニウム d モノフルオロリン酸ナトリウム	解答：a 歯磨剤は基本成分と薬用成分からなる。 a ○ 基本成分の湿潤剤（保湿剤）として配合されている。 b × 歯周疾患予防のための薬用成分である。 c × 象牙質知覚過敏対策のための薬用成分である。 d × う蝕予防のための薬用成分である。	文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 126-127 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 210-211

問題 B		解答・解説	
130	3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。 う蝕罹患型はどれか。 a A型 b B型 c C1型 d C2型	解答：a 3歳児歯科健康診査では、う蝕発生部位による罹患型の区分がある。 a ○ 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕がある場合のう蝕罹患型である。 b × 臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある場合のう蝕罹患型である。 c × 下顎前歯部のみう蝕がある場合のう蝕罹患型である。 d × 下顎前歯部を含むほかの部位にう蝕がある場合のう蝕罹患型である。	文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 248-249
131	第一大臼歯へのフッ化物局所応用によるう蝕予防効果が最も高い年齢はどれか。 a 7歳 b 12歳 c 16歳 d 22歳	解答：a 萌出直後のエナメル質は未成熟であり反応性が高く、フッ化物局所応用による歯へのフッ化物の取り込み量も多い。また、歯の表面が未成熟であるため、う蝕に罹患しやすい時期は歯が萌出してから2~3年である。 a ○ 第一大臼歯の萌出時期は5~7歳頃であるため、う蝕予防効果が最も高い時期を萌出後2~3年とすると7~10歳頃となる。 b × 第一小臼歯、犬歯は10~11歳頃に萌出する。12歳頃は第一小臼歯、犬歯へのフッ化物によるう蝕予防効果が高い。 c × 第二大臼歯、第二小臼歯は12~13歳頃に萌出する。16歳頃は第二大臼歯、第二小臼歯へのフッ化物によるう蝕予防効果が高い。 d × 成人を過ぎた歯は、エナメル質が成熟しう蝕感受性は低くなる。	文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 96-98、161-162
132	唾液の作用と成分の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。 a 抗菌作用——リゾチーム b 潤滑作用——重炭酸塩 c 消化作用——ラクトフェリン d 再石灰化作用——カルシウムイオン	解答：a, d 唾液にはさまざまな作用があり、それぞれの作用と成分について理解する必要がある。選択肢以外の作用として唾液アミラーゼや舌リパーゼは消化作用、粘膜ムチンやシスタチンSは粘膜保護作用を示す。 a ○ 抗菌作用を示す成分はリゾチーム以外に、免疫グロブリン（IgA）、ペルオキシダーゼ、ラクトフェリン、ヒスタチンなどがある。 b × 潤滑作用を示す成分はムチンや高プロリンタンパク、水分などである。 c × 消化作用として、唾液アミラーゼはデンプン、舌アミラーゼは脂肪を分解する。 d ○ 再石灰化作用として、カルシウムイオンやリン酸イオン、フッ化物がある。	文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 142-143 最新歯科衛生士教本 保健生態学 95

問題 B		解答・解説												
<p>133 6歳児の間食の摂取状況とう蝕の関連を調べたい。間食の摂取状況とう蝕の有無の結果を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="100 223 380 343"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">う蝕</th> </tr> <tr> <th>あり</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">間食</th> <th>1日2回以上</th> <td>83</td> <td>78</td> </tr> <tr> <th>1日1回以下</th> <td>43</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>(人)</p> <p>間食を1日2回以上摂取することがう蝕と関係しているかについての検定方法で適切なのはどれか。</p> <p>a t検定 b 相関分析 c カイ二乗検定 d Mann-Whitney の U 検定</p> <p>▶keyword: カイ二乗検定、t 検定、相関分析、Mann-Whitney の U 検定</p>			う蝕		あり	なし	間食	1日2回以上	83	78	1日1回以下	43	96	<p>解答: c</p> <p>検定とは、実際のデータから計算される値から、そのデータが稀であるかを判定することである。2つ以上の群を比較する場合、そのデータが一致することが稀である、つまり、めったに起こらないと判定された場合、有意差があると判定される。検定は用いられるデータの性質によってその方法が決まる。</p> <p>a × t 検定は標本の分布が正規分布の場合の2つの独立した2群間の比較に用いる。</p> <p>b × 相関は2つの変数である変数が増加するともう1つの変数の増加(減少)するといった、2つの変数間の関連を示す。</p> <p>c ○ カイ二乗検定はデータを行・列の2方向の要因が互いに関連しているかについて分析する方法である。</p> <p>d × Mann-Whitney の U 検定は標本の分布が正規分布でない場合の2つの独立した2群間の比較に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 96-98、101-102、116-123</p>
			う蝕											
		あり	なし											
間食	1日2回以上	83	78											
	1日1回以下	43	96											
<p>134 我が国の主要死因別の死亡率の推移を圖に示す。</p>  <p>③はどれか。</p> <p>a 肺炎 b 心疾患 c 悪性新生物 d 脳血管疾患</p> <p>▶keyword: 死因、人口動態統計</p>	<p>解答: b</p> <p>明治20年代後半以降、結核による死亡が大きく減少して、我が国の死因構造の中心が感染症から生活習慣病に大きく変化したことがわかる。</p> <p>a × ④であり、2011年(平成23年)に脳血管疾患に入れ替わって3位となった。</p> <p>b ○ 1997年(平成9年)以来2位である。</p> <p>c × ①であり、1981年(昭和56年)以来1位である。</p> <p>d × ②であり、2011年における全死亡数に対する割合は約10%である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 28-29 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 24-26</p>													
<p>135 労働者に対する特殊健康診断が該当するのはどれか。</p> <p>a 健康管理 b 作業管理 c 対物管理 d 作業環境管理</p> <p>▶keyword: 特殊健康診断</p>	<p>解答: a</p> <p>産業現場における産業衛生対策の基本は「作業環境管理」、「作業管理」、「健康管理」の3つである。</p> <p>a ○ 健康管理の基本は健康診断と健康測定であるが、その結果に基づく事後措置、健康指導など生活全般にわたる幅広い内容を含む。特殊健康診断は健康診断の一種である。</p> <p>b × 有害な要因を適切に管理して、作業環境の悪化を防止し、労働者への影響を少なくすることである。</p> <p>c × 学校保健の保健管理のうち学校内設備を対象とするものである。</p> <p>d × 作業環境中の種々の有害要因を取り除き、適切な作業管理を確保することである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 289-291</p>													

問題 B		解答・解説
<p>136 第三次予防はどれか。</p> <p>a 糖尿病患者への食事指導 b 胃潰瘍患者のピロリ菌検査 c 脳梗塞患者の摂食・嚥下訓練 d 高齢者へのインフルエンザワクチン接種</p> <p>▶keyword: 予防の概念</p>	<p>解答: c</p> <p>第一次予防は健康増進、特異的防御、第二次予防に疾病の早期発見・早期治療、機能喪失防止、そして第三次予防はリハビリテーションである。</p> <p>a × 第二次予防である。</p> <p>b × 第二次予防である。</p> <p>c ○ 第三次予防である。</p> <p>d × 第一次予防である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 5-7</p>	
<p>137 シックハウス症候群の原因物質はどれか。</p> <p>a フロン b 一酸化炭素 c 二酸化硫黄 d ホルムアルデヒド</p> <p>▶keyword: シックハウス症候群</p>	<p>解答: d</p> <p>シックハウス症候群は、建材に使用される化学物質(ホルムアルデヒドやトルエンなど)に起因し、眼や喉、自律神経の障害など多様な症状が発生する。</p> <p>a × オゾン層を破壊し、地球温暖化に関与する。</p> <p>b × 不完全燃焼により発生し、容易に中毒を起こす。</p> <p>c × 酸性雨の原因である。</p> <p>d ○ 建材の接着剤に使用された。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 47-48</p>	
<p>138 再興感染症はどれか。</p> <p>a 結核 b AIDS c SARS d 鳥インフルエンザ</p> <p>▶keyword: 再興感染症、新興感染症</p>	<p>解答: a</p> <p>旧来型の感染症のうち、結核やマラリアなど再び流行傾向のある感染症を再興感染症という。</p> <p>a ○ 我が国では、結核に対する認識の低下などによる受診の遅れや診断の遅れ、多剤耐性結核の発生、高齢者の結核再発などが問題となっている。</p> <p>b × 新興感染症である。</p> <p>c × 新興感染症である。</p> <p>d × 新興感染症である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 64-65</p>	
<p>139 3歳児健康診査で正しいのはどれか。</p> <p>a 市町村が実施する。 b 児童福祉法に基づく。 c 費用は3割負担である。 d 2歳6か月から受診できる。</p> <p>▶keyword: 3歳児健康診査</p>	<p>解答: a</p> <p>3歳児健康診査は母子保健法に基づく法定健診である。</p> <p>a ○</p> <p>b × 母子保健法である。</p> <p>c × 市町村の全額負担である。</p> <p>d × 満3歳を超え満4歳に達しない幼児が対象である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生医学 244-245</p>	
<p>140 国民医療費を診療種別別にみたとき最も少額なのはどれか。</p> <p>a 入院医療費 b 入院外医療費 c 歯科診療医療費 d 薬局調剤医療費</p> <p>▶keyword: 国民医療費、歯科診療医療費</p>	<p>解答: c</p> <p>入院医療費は医科診療にかかる診療費のうち入院にかかる医療費で、入院外医療費は入院外の外来診療にかかる医療費である。歯科診療医療費は保険歯科診療にかかる診療費で、保険外の歯科医療費は含まない。薬局調剤医療費は医師の発行する処方せんにより保険薬局を通じて支給される薬剤等の額(調剤基本料等技術料と薬剤料の合計)である。</p> <p>a × 入院医療費は、平成22年度は140,908億円で国民医療費の37.7%である。</p> <p>b × 入院外医療費は、平成22年度は131,320億円で国民医療費の35.1%である。</p> <p>c ○ 歯科診療医療費は、平成22年度は26,020億円で国民医療費の7.0%であり、最も少ない。</p> <p>d × 薬局調剤医療費は、平成22年度は61,412億円で国民医療費の16.4%である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 125-126</p>	

問題 B		解答・解説
141	<p>保険診療の概念を図に示す。</p> <p>④はどれか。 a 被保険者 b 医療保険者 c 保険医療機関 d 審査支払機関</p> <p>▶ keyword : 医療保険制度</p>	<p>解答 : a</p> <p>医療保険は、疾病、負傷、死亡、分娩などによって生じる短期的な経済的損失に対して保険給付を行う制度である。④は被保険者、⑤は医療保険者、⑥は審査支払機関、⑦は保険医療機関である。</p> <p>a ○ 医療が必要ときに備え、各保険者に保険料を支払い、診療サービスを受ける際には一部負担金の支払いで済ませることができる。 b × 適切な診療が行われたかどうかの審査を行い、審査済みの診療報酬明細書が健康保険組合などに送られると、支払基金を通じて保険者から医療機関に医療費を支払う。 c × 保険診療を行った医療機関は、本来患者ごとのカルテから、傷病名、投薬、注射などの診療内容を診療点数表に基づいて作成した診療報酬明細書を審査支払機関に請求して診療報酬を受け取る。 d × 保険診療を行った医療機関から提出される診療報酬明細書の審査と治療にかかった医療費の支払業務を行う機関である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 103-104</p>
142	<p>多量元素はどれか。2つ選べ。 a 鉄 b フッ素 c カリウム d ナトリウム</p> <p>▶ keyword : 多量元素</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>生体を構成する元素は約 60 種あり、そのうち生体含有量が鉄および鉄以下の元素を微量元素、それ以外を多量元素とよぶ。</p> <p>a × 鉄は微量元素である。 b × フッ素は微量元素である。 c ○ カリウムは多量元素である。 d ○ ナトリウムは多量元素である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 162-163 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 71-72</p>
143	<p>妊娠初期に欠乏すると先天異常を引き起こすビタミンはどれか。 a 葉酸 b ナイアシン c ビタミン A d ビタミン B₁₂</p> <p>▶ keyword : ビタミンの欠乏症、葉酸</p>	<p>解答 : a</p> <p>葉酸は水溶性ビタミンの1つで、欠乏症は巨赤芽球性貧血である。妊娠初期に欠乏すると神経管閉鎖障害を引き起こす危険性がある。</p> <p>a ○ b × c × 妊娠初期の過剰摂取は胎児奇形を起こす危険性がある。 d ×</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 157-158 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 66-67</p>
144	<p>基礎代謝量について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 体表面積に比例する。 b 精神的緊張時は低くなる。 c 女性は同体重の男性よりも低い。 d 体重 1 kg あたりでは思春期が最大である。</p> <p>▶ keyword : 基礎代謝量</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>基礎代謝量とは生きていくのに最低限必要なエネルギーのことである。この値は年齢、性別、体格、体温、栄養状態、妊娠、ホルモンなどによって影響される。</p> <p>a ○ 体重および体表面積に比例する。 b × 精神的緊張時はアドレナリンの分泌が亢進し、基礎代謝量は増加する。 c ○ 女性は男性よりも筋肉量が少ないため基礎代謝量が低い。 d × 体重 1 kg あたりでは 1~2 歳が最大である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 132-133 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 26-27</p>

問題 B		解答・解説
歯科衛生士概論		
145	<p>患者とのコミュニケーションに必要なのはどれか。 a 審判的に話す。 b 間違っていることは否定する。 c 患者の話はうなずきながら聞く。 d 話の腰を折らないよう患者の話は聞き返さない。</p> <p>▶ keyword : コミュニケーション</p>	<p>解答 : c</p> <p>医療者にとって患者理解のためのコミュニケーションは必要不可欠である。患者理解のためのコミュニケーションには、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションがある。</p> <p>a × 患者とのコミュニケーションを構築するためには、非審判的態度(否定、肯定、解釈など医療人側の価値観を押しつけない)が大切である。 b × 患者の感情を配慮しなければ、患者が心を閉ざす原因になってしまう場合があるので注意が必要である。まずは患者を受け入れる受容の原則が大切である。 c ○ うなずきは「あなたの話を聞いていますよ」というサインで、患者が話を先に進めたり、より深く話を展開するための行動である。 d × 患者自身に話の内容を確認したり、正確に聞き取るためにも、聞き返すは必要である。患者からの情報をより多く得るためには、繰り返すことも重要である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 62-67</p>
臨床歯科医学		
146	<p>放射線の量を表現する名称と表す単位 of 組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。 a 放射能——ベクレル : Bq b 実効線量——グレイ : Gy c 吸収線量——シーベルト : Sv d 照射線量——クーロン毎キログラム : C/kg</p> <p>▶ keyword : 吸収線量、実効線量、照射線量、放射能</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>吸収線量(グレイ Gy) : 質量 1 kg あたりの物質に 1J (ジュール) の放射線のエネルギーが吸収された場合を 1 グレイという。実効線量(シーベルト Sv) : 放射線防護で用いる線量の単位。照射線量(クーロン毎キログラム C/kg) : エックス線やガンマ線が空気中を電離する能力を評価したもの。電離によって生成された電荷の量で表す。放射能(ベクレル Bq) : 放射能とは、放射線を放出する性質、および放出される放射線の量を表す。1 ベクレルは 1 秒に 1 放射線を出す放射性同位原子の量をいう。</p> <p>a ○ 放射能はベクレル(Bq)で表す。 b × 実効線量はシーベルト(Sv)で表す。 c × 吸収線量はグレイ(Gy)で表す。 d ○ 照射線量はクーロン毎キログラム(C/kg)で表す。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 10、14</p>
147	<p>透照診の検査でわかるのはどれか。2つ選べ。 a 歯の亀裂 b 歯髄の生死 c 隣接面のう蝕 d 歯髄腔の変化</p> <p>▶ keyword : う蝕の検査法、透照診</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>透照診は、歯に強い光を当てることによって、光の透過の違いを観察する方法である。健康なエナメル質は光をある程度透過する性質を有しているため、透過光は明るく見える。う蝕病層のように多孔性の部分があると乱反射して透過率が低下するために暗く見える。う蝕のほか、亀裂、破折の検査にも用いられる。</p> <p>a ○ b × 歯髄の生死は歯髄電気診で検査する。 c ○ d × 歯髄腔の変化は、エックス線検査で確認する。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 10 保存修復学 第6版 54-55</p>

問題 B		解答・解説
148	<p>歯科用器具の先端の写真(別冊 No. 2)を別に示す。 象牙質を切削する器具はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: う窩の開拓、軟化象牙質除去、手用切削器具</p>	<p>解答: b</p> <p>歯科用手用器具は先端の形状によって象牙質切削用、細部深部の探索用、セメントの搬送や填入に使用するものなどさまざまな用途がある。</p> <p>a × 練成充填器の先端である。先端は鈍で、セメントの搬送と填入に使用する。 b ○ エキスカベーターの先端である。手用切削器具で、軟化象牙質の除去に使用する。 c × エキスプローラーの先端である。象牙質知覚過敏症の診査、う窩の探索などに使用する。 d × ブラガーの先端である。根管充填時に加熱してガッタパーチャポイントの切断に使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 150</p>
149	<p>象牙質知覚過敏症の症状はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 自発痛 b 温熱痛 c 冷水痛 d 擦過痛</p> <p>▶ keyword: 象牙質知覚過敏症</p>	<p>解答: c、d</p> <p>象牙質知覚過敏症は、歯髄に変性が認められないにも関わらず、一過性の痛みを訴える疾患である。痛みは歯頸部に多く、冷風、冷水、擦過によって起こるが、刺激を取り去ると痛みはただちに消失する。</p> <p>a × b × c ○ d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 114-115</p>
150	<p>露髄を伴う歯冠破折歯の治療法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 抜髄 b 直接覆髄 c 間接覆髄 d 暫時的間接覆髄</p> <p>▶ keyword: 歯の破折、露髄、直接覆髄</p>	<p>解答: a、b</p> <p>露髄を伴う歯冠破折の場合、受傷から治療までの時間と露髄面の大きさ、さらに歯根の完成度によって治療方法が選択される。無菌性で露髄面が2mm以下の場合、保存的治療が可能で直接覆髄法によって治療するが、受傷時の汚染や経過時間が長い場合は歯髄除去療法が選択される。</p> <p>a ○ 2mm以上の露髄または露髄面に汚染がみられる場合、あるいは不可逆性歯髄疾患の治療法である。 b ○ 2mm以下の無菌性の露髄を来した場合の治療法である。 c × 歯髄との間に一層の健康象牙質が存在する場合の治療法である。 d × 歯髄に近接する窩底に非感染性の軟化象牙質が存在する場合の治療法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 130-136、140-144</p>
151	<p>ヨードチンキが皮膚に付着して着色した場合、脱色するのに用いる薬剤はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 生理的食塩水 b 水酸化ナトリウム溶液 c チオ硫酸ナトリウム溶液 d ヨウ素ヨウ化カリウム溶液</p> <p>▶ keyword: ヨードチンキ</p>	<p>解答: b、c</p> <p>ヨードチンキが皮膚や衣服に付着して着色した場合、頑固な着色のため水や生理的食塩水で洗い流すだけでは脱色できない。水酸化ナトリウム溶液やチオ硫酸ナトリウム溶液を用いる。</p> <p>a × b ○ c ○ d × ヨウ素ヨウ化カリウム溶液はフッ化ジアンミン銀の脱色に有効といわれている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 189</p>

問題 B		解答・解説
152	<p>歯髄が壊疽を起こして根尖に病変を有する根未完成歯に対して、根尖を閉鎖することを目的に行う処置はどれか。</p> <p>a 直接覆髄法 b 生活歯髄切断法 c アペキソグネーシス d アペキシフィケーション</p> <p>▶ keyword: アペキソグネーシス、アペキシフィケーション</p>	<p>解答: d</p> <p>根未完成歯に対する処置で、歯髄が壊疽を起こして根尖に病変を有する場合、根尖を閉鎖する処置を、アペキシフィケーションとよぶ。根管内の感染物を除去し、水酸化カルシウムを使用する。根未完成歯で根尖の歯髄が生活している場合には、アペキソグネーシスにより、歯根の成長を期待する。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 132-134、137-140、170-171</p>
153	<p>歯周基本治療について正しいのはどれか。</p> <p>a A-スプリントは外側性固定法である。 b 保存不可能な歯の抜歯は歯周基本治療終了後に行う。 c ルートプレーニングは病的なエナメル質を除去する。 d 歯周ポケット掻爬はポケット内壁の病的軟組織を除去する。</p> <p>▶ keyword: 歯周基本治療</p>	<p>解答: d</p> <p>歯周基本治療について理解することは重要である。</p> <p>a × A-スプリントは内側性固定法である。 b × 保存不可能な歯の抜歯は歯周基本治療の1つである。 c × ルートプレーニングは病的なセメント質や軟化象牙質を除去する。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 66-78</p>
154	<p>写真(別冊 No. 3)を別に示す。 この器具の使用法で正しいのはどれか。</p> <p>a 複根歯に使用する。 b 歯の動揺度の測定に使用する。 c 垂直的に根分岐部に挿入する。 d アタッチメントレベルの測定に使用する。</p> <p>▶ keyword: 歯周疾患の診査</p>	<p>解答: a</p> <p>写真の器具は根分岐部病変の診査に用いるファーケーションプローブである。</p> <p>a ○ b × 歯の動揺度の測定には、ピンセットを使用する。 c × 水平的に根分岐部に挿入する。 d × アタッチメントレベルの測定には使用しない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 54-56</p>
155	<p>支台歯形成後の写真(別冊 No. 4)を別に示す。 写真に示す操作はどれか。</p> <p>a 印象採得 b 咬合採得 c 歯肉排除 d 咬合調整</p> <p>▶ keyword: 咬合採得</p>	<p>解答: b</p> <p>写真は咬合採得を行っているところである。クラウンやブリッジを製作するためには、上下顎模型を生体と同じ関係に位置付けなければならない。上下顎の関係を再現するために、上顎に対する下顎の立体的位置関係を記録することを咬合採得という。</p> <p>a × 印象採得は、研究用模型や作業用模型を製作するために歯の型をとることである。既製トレーや専用トレーと、種々の印象材を用いる。 b ○ 咬合採得に用いられる材料として、ワックス、シリコーンゴム、石膏、コンパウンドがある。 c × 歯肉排除(歯肉圧排)には、機械的・化学的・外科的圧排法などがある。通常は血管収縮薬を浸み込ませた綿糸を歯肉溝内に圧排する機械的・化学的圧排法が用いられる。 d × 支台歯形成の咬合面削除法の確認のためにパラフィンワックスを用いることがある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 125-126</p>


問題 B		解答・解説
156	<p>写真(別冊 No.5)を別に示す。この操作で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 除去のタイミングは各セメントにより異なる。</p> <p>b 支台歯にワセリンを塗布する。</p> <p>c 歯間部にはデンタルフロスを使用する。</p> <p>d セメントは多少残存しても構わない。</p>	<p>解答: a, c</p> <p>写真はセメント合着操作における余剰セメントの除去を行っているところである。隣接面や歯肉溝内にセメントの取り残しがあると、歯肉の炎症の原因となるため完全に除去する必要がある。</p> <p>a ○</p> <p>b × 接着阻害因子になるため、ワセリンの塗布は行わない。</p> <p>c ○</p> <p>d × セメントの取り残しは歯肉の炎症の原因となる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 158</p> <p>▶ keyword: 合着</p>
157	<p>歯の欠損の長期放置による対合歯の変化はどれか。</p> <p>a 磨耗</p> <p>b 傾斜</p> <p>c 挺出</p> <p>d 歯冠破折</p>	<p>解答: c</p> <p>歯の欠損を長期に放置すると、力学的な平衡を保っている歯列のバランスが崩れ、空いたスペースに隣在歯が傾斜してくる。また、歯が欠損した側の歯列に限らず、対合歯にも影響を及ぼす。</p> <p>a × 歯の欠損により咬合接触を認めないので磨耗は起こらない。</p> <p>b ×</p> <p>c ○ 対合歯との咬合接触の喪失により、挺出を呈する。</p> <p>d × 強い咬合接触、外傷性咬合が原因で生じる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 24-26 新歯科衛生士教本 歯科補綴学 37-38</p> <p>▶ keyword: 欠損放置、挺出、傾斜</p>
158	<p>ブリッジと比較した場合の部分床義歯の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 審美性に優れる。</p> <p>b 歯の切削量が多い。</p> <p>c 清掃が容易である。</p> <p>d 修理が容易である。</p>	<p>解答: c, d</p> <p>a × クラスプが審美不良の原因となる。</p> <p>b × 床義歯は、レストシートとクラスプの走行部位をエナメル質の範囲内で削除する程度なので切削量は少ない。</p> <p>c ○ 床義歯は取り外しが可能なため、口腔外での清掃が可能である。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 49-63</p> <p>▶ keyword: 部分床義歯、ブリッジ</p>
159	<p>ウイルス性疾患はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 麻疹</p> <p>b アフタ</p> <p>c カンジダ症</p> <p>d 流行性耳下腺炎</p>	<p>解答: a, d</p> <p>口腔領域に発生するウイルス性疾患には、単純疱疹、帯状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病、麻疹、HIV 感染症、流行性耳下腺炎などがある。</p> <p>a ○ 麻疹ウイルスによるウイルス性疾患である。皮膚の発疹、頬粘膜への斑点の出現(コプリック斑)が認められる。</p> <p>b × 口腔粘膜に発現する小潰瘍である。</p> <p>c × カンジダ菌による日和見感染である。</p> <p>d ○ ムンプスウイルスによる伝染性疾患である。発熱、頭痛、耳下腺部の腫脹が起こる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 50-54, 116</p> <p>▶ keyword: 流行性耳下腺炎、麻疹</p>

問題 B		解答・解説
160	<p>器具の写真(別冊 No.6)を別に示す。歯根端切除術で使用しないのはどれか。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p>解答: d</p> <p>歯根端切除術の基本的な術式は、①口腔内洗浄・消毒、②麻酔、③切開、④粘膜骨膜弁の形成、⑤根尖部の骨削除、⑥根尖の切除、⑦根尖と病巣の摘出、⑧必要に応じて根管治療・充填、⑨洗浄、⑩縫合、⑪止血である。</p> <p>a ○ 持針器である。縫合に使用する。</p> <p>b ○ エレバトリウムである。粘膜骨膜弁の形成に使用する。</p> <p>c ○ マイセルである。根尖部の骨削除に使用する。</p> <p>d × ヘーベルである。抜歯術に使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 154-157, 244-246</p> <p>▶ keyword: 歯根端切除術</p>
161	<p>精神鎮静法の目的はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 鎮痛</p> <p>b 不安の軽減</p> <p>c 意識の消失</p> <p>d 恐怖感の軽減</p>	<p>解答: b, d</p> <p>精神鎮静法の目的は、患者の歯科治療に対する不安や緊張を軽減させ、安全に歯科治療を行うための処置である。痛覚は消失しないので、疼痛を伴う処置では局所麻酔を併用する。吸入鎮静法と静脈内鎮静法がある。</p> <p>a × 除痛効果は期待できない。</p> <p>b ○</p> <p>c × 精神鎮静法は意識を消失させない。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 194-199</p> <p>▶ keyword: 精神鎮静法</p>
162	<p>加強固定に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a タングクリップ</p> <p>b リップバンパー</p> <p>c アクチバトール</p> <p>d トランスパラタルアーチ</p>	<p>解答: b, d</p> <p>加強固定装置は、歯の移動に際して抵抗を補強して固定の喪失を防ぐ目的で用いられる。加強固定を目的として用いられる装置には、ナンスのホールディングアーチ、トランスパラタルアーチ、リップバンパー、ヘッドギアなどがある。</p> <p>a × タングクリップは加強固定装置として用いない。タングクリップは舌突山癖や指吸引癖などの口腔習癖を除去するための装置である。</p> <p>b ○ リップバンパーは下唇圧を利用して下顎大白歯の近心移動を防止するための機能的矯正装置であり、加強固定として用いることができる。</p> <p>c × アクチバトールは加強固定装置として用いない。アクチバトールは機能的矯正装置で、構成咬合採得が可能な下顎後退型上顎前突、機能性下顎前突、交叉咬合が主な適応症である。</p> <p>d ○ トランスパラタルアーチは矯正線が口蓋を横切り、主に左右の第一大臼歯を連結した装置で、加強固定に用いられ、大白歯の捻転の改善や大白歯の挺出防止にも用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 69-70, 72-73, 76-77</p> <p>▶ keyword: 加強固定</p>
163	<p>口腔内写真(別冊 No.7)を別に示す。Angle の不正咬合の分類はどれか。</p> <p>a I 級</p> <p>b II 級 1 類</p> <p>c II 級 2 類</p> <p>d III 級</p>	<p>解答: b</p> <p>Angle の分類は不正咬合の分類で、上顎側切歯を基準としている。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 下顎遠心咬合で上顎前歯が前突している。</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 32-33 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 33-34</p> <p>▶ keyword: Angle の不正咬合の分類</p>

問題 B		解答・解説
164	原因と不正咬合との組合せで正しいのはどれか。 a 握指吸引癖——反対咬合 b 舌突出癖——過齧咬合 c 乳臼歯の早期喪失——濃 生 d 舌小帯の付着異常——正中離開	解答: c a × 上顎前突や開咬になりやすい。 b × 開咬の原因となる。 c ○ 大臼歯の近心移動によって永久歯の萌出スペースが狭くなって叢生になりやすい。 d × 上唇小帯の肥厚によって正中離開の原因となる。 文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 35-36 最新歯科衛生士教本 小児歯科 43、55 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 35-40
▶ keyword: 不正咬合の原因、口腔習癖、局所的病因		
165	矯正装置の写真(別冊 No. 8)を別に示す。 この装置の目的はどれか。 a 加齢固定 b 舌癖の防止 c 歯列弓の側方拡大 d 大臼歯の遠心移動	解答: c 装置は可撤式拡大装置である。スクリューによって1~2週間ごとに0.2~0.25mmの拡大を行い、歯列弓の狭窄を改善する。 a × b × c ○ d × 文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 66、73-74 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 99-100
▶ keyword: 可撤式拡大装置		
166	9歳の男児。外傷により永久歯の破折をきたして来院した。口腔内写真(別冊 No. 9)を別に示す。 直接覆髄を行うことになった。準備すべき器材はどれか。2つ選べ。 a クレンザー b ラバーダムシート c ラルゴのリーマー d 水酸化カルシウム糊剤	解答: b、d 永久歯の歯冠破折において、露髄を伴う場合には、歯髓組織を除去する抜髄や断髄より、遠心症に限られるが直接覆髄が望ましい。 a × クレンザーは根管の歯髓を除去するときに用いる器具で、直接覆髄では用いない。 b ○ 小児歯科診療において、ラバーダム防湿は必須である。 c × ラルゴのリーマーは根管治療時に根管口拡大に用いる器具で、直接覆髄では用いない。 d ○ 露髄部を覆う直接覆髄薬には、水酸化カルシウム糊剤を用いる。 文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 78-80、156-158
▶ keyword: 直接覆髄、ラバーダム防湿、水酸化カルシウム糊剤		
167	スキヤモンの臓器別発育曲線でシグモイド曲線を描くのはどれか。 a 神経系型 b 一般系型 c リンパ系型 d 生殖器系型	解答: b スキヤモンの臓器別発育曲線は、組織・器官別の発育パターンを4つの型に大別したものである。 a × 乳児期から幼児期にかけてほぼ成人のレベルに発達する。 b ○ 新生児期、乳児期と思春期に急激な発育がみられる。緩やかなS字状(シグモイド曲線)を描く。 c × 思春期前まで急激な発育を示すが、その後は縮小する。 d × 思春期に急激に発育する。 文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 10-11
▶ keyword: スキヤモンの臓器別発育曲線		

問題 B		解答・解説
168	歯科健診を希望して来院した小児の口腔内写真(別冊 No. 10)を別に示す。 ヘルマンの咬合発育段階はどれか。 a II A b II C c III A d III B	解答: c 咬合の発育評価には、ヘルマンの咬合発育段階が用いられる。写真から上下顎第一臼歯の萌出および上下顎前歯が永久歯に交換しているのが確認できる。 a × 乳歯咬合完成期である。 b × 第一大臼歯および前歯萌出開始期である。 c ○ 第一大臼歯萌出完了あるいは前歯萌出中または萌出完了期である。 d × 側方歯群交換期である。 文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 36-42
▶ keyword: ヘルマンの咬合発育段階		
169	摂食・嚥下訓練における間接訓練の写真(別冊 No. 11)を別に示す。 この訓練の名称はどれか。 a プッシング訓練 b ガムラビング法 c メンデルソン手技 d アイスマッサージ	解答: d 間接訓練は飲食物を用いなく行う基礎的訓練であり、写真の訓練はアイスマッサージである。アイスマッサージは凍らせた銅棒などを用いて、前口蓋弓や舌根部、咽頭後壁の粘膜炎を軽くすることで嚥下反射を誘発させる手技である。 a × 間接訓練のうち声門閉鎖訓練の1つである。手で壁や椅子の座面を押したりしながら強く発声させることにより、声帯の内転を強化する。 b × 前歯部から臼歯部に向かって歯頸部歯肉をこすることにより、口腔内の感覚機能を高め、唾液分泌を促し、嚥下運動を誘発させる訓練である。 c × 喉頭を拳上した状態で数秒間維持することにより、舌背喉頭上を改善し、食道入口部の開大を強化する訓練である。 d ○ 文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 72-74 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 169-170 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 125-126 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 138-151
▶ keyword: 間接訓練、アイスマッサージ		
170	摂食・嚥下の5期のうち食塊形成を行う時期はどれか。 a 先行期 b 準備期 c 口腔期 d 咽頭期	解答: b 摂食・嚥下の過程は食物を認識して口腔に運ぶ先行期、咀嚼しながら唾液と混和して食塊を形成する準備期、食塊を舌で咽頭に送る口腔期、嚥下反射によって飲み込む咽頭期、食道蠕動運動により食塊を胃に運ぶ食道期に分けられる。 a × b ○ 食物を咀嚼し、唾液と混ぜて食塊を形成する時期である。 c × d ×
▶ keyword: 摂食・嚥下の5期、準備期		
171	在宅酸素療法を受けている慢性閉塞性肺疾患(COPD)の高齢患者が来院した。診療にあたり患者に装置を装着した写真(別冊 No. 12)を別に示す。 この装置でモニタリングするのはどれか。 a 血圧 b 血糖値 c 呼吸数 d 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)	解答: d 写真の装置はパルスオキシメーターで、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)のモニタリングをしているところである。呼吸器疾患の患者に対する歯科治療は、経皮的動脈血酸素飽和度の低下に注意しながら行う必要がある。 a × b × c × d ○ 文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 62-63 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 89
▶ keyword: 術中モニタリング、血中酸素飽和度		

問題 B		解答・解説	
172	<p>歯肉肥大の原因となる薬剤はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 向精神薬 b 抗凝固薬 c 高血圧治療薬 d 抗てんかん薬</p> <p>▷ keyword : 薬物誘発性歯肉肥大</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>障害者に多い服用薬剤の種類、用途、副作用について理解する。</p> <p>a × 向精神薬の副作用として、唾液分泌量の減少による口腔乾燥症を起こすため、唾液による口腔内の抗菌、自浄作用が低下し、食物の口腔内停滞を始め、プラークと歯石が沈着がしやすくなる。その結果、多発性の重症性歯肉炎や歯周病、粘膜疾患、口臭を起こしやすい。</p> <p>b × 抗凝固薬のワルファリンや、抗血小板薬のアスピリンを服用している患者に外科処置や歯周治療、ブラッシング指導を行う場合には出血しやすく止血しにくいことに対する注意が必要である。</p> <p>c ○ ニフェジピン、ニトレンジピン、アムロジピン、ジルチアゼム、ベラパミルなどのカルシウム拮抗薬は、薬物誘発性歯肉肥大を起こすことが知られている。</p> <p>d ○ 抗てんかん薬のフェニトインは難治性てんかんに対して他剤と併用処方される率が高い薬であり、フェニトイン服用者の約半数に薬物誘発性歯肉肥大が認められる。この歯肉肥大の発生と進行を抑制するにはプラークコントロールがきわめて有効である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 65-67 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 44-45</p>	
173	<p>障害児における歯科診療時の脱感作法はどれか。</p> <p>a 他人の行動を模倣させる。 b 歯科用器具に触れさせる。 c 「じょうずにできたね」とほめる。 d 視覚媒体によるスケジュールを提示する。</p> <p>▷ keyword : 脱感作法</p>	<p>解答 : b</p> <p>障害者歯科における脱感作法は、恐怖心が強く過敏反応がある患者に対し、実際にタービンやエンジンなどの歯科器具を触らせたり、音や振動だけを与えながら、軽い刺激から徐々に強い刺激を与えることで、過敏反応を示さなくなるように訓練する方法である。</p> <p>a × 模倣療法（モデリング法）である。</p> <p>b ○</p> <p>c × オペラント技法の正の強化である。</p> <p>d × TEACCH（ティーチ）プログラムでは絵カードや写真などの具体的なツールを用いて歯科診療の意味や手順、取るべき行動などをわかりやすく示すという方法を用いる。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 23-25 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 60-61</p>	
歯科予防処置論			
174	<p>写真（別冊 No. 13）を別に示す。器具と歯面に対する操作角度が15°で使用するのどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▷ keyword : スケーラー、歯面清掃器</p>	<p>解答 : d</p> <p>写真①はシクルスケーラー、②はグレーシートタイプキュレットスケーラーを示す。③は歯面清掃器、④は超音波スケーラーである。それぞれ歯面に対する最も効果的な角度で使用する。</p> <p>a × スケーラー内面と歯面のなす角度は、70~85°が歯石除去に最も効果的である。</p> <p>b × 歯面と刃のなす最もよい角度は45~90°である。</p> <p>c × 歯面清掃器の噴射の方向は、歯肉側から切縁に向け、歯面に対して30~80°の入射角で使用する。ノズルと歯面の間隔は2~5mm離す。</p> <p>d ○ 超音波スケーラーのインサートチップの基本使用角度は、歯面に対して15°前後である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 140、166、182-183 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置 69-70 ポイントチェック⑤ 12-13、20</p>	

問題 B		解答・解説	
175	<p>スケーラーの断面図を示す。</p>  <p>スケーラーの名称で正しいのはどれか。</p> <p>a ①—カーブドシクルタイプ b ②—グレーシートタイプキュレット c ③—ユニバーサルタイプキュレット d ④—ストレートシクルタイプ</p> <p>▷ keyword : 手用スケーラー、シャープニング</p>	<p>解答 : b</p> <p>手用スケーラーのシャープニングを行う際、スケーラーの刃部の形態や角度を十分に理解したうえで正しい、スケーラーの原型を変えないことが重要である。</p> <p>a × ユニバーサルタイプキュレットである。</p> <p>b ○</p> <p>c × ストレートシクルタイプである。</p> <p>d × グレーシートタイプキュレットである。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154、156</p>	
176	<p>写真（別冊 No. 14）を別に示す。この器具を使用する際に注意すべきことはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 連続的に操作する。 b 研磨剤で潤滑状態を保つ。 c 器具の辺縁が少し広がる程度に圧接する。 d 歯冠部から歯肉側に向かって操作する。</p> <p>▷ keyword : 歯面研磨、ラバーカップ</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>写真はラバーカップで、歯面研磨剤を併用し歯の表面の滑沢化を目的として使用するものである。使用時は、低速回転で断続的に操作する。また、摩擦熱が生じないように研磨剤を使用し浸潤状態を保ち、ラバーカップの辺縁が少し広がる程度に圧接し、歯肉側から歯冠側に向かって操作する。</p> <p>a ×</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d ×</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174-178</p>	
177	<p>5mgI²/kg（体重）以下のフッ化物摂取量の急性中毒の対処で正しいのはどれか。</p> <p>a 胃の内容物を吐かせるか胃洗剤を行う。 b 心電図を観察しながら救急処置を行う。 c 経口でカルシウム製剤を与えて観察する。 d 尿の排泄に留意し必要により利尿剤を投与する。</p> <p>▷ keyword : 急性中毒</p>	<p>解答 : c</p> <p>Baylessらは体重1kgあたりのフッ化物摂取量による急性中毒の対処法を3段階に分けている。15mg以上は、ただちに入院させ、胃洗浄、10mLの10%グルコン酸カルシウム液静注をゆっくり行うとしている。</p> <p>a × 5mgF/kg以上のフッ化物を摂取したときの急性中毒への対処法である。</p> <p>b × 15mgF/kg以上のフッ化物を摂取したときの対処法でただちに入院させ、心電図を観察しながら救急処置を行う。</p> <p>c ○</p> <p>d × 15mgI²/kg以上のフッ化物を摂取したときの対処法である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生薬学 156-158 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 184-188</p>	

問題 B		解答・解説
178	<p>2歳の女児。上顎前歯部類側歯頸部の白濁を主訴として来院した。診断の結果、臼齦部は実質欠損はないが脱灰性のものがあった。</p> <p>適切な対応はどれか。</p> <p>2つ選べ。</p> <p>a フッ化物洗口 b う蝕活動性試験 c フッ化物歯面塗布 d コンポジットレジン修復</p>	<p>解答：b, c</p> <p>2歳児は第一乳臼歯が萌出し始め、上顎咬合面や歯頸部の汚れが目立つ頃である。また、上顎前歯部などにう蝕が発生する頃でもある。このケースでは、上顎前歯部の臼齦部は実質欠損はないことからう蝕ではないが、脱灰性のものなので初期病変があると考えられる。このままの状態が続けば治療を要するう蝕へと進展するおそれもあるが、適切なう蝕予防処置や保健指導によってう蝕予防や進行阻止ができる。</p> <p>a × 2歳児は十分なうがいができないことから、フッ化物洗口は適切ではない。 b ○ う蝕活動性試験を行い、う蝕予防プログラムの立案やモニタリング、評価、保健指導時の動機づけに用いる。 c ○ フッ化物歯面塗布は、2歳児にも適応可能なう蝕予防処置である。 d × 実質欠損はなくう蝕ではないことから、コンポジットレジン修復の必要はない。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-200</p>
<p>▶ keyword：フッ化物洗口、う蝕予防処置</p>		
179	<p>う蝕予防を目的としたフッ化物応用法とフッ化物イオン濃度との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a フッ化物歯面塗布法——900 ppm b フッ化物洗口法——226 ppm c フッ化物配合歯磨剤——50 ppm d 水道水フッ化物添加——5 ppm</p>	<p>解答：b</p> <p>う蝕予防のためのフッ化物は、使用頻度が多いほど濃度が低い。</p> <p>a × フッ化物歯面塗布法は一般的に、フッ化物イオン濃度 9,000 ppm の 2% フッ化ナトリウム溶液、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液・ゼリーを用いる。 b ○ フッ化物洗口法は、毎日法としてフッ化物イオン濃度 226 ppm の 0.05% フッ化ナトリウム溶液を用いる。週 1 回法としてフッ化物イオン濃度 900 ppm の 0.2% フッ化ナトリウム溶液を用いる。 c × 歯磨剤に配合されるフッ化物イオン濃度は、薬用法で 1,000 ppm 以下に規定されている。 d × 日本の水道法では、フッ化物イオン濃度 0.8 ppm 以下と規定されている。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 189</p>
<p>▶ keyword：フッ化物イオン濃度</p>		
180	<p>9歳の女児。実施するう蝕活動性試験の写真（別冊 No. 15）を別に示す。</p> <p>実施後、ピンク色に色調変化が認められた。この女児に対する指導で正しいのはどれか。</p> <p>a 砂糖の入った食べ物は控えてください。 b 今のところ問題ないので歯磨きを続けましょう。 c むし歯があるので歯科医院で治療を行ってください。 d 歯茎から出血するので歯と歯茎の境目を磨いてください。</p>	<p>解答：a</p> <p>写真はリスク評価に用いられるう蝕活動性試験の1つである RD テスト®で、唾液中のレザズリン還元性菌の活性をみるものである。判定は、ディスクの色調変化から、青色、紫色、ピンク色の3つに分けられ、ピンク色が最もリスクが高い状態である。指導内容としては、糖分摂取の制限と歯磨きの励行があげられる。う蝕リスクの過剰を把握することは、個人にあったう蝕予防プログラムを立案するための重要な目安となる。</p> <p>a ○ b × う蝕活動性が低いと判定される青色に色調変化した場合の指導内容である。 c × う蝕活動性試験は、う蝕になりやすいかを判定するもので、う蝕の有無を判定することはできない。 d × 歯周病に関する説明であるため不適切である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 117-119 最新歯科衛生士教本 保健生体学 142-144 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 33-37、117-119</p>
<p>▶ keyword：う蝕活動性試験、RD テスト®</p>		

問題 B		解答・解説
181	<p>う蝕活動性試験の写真（別冊 No. 16）を別に示す。</p> <p>ブラークを検体とするう蝕活動性試験はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p>	<p>解答：a</p> <p>う蝕活動性試験には、唾液を検体とするもの、ブラークを検体とするもの、エナメル質を検体とするものがある。</p> <p>a ○ カリオスタット®である。ブラークを検体とし、ブラーク中の糞産生菌の酸産生能を測定する。 b × Dentocult® -LB である。唾液を検体とし、乳酸菌数を測定する。 c × Dentocult® -SM である。唾液を検体とし、ミュータンスレンサ球菌数を測定する。 d × RD テスト®である。唾液を検体とし、レザズリン還元性菌の活性を測定する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 117-119、121-124 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 116-119、120-121</p>
<p>▶ keyword：う蝕活動性試験、カリオスタット®、Dentocult® -LB、Dentocult® -SM、RD テスト®</p>		
182	<p>う蝕活動性試験とその評価項目の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a Dentocult® -LB——ミュータンスレンサ球菌数の測定 b カリオスタット®——糞産生菌の酸産生能 c Dentobuff® -Strip——唾液緩衝能 d Dentocult® -SM——乳酸菌数測定</p>	<p>解答：b, c</p> <p>う蝕病原因子および宿主因子からう蝕の発病と進行を予測するための、う蝕活動性試験には種々の評価方法がある。</p> <p>a × Dentocult® -LB は乳酸菌数を測定する。 b ○ c ○ d × Dentocult® -SM はミュータンスレンサ球菌数を測定する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 118 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 35-36</p>
<p>▶ keyword：う蝕活動性試験</p>		
183	<p>フッ化物歯面塗布時期と対象歯の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 5~6歳——乳前歯 b 9~10歳——第一小臼歯 c 10~11歳——第一大臼歯 d 12~13歳——第二大臼歯</p>	<p>解答：b, d</p> <p>萌出直後の歯はフッ化物の取り込みが高いため、それぞれ個々の歯が萌出するたびに塗布を行うことが望ましい。</p> <p>a × 乳前歯のフッ化物歯面塗布開始時期は1歳頃である。 b ○ c × 第一大臼歯のフッ化物歯面塗布開始時期は5~7歳である。 d ○</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 190-191</p>
<p>▶ keyword：フッ化物歯面塗布</p>		
184	<p>フッ化物歯面塗布法で正しいのはどれか。</p> <p>a 塗布後は洗口させる。 b 塗布時間は3~4分である。 c 塗布剤はガラス容器に準備する。 d 隣接面はワックスタイプのデンタルフロスで清掃する。</p>	<p>解答：b</p> <p>フッ化物歯面塗布法では、一般的に2%フッ化ナトリウム溶液、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液・ゼリーが用いられている。その他8%フッ化第一スズ溶液などがある。歯面清掃、防湿・乾燥、フッ化物の塗布、余剰フッ化物の除去の手順で行う。</p> <p>a × 塗布後の口に溜まった唾液は、そのまま吐き出す。塗布後30分間はうがいや飲食は避けるように指導する。フッ化物の効果の限界や次回リコールについて説明する。 b ○ 2 mL 以下のフッ化物溶液を綿球や綿棒を用いて塗布を行い、3~4分湿潤状態を保つように塗り足す。ゼリーの場合は全体に塗布できていることを確認し、3~4分そのままの状態を保ち、塗り足す必要はない。 c × フッ化ナトリウム溶液は、ガラス腐食性を有することからプラスチック容器を使用する。 d × ワックスタイプはワックスが歯面に付着してしまうので、アンワックスタイプを使用する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 193-195</p>
<p>▶ keyword：フッ化物歯面塗布法</p>		

問題 B		解答・解説	
185	<p>フッ化物洗口法について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 乳歯萌出直後に洗口法を開始する。</p> <p>b 洗口液は1週間程度で使いきるようにする。</p> <p>c フッ化ナトリウム試薬は歯科医師か医師が処方する。</p> <p>d 成人や高齢者の隣接面う蝕および根面う蝕予防に効果がある。</p>	<p>解答: c、d</p> <p>フッ化物洗口法は毎日法と週1回法があり、萌出後の歯の表面にフッ化物を作用させることをねらいとした局所応用である。</p> <p>a × 乳歯が萌出する頃はまだうがいができない。うがいができない場合には適応できない。</p> <p>b × 洗口液は調製後3週間から1か月程度で使いきる。</p> <p>c ○ 洗口に用いる薬剤は試薬特級粉末で、歯科医師か医師によって処方される。</p> <p>d ○</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-200 最新歯科衛生士教本 小児歯科 134-135 最新歯科衛生士教本 保健生態学 166-168</p>
▶keyword: フッ化物洗口			
186	<p>フッ化物洗口法について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 昼食後や就寝前の実施が効果的である。</p> <p>b 5歳児の場合は1回約10mL使用する。</p> <p>c 家庭で毎日行う場合は900ppmの濃度で実施する。</p> <p>d 萌出直後の永久歯に対するう蝕予防に効果的である。</p>	<p>解答: a、d</p> <p>フッ化物洗口法はフッ化物局所応用法の1つである。洗口ができる年齢を考えると、主に萌出直後の永久歯に対するう蝕予防に効果的である。家庭や保育所・幼稚園で毎日行う場合は0.05%フッ化ナトリウム(226ppm)、週1回行う場合は0.2%フッ化ナトリウム(900ppm)で行う方法が普及している。使用量は未就学児で約5mL、小学生以上で約10mL程度とし、洗口液を口に含み30秒から1分間下を向いた姿勢でよくぶくうがいを行う。洗口後は30分程度は飲食を避けたほうがよいため、昼食後や就寝前の洗口が効果的である。</p> <p>a ○ 効果を持続させるため、洗口後30分程度は飲食を避ける。</p> <p>b × 未就学児は約5mL使用する。</p> <p>c × 毎日法では、0.05%フッ化ナトリウム(226ppm)の濃度で使用する。</p> <p>d ○ 洗口ができる年齢を考えると、主に永久歯に対するう蝕予防対策として効果的である。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-198</p>
▶keyword: フッ化物洗口法			
187	<p>週1回法のフッ化物洗口に使用するのはどれか。</p> <p>a 0.02%NaF</p> <p>b 0.05%NaF</p> <p>c 0.2%NaF</p> <p>d 2%NaF</p>	<p>解答: c</p> <p>フッ化物洗口週1回法に用いるフッ化物は0.2%NaFで、フッ化物イオン濃度は900ppmである。</p> <p>a ×</p> <p>b × 0.05%NaFはフッ化物洗口毎日法に用いる。</p> <p>c ○</p> <p>d × 2%NaFはフッ化物歯面塗布に用いる。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 197</p>
▶keyword: フッ化物洗口使用薬剤			

問題 B		解答・解説	
188	<p>Bis-GMA系充填材を用いた小窩裂溝充填法の術式を示す。</p> <p>① → 歯面清掃 → ② → 水洗・乾燥 → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ⑨</p> <p>□に入る語句の組合せて正しいのはどれか。</p> <p>① 簡易防湿 ② 酸処理 ③ 白濁部の確認</p> <p>a 簡易防湿 酸処理 白濁部の確認</p> <p>b 簡易防湿 フッ化物歯面塗布 酸処理</p> <p>c 酸処理 ラバーダム防湿 咬合調整</p> <p>d ラバーダム防湿 酸処理 咬合調整</p>	<p>解答: d</p> <p>Bis-GMA系充填材を用いた小窩裂溝充填法の術式は、①ラバーダム防湿、②歯面清掃、③水洗・乾燥、④酸処理、⑤水洗・乾燥、⑥充填、⑦重合(光重合の場合は光照射)、⑧未重合部の水洗あるいはアルコール綿球による除去、⑨ラバーダム防湿の除去、⑩咬合調整である。</p> <p>a × 酸処理の際にはラバーダム防湿を行う。酸処理によりエナメル質が脱灰され、白濁を生じる。酸処理後、水洗・乾燥させて白濁部の確認を行い、その範囲内で充填を行う。</p> <p>b × フッ化物歯面塗布は充填後に行う場合もあるが、酸処理前に行うことはない。</p> <p>c × ラバーダム防湿後に酸処理を行う。</p> <p>d ○</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 201 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 31-33</p>
▶keyword: Bis-GMA系充填材、酸処理			
189	<p>小窩裂溝充填法について誤っているのはどれか。</p> <p>a 酸処理には30~50%リン酸を用いる。</p> <p>b 酸処理時間は指示書より長くと接着力が低下する。</p> <p>c グラスアイオノマー系の充填材は簡易防湿下で行うこともある。</p> <p>d 可視光線を充填材表面から1cm程度離して直角に20秒間照射し重合する。</p>	<p>解答: d</p> <p>小窩裂溝充填は、脱落や二次う蝕の誘発に大きく影響するため、確実に行う。</p> <p>a ○ 酸処理は一般的に30~50%のリン酸溶液・ゲルが用いられる。処理時間は指示書に従う。</p> <p>b ○ 充填材の種類によって酸処理時間が違うので、必ず指示書を確認する。</p> <p>c ○ グラスアイオノマーは、酸処理はしない。酸処理が必要な場合は完全防湿下で行う。唾液が付着すると接着力の低下につながる。</p> <p>d × 可視光線の照射は、充填材表面から1mm程度離して直角に行う。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-205 新歯科衛生士教本 歯科予防処置 238-240 ポイントチェック⑤ 35</p>
▶keyword: 小窩裂溝充填法			
歯科保健指導論			
190	<p>健康日本21(第2次)について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 基本的な方針として9項目があげられている。</p> <p>b 歯・口腔の健康目標に口腔機能の維持・向上がある。</p> <p>c 健康増進を担う人材として歯科衛生士が含まれている。</p> <p>d 2007年から2016年までの10年間の国民健康づくり運動である。</p>	<p>解答: b、c</p> <p>健康日本21(第2次)は、2012年までの「健康日本21」の最終評価に基づいて、ライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現できるよう、国民の健康の総合的な推進をはかるための基本的な事項を示し、2013年から2022年までの10年間を活動期間としたものである。</p> <p>a × 基本的な方針は、①健康寿命の延伸と健康格差の縮小、②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、③社会生活を営むために必要な機能の維持・向上、④健康を支え、守るための社会環境の整備、⑤栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、口腔の健康の5項目である。</p> <p>b ○ 口腔機能の維持・向上が新たに盛り込まれた。</p> <p>c ○ 地方自治体において、健康増進を担う人材として、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、管理栄養士、栄養士、歯科衛生士などが、生活習慣全般についての保健指導および住民からの相談を担当する。</p> <p>d × 活動期間は2013年から2022年までの10年間である。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 7-8</p>
▶keyword: 健康日本21(第2次)			

問題 B		解答・解説
191	セルフケアで使用するのはどれか。2つ選べ。 a 舌ブラシ b エパチップ c フッ化物配合歯磨剤 d フッ化物配合歯面研磨剤	解答: a, c セルフケアとは、健康管理を自分自身で行うことである。食生活への配慮や丁寧なブラッシングなどがこれにあたる。 a ○ b × PMTCの必要器材で、プロフェッショナルケアに使用する。 c ○ d × プロフェッショナルケアとして、歯面研磨に使用する。 文獻: 最新歯科衛生士教本 保健生観学 87、123、168-171 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 178-183、212-213、225 keyword: セルフケア
192	ADL (日常生活動作) の判定基準項目はどれか。2つ選べ。 a 入浴 b 移動 c 歯磨き d 買い物	解答: a, b ADLとは日常生活動作で、一人の人間が独立して生活するための基本的な身体動作である。判定基準項目は、①移動、②食事、③排泄、④入浴、⑤着替え、⑥整容、⑦意志疎通の動作があげられる。 a ○ b ○ c × 歯磨きは口腔清掃の自立度判定基準 (BDR 指標) の項目である。 d × 買い物は手段的日常生活動作 (IADL) の項目である。 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 340 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 74-75 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 5-6、117-118 keyword: ADL
193	ブラッシングの写真 (別冊 No. 17) を別に表示。 このブラッシング方法の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 歯ブラシの脇腹を歯面に当てる。 b 歯周ポケット内に毛先を挿入する。 c 歯間部のプラーク除去効果が高い。 d 歯列不正や歯間空隙の大きい場合にも応用できる。	解答: c, d 写真は、歯ブラシの毛先を使う1歯ずつの縦磨き法である。この方法は歯ブラシを縦にして歯軸に平行に当てて上下運動を行う。時間はかかるが歯間部の清掃効果が高く、歯列不正、歯間空隙の大きい場合にも適応できる。 a × 歯ブラシの脇腹を歯面に当てるのは、ローリング法、スティルマン法、スティルマン改良法などである。 b × 歯周ポケット内に毛先を挿入する方法はバス法およびバス改良法である。 c ○ d ○ 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 216-217 keyword: ブラッシング法
194	写真 (別冊 No. 18) を別に表示。 矢印の部位の清掃に適した清掃用具はどれか。2つ選べ。 a 歯間ブラシ b タフトブラシ c スーパーフロス d ジェット水流洗口機	解答: a, c 写真はボンティックの基底面である。この部位の清掃には、歯間ブラシやスーパーフロスなどを使用する。 a ○ 歯間ブラシはこのほか、インプラント部や歯肉の退縮部位などに使用する。 b × 歯列不正、インプラント、根分岐部、最後臼歯遠心などに使用する。 c ○ スーパーフロスは、補綴装置の連結部やインプラント部に使用する。 d × 食物残渣の除去や、歯周ポケット内の非付着性プラークの除去に効果的である。 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 220-221 keyword: ボンティック基底面、歯間ブラシ

問題 B		解答・解説
195	口腔乾燥症への対応で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 唾液腺のマッサージを応用する。 b 原因となる薬剤の服用を直ちに中止してもらう。 c 口腔粘膜が乾燥しやすい患者には保湿剤を使用する。 d 慢性症状となった唾液分泌減少には水分補給を行う。	解答: a, c 口腔乾燥の原因は病気などの症状として起こるもの (シェーグレン症候群や糖尿病など) と薬の副作用によるものがある。生活習慣や服用薬剤を改善する原因療法と、唾液分泌減少や口腔乾燥症による口腔機能の改善を行う対症療法がある。 a ○ 口腔機能の低下を防ぐため顎下腺や耳下腺などのマッサージや口腔体操を応用するとよい。 b × 副作用の少ない薬剤への変更や薬剤量の軽減などの対処を検討するために、主治医に相談する。 c ○ 口腔粘膜が乾燥しやすい患者には保湿剤を使用すると効果が高い。 d × 急性の口腔乾燥や唾液分泌減少には水分補給が有効であるが、慢性症状の場合は浸透圧調節の障害により、水分補給によっても体内に水分が吸収されにくい。 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 283-284 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 135-136 keyword: 口腔乾燥症、唾液腺マッサージ、唾液分泌
196	禁煙ステージを図に示す。 無関心期 → 関心期 → ① → 実行期 → 維持期 ①はどれか。 a 期待期 b 反省期 c 継続期 d 準備期	解答: d 禁煙支援 (サポート) は、対象者の禁煙ステージ (喫煙ステージ) を把握し、そのステージに合った支援をすることで効果的に行動変容を促すことができる。無関心期は、禁煙を考えていないステージである。関心期は、禁煙に関心はあるが、すぐに (1か月以内) 禁煙するつもりはないステージである。実行期は、禁煙を実行するステージ (禁煙して6か月以内) である。維持期は、禁煙を継続し (6か月以上)、維持、評価するステージである。 a × b × c × d ○ 禁煙に関心があり、すぐに (1か月以内) 禁煙しようと思っているステージである。 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 231-235 歯科衛生士のための禁煙支援ハンドブック 36-37 keyword: 喫煙習慣
197	代用甘味料について正しいのはどれか。 a う蝕誘発性が高い。 b 3度の食事に取り入れる。 c 摂取量が多ければ多いほどよい。 d 加熱しても安定で甘さを失わない。	解答: d 代用甘味料とは砂糖に代わる甘味料として、食べて安全である、十分な甘みを有する、砂糖と同等に安価である、加熱しても安定で甘さを失わないなどの条件を満たし、糖尿病や肥満などの生活習慣病患者の食事制限や生活習慣病予防、う蝕予防として利用されている。代用甘味料には、糖質系甘味料 (バラチノース、カップリングシュガーなどのオリゴ糖やソルビトール、キシリトールなどの糖アルコール)、非糖質系甘味料 (アスパルテーム・アミノ酸系) などがある。 a × う蝕予防を目的として利用されている。 b × 発酵性糖質を必要量摂取することは栄養学上不可欠であることから、3度の食事の糖質までを代用甘味料に置き換えることは望ましくない。 c × 大量摂取により下痢を起こすことがあるので、摂取量は年齢や体重により注意が必要である。 d ○ 文獻: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 51-54 最新歯科衛生士教本 保健生観学 204 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 102-104 keyword: 代用甘味料、非発酵性糖質

問題 B		解答・解説						
198	オーラルディアドコキネシスで評価できるのはどれか。 a 不顕性摂食 b 嚥下回数 c 口唇の動き d 発音の血弱	<p>解答：c</p> <p>オーラルディアドコキネシスは舌や口唇、軟口蓋などの運動の速度や巧緻性を発音を用いて評価するものである。「pa 音」、「ta 音」、「ka 音」を繰り返しながら早く発音させ、その数を5秒間もしくは10秒間測定し、1秒間に換算して評価する。</p> <table border="1"> <tr> <td>pa 音</td> <td>口唇の動きを評価する</td> </tr> <tr> <td>ta 音</td> <td>舌前方の動きを評価する</td> </tr> <tr> <td>ka 音</td> <td>舌後方の動きを評価する</td> </tr> </table> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 69 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 76</p>	pa 音	口唇の動きを評価する	ta 音	舌前方の動きを評価する	ka 音	舌後方の動きを評価する
pa 音	口唇の動きを評価する							
ta 音	舌前方の動きを評価する							
ka 音	舌後方の動きを評価する							
▶ keyword : オーラルディアドコキネシス								
199	介護予防事業において口腔機能の向上サービスを行う職種はどれか。2つ選べ。 a 言語聴覚士 b 歯科衛生士 c 管理栄養士 d 介護支援専門員	<p>解答：a, b</p> <p>介護予防事業における口腔機能の向上サービスは、口腔機能訓練、歯科保健教育、口腔清掃サービスなどの支援を行う。医師、歯科医師の指示の下、言語聴覚士、歯科衛生士のほか、看護職員も実施を担当する。</p> <p>a ○ 言語機能訓練および摂食・嚥下機能訓練を行う。 b ○ 器質的・機能的口腔ケアを行う。 c × 要介護者などに対し、安全で確実な栄養摂取が行えるよう食形態などを指導するが、直接的には口腔機能の向上サービスには関与しない。 d × 要介護者に対し、介護保険サービスにかかるケアプラン作成および業種間の調整を行うが、サービスには関与しない。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生徳学 279-280</p>						
▶ keyword : 多職種連携								
200	要介護者への食事介助の際の配慮で正しいのはどれか。2つ選べ。 a テレビをつけてにぎやかな雰囲気にする。 b クッションを使用して摂食姿勢を楽にする。 c 食事が終わったらすみやかに横にさせる。 d 個人の嚥下能力に合わせてペースングを調整する。	<p>解答：b, d</p> <p>機能障害や機能低下による緊張やむせなどで、誤嚥や窒息を起こさないよう安全に食事介助を行う。食事環境（心理的配慮、覚醒や体調の確認、摂食姿勢、食具や食器の選択など）と食事介助（量やスピードなど）、食内容（栄養、水分摂取、食形態など）の配慮が必要である。</p> <p>a × 食環境は、要介護者がリラックスした状態で食事ができるよう、テレビやラジオなど賑々しい雑音は避けたほうがよい。食事に集中できる落ち着いた雰囲気を整える必要がある。 b ○ 安定した呼吸と摂食・嚥下機能を最大限に引き出す姿勢にする。頭頸部はやや前屈位、体幹を安定させ、股関節・膝関節は屈曲させ、足底部は床などに付けた状態にするといふ。 c × 要介護者は、食事をするだけで疲れて横になりたがることも多いが、胃食道逆流による誤嚥を防止するために、食後すぐに臥床しないようにする。 d ○ 食事介助の際には、声かけをして覚醒を促し、食べる意欲を引き出してから行う。食事状況や機能を観察しつつ、食事速度（ペースング）やひと口量を考えながら安全においしく食事できるよう配慮する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 121-124 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 173-176</p>						
▶ keyword : ペースング、摂食姿勢								

問題 B		解答・解説
201	介護予防のための基本チェックリストの口腔機能に関する質問として正しいのはどれか。2つ選べ。 a 口の渇きが気になりますか。 b 食べこぼしが多くなりましたか。 c お茶や汁物でむせることがありますか。 d 半年前に比べて食べる量が減りましたか。	<p>解答：a, c</p> <p>要介護状態になるおそれの高い状態にあるかどうかを基本チェックリストを実施して判断する。基本チェックリストの質問項目は全部で25項目で、生活機能全般、運動機能全般、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知症状、うつ症状の機能や症状についてチェックする。口腔機能関連の質問項目は、「半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか」「お茶や汁物でむせることがありますか」「口の渇きが気になりますか」の3項目である。</p> <p>a ○ b × c ○ d ×</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 111 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 215-217</p>
▶ keyword : 摂食・嚥下障害		
202	1歳6か月児健康診査でを行う歯科衛生教育で適切なのはどれか。2つ選べ。 a 仕上げ磨きの実施 b 指しゃぶりの指導 c 離乳の進め方 d デンタルフロスの使用	<p>解答：a, c</p> <p>1歳6か月児歯科健康診査は、母子保健法に基づいて市町村保健センターで実施されている。健診内容は、身長・体重などの身体測定、心臓や腸の動きをみる全身のチェック、運動機能や言語、情緒の発達をみる発達のチェックと歯科健診である。</p> <p>a ○ この時期は、保護者が主になって口腔清掃を実施する。無理をせず、短時間でも毎日継続して行うことが口腔清掃習慣の形成には大切であることを指導する。 b × 指しゃぶりは正常な顎および歯列の発育が妨げられることがあるので、背景にある心理的要因に配慮したうえで慎重に指導する。5歳を過ぎても指しゃぶりが継続する場合は、舌の習慣を誘発するなどして問題が複雑になり、開咬、上顎前突などへの歯科治療が必要となる場合もある。 c ○ 生後5か月頃から母乳やミルクだけでは栄養不足が生じるため離乳を開始する。生後12~18か月頃に完了するといふ。 d × 乳臼歯部のう蝕が好発する時期である。フッ化物配合歯磨剤の使用と就学時までに歯磨きとデンタルフロスの習慣が身につくように指導する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生徳学 247-248 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 69-71</p>
▶ keyword : 1歳6か月児健康診査		
203	学校歯科健康診断の事後措置で受診の勧告が必要な歯式の記号はどれか。2つ選べ。 a / b ○ c × d C	<p>解答：c, d</p> <p>学校歯科健康診断で、現在歯（\、-）、う歯（C）、喪失歯（△）、要注意乳歯（×）、処置歯（○）および要観察歯（CO）は歯式の該当歯に記号を付する。Cおよび×においては、地域の歯科医療機関において精密検査もしくは診断や治療を受けたほうがよいことから、受診の勧告をする必要がある。</p> <p>a × 現在歯である。乳歯・永久歯ともに該当歯を斜線または連続横線で消す。 b × 処置歯である。充填および補綴によって歯の機能を替むことができると認められたものをいう。 c ○ 要注意乳歯である。保存の適否を慎重に考慮する必要があると認められる乳歯である。 d ○ 未処置歯である。ただちに処置を必要とするものである。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生徳学 265-267 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 41</p>
▶ keyword : 学校歯科健康診断、歯式、受診勧告		

問題 B		解答・解説	
204	<p>硫酸を取り扱う作業所で従業員に対し、歯の酸蝕症予防の歯科衛生教育を行うことになった。収集すべき情報はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 従業員の年齢 b 作業場の換気状況 c 一般健康診断の結果 d 特殊健康診断の結果</p> <p>▶ keyword: 産業保健、職業性疾患、歯の酸蝕症</p>	<p>解答: b, d</p> <p>歯の酸蝕症は、産業職場において発生した酸のガスまたはミストが直接歯に作用し、歯の表面に脱灰をきたし、白濁および欠損を生じたものをいう。歯の酸蝕症の予防には、作業環境の管理として、酸の発生を最小限にし、酸を吸入しない対策が必要である。遠隔操作などにより作業方法を改善したり、保護具の使用により酸の吸入を防止するなど、必要に応じた対策をとる。歯科衛生教育としては、歯の酸蝕症の発生機序、予防法、治療法、歯周病やう蝕の予防法とあわせて、口腔の健康に関心をもち保健行動に結びつけるよう、講話や個別保健指導などを行っていく。</p> <p>a × 歯の酸蝕症の発症において問題になるのは年齢でなく従事年数である。年数が長いほど、酸のガスやミストに暴露する機会が長くなるため、歯の酸蝕症の発症リスクが高まる。</p> <p>b ○ 酸のガスやミストの発生職場では、換気をよく行い、有害物質の濃度をできる限り低くする必要がある。</p> <p>c × 一般健康診断には歯科健診が義務づけられておらず、口腔内状況の把握はできない。</p> <p>d ○ 硫酸を取り扱う作業員には特殊健康診断において、歯科医師の健康診断が義務づけられている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生化学 282-293</p>	
歯科診療補助論			
205	<p>矯正装置の写真(別冊 No. 19)を別に示す。</p> <p>この装置を調整するとき使用するブライヤーはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ヤングブライヤー b スリージョーブライヤー c ジャラバックブライヤー d ユーティリティーブライヤー</p> <p>▶ keyword: 矯正歯科用器具、装置の調整</p>	<p>解答: a, b</p> <p>写真はアクチバートルである。顎間誘導線は1.0mmで、矯正治療のなかでは太いワイヤーである。</p> <p>a ○ ヤングブライヤーは、比較的太いワイヤーを屈曲するためのブライヤーで、補助弾線やクラスプの屈曲、調整に用いる。一方のピークは太さが3段階の円柱形、もう一方は内面が平坦な角錐形である。それぞれの内面にはワイヤーを確実に保持できるように溝が刻まれている。</p> <p>b ○ スリージョーブライヤーは、三嘴鉗子ともよばれ、2本のピーク(くちばし)部分と1本のピークの間にワイヤーを決んで“くの字”に曲げる。アーチワイヤー、リテーナー、クラスプを曲げたり調整したりするのに使用する。</p> <p>c × ジャラバックブライヤーは、主にライトワイヤーの屈曲に用いる。ピークの一方は先端が円錐形で体部は角錐形になっており、内面に3本の溝がある。他方のピークは内面が平らで1本の溝がある。</p> <p>d × ユーティリティーブライヤーは、多目的に用いる鉗子で、主にワイヤーの結紮、主線の着脱適合、バンドの適合、ロックピンの保持に用いる。ピークは先端にいくに従って細く、なだらかに彎曲している。先端内面には滑り止めの溝があり、把持部分の面積を大きくしてある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 70-71、127-134 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い 136-137 ポイントチェック④ 61-63</p>	

問題 B		解答・解説	
206	<p>口腔内写真撮影を行う際の注意事項はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ミラーを使用する際はミラーを温めておく。 b 口角鉤は滅菌パックから出してそのまま使用する。 c 口角鉤を引く際は患者に口元に力を入れてもらう。 d 咬合面を撮影する際はファインダーの画面中央に正中を合わせる。</p> <p>▶ keyword: 口腔内写真撮影</p>	<p>解答: a, d</p> <p>口腔内写真の撮影は、治療による変化を把握する目的とした資料の1つである。効率よく的確に撮影する技術を身につけておく必要がある。</p> <p>a ○ 呼吸によるくもりを防ぐため、ミラーをぬるま湯に入れるなどして温めておくことよい。スリーウェイシリンジでくもりをとることもある。</p> <p>b × 口角鉤はあらかじめ鉤の部分を水で濡らし、下唇部より滑らすようにするとスムーズに挿入できる。</p> <p>c × 口元に力を入れると口角鉤が引けないので、口元に力を入れないように患者に声をかける。</p> <p>d ○ 咬合面全体が入るようにする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 121-122</p>	
207	<p>口腔内に装着した矯正装置の写真(別冊 No. 20)を別に示す。</p> <p>①②の装置の構成要素とワイヤーの種類で正しいのはどれか。</p> <p>① ②</p> <p>a バンド アーチワイヤー b バンド 結紮ワイヤー c ブラケット 結紮ワイヤー d ブラケット アーチワイヤー</p> <p>▶ keyword: マルチブラケット</p>	<p>解答: d</p> <p>写真の装置は、マルチブラケット装置である。マルチブラケット装置は歯面にブラケットを装着して、アーチワイヤーの弾性力を利用して、歯列を整えて、咬みあわせを改善する方法である。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 68-69、144</p>	
208	<p>小児の歯科診療において適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 治療経緯をあらかじめ聞いておく。 b 身体疲労を考慮午後予約をとる。 c 治療器材は患児にみせながら準備する。 d 注意持続力が短いので長時間待たせない。</p> <p>▶ keyword: 小児の歯科診療</p>	<p>解答: a, d</p> <p>長時間の治療に耐えられない小児の特性を理解して、すみやかに診療を終えることができるように準備する。事前に健康状態も確認する。</p> <p>a ○ b × 疲労の少ない午前中の予約が望ましい。 c × 治療に必要な器材・薬剤は歯科医師と治療内容を確認し、患児の目に入らないところで開始前に準備しておく。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 140-142</p>	

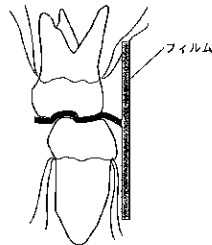
問題 B		解答・解説	
209	<p>乳歯用既製冠修復に使用する器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯頸部の過剰部分は金冠バサミを使用する。</p> <p>b 過高部の調整には咬合面調整鉗子を使用する。</p> <p>c 歯頸部の適合にはホウのプライヤーを使用する。</p> <p>d 合着用のセメントは既製冠の内面に薄くつける。</p>	<p>解答: a, b</p> <p>a ○ 支台歯の歯冠高径に乳歯冠が適合するように乳歯用既製冠の歯頸部の余分な部分を切り取るのに使用する。</p> <p>b ○ 咬合時の乳歯冠の過高部をプライヤーの嘴ではさみ、押しつぶして低くして咬合面を調整するのに使用する。</p> <p>c × 歯頸部の適合にはゴードンやムシャーンのプライヤーを使用する。</p> <p>d × 合着用のセメントは冠縁から気泡が入らないように流し込み、乳歯用既製冠一杯に満たすと脱離を防ぐことができる。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 150-153 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い 173-174</p>
▶ keyword: 乳歯用既製冠、プライヤー、合着			
210	<p>歯科診療における高齢者への対応で適切なのはどれか。</p> <p>a 高い声で話す。</p> <p>b 言語的働きかけを多くする。</p> <p>c 同じ高さの目線で正面から声かけを行う。</p> <p>d 説明は一度にたくさんの情報を伝える。</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 高齢者の聴力は、高音域が聞こえにくいため、低めの声ではっきり・ゆっくりと話しかける。</p> <p>b × 非言語的働きかけを多くする。手を握る、肩に手を置く、背中をさする、笑顔などによって安心し、よいコミュニケーションがとれることがある。</p> <p>c ○ 白内障や緑内障などにより、視力が低下していたり、視野が狭くなっていることがある。また、加齢による聴力の低下がみられることが多いため、適切な面接距離を保ち、同じ高さの目線で正面から声かけを行う。</p> <p>d × 一度にたくさんを言われたり聞かれたりすると、パニック状態に陥り事実と異なる返事をしてしまうなど、正確な状態を確認できない場合もある。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 46-51 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 46-49, 134</p>
▶ keyword: 高齢者への対応			
211	<p>摂食・嚥下機能障害のスクリーニングテストのある方法を示す。</p> <p>・冷水3mLを口腔前庭に注ぎ、嚥下するように指示する。</p> <p>・可能ならば追加して2回嚥下運動をしてみせ、最も悪い嚥下活動を評価する。</p> <p>この評価方法はどれか。</p> <p>a 水飲みテスト</p> <p>b 改訂水飲みテスト</p> <p>c 段階的フードテスト</p> <p>d 反復嚥下テスト</p>	<p>解答: b</p> <p>摂食・嚥下機能障害のスクリーニングとは、摂食・嚥下障害の有無をいくつかの手段で評価し、ふるいわけをすることである。特殊な器具を用いずに、短時間で摂食・嚥下機能に関連する器官の運動の概要を把握できる。これらの検査は、摂食・嚥下障害に関連する病気や原因を明らかにするのではなく、精密検査を必要とするかどうかの判断に利用する。</p> <p>a × 30mLの水をコップから飲んでもらい、その様子を観察する方法である。比較的多量の飲水を使うため、重症な場合は危険を伴うことがあり、用いないほうがよい。</p> <p>b ○ 水飲みテストが多量の誤嚥を生じるなどの危険を伴うために改訂された方法である。</p> <p>c × 嚥下の口腔期の動きである食塊形成と咽頭への移送の機能について、3種類のテストフードの残留部位と残留量によって評価する方法である。</p> <p>d × 咽頭の挙上の触診を定量的に測定する方法で、随意的な嚥下反射惹起性を評価する。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 66-69 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 158-160 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 124-126</p>
▶ keyword: 摂食・嚥下機能障害のスクリーニング、改訂水飲みテスト			

問題 B		解答・解説	
212	<p>歯科診療所における障害者への対応で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 移動などすべて手伝う。</p> <p>b 待合室は健常者と分ける。</p> <p>c 診療室は車椅子が移動しやすいようにしておく。</p> <p>d 急な変化への対応をあらかじめ決めておく。</p>	<p>解答: c, d</p> <p>歯科診療所において、高齢者や障害者などの患者の歯科診療補助を遂行するにあたり、患者の身体的・精神的特徴を理解し、患者に必要な介助を行うとともに、二次的な事故を回避するために万全な注意を払う必要がある。</p> <p>a × できるかぎり患者にまかせ、必要なときに介助を行うことが望ましい。</p> <p>b × 特に分ける必要はないが、行動障害や多動などにより待てない患者は、待ち時間の少ない時間帯に予約をするなど配慮する。</p> <p>c ○</p> <p>d ○ てんかんの発作や体調の変化、パニックなど、急な変化への対応はあらかじめ決めておく。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 149 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 261-271 ポイントチェック⑥ 69-72</p>
▶ keyword: 障害者への対応			
213	<p>経腸栄養法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 胃瘻</p> <p>b 中心静脈栄養法</p> <p>c 末梢静脈栄養法</p> <p>d 間欠的経腸栄養法</p>	<p>解答: a, d</p> <p>摂食・嚥下障害が重篤な場合や疾病の急性期には、口以外からの栄養摂取を必要とすることがある。経腸栄養法には経鼻経腸栄養法や間欠的経腸栄養法、胃瘻がある。</p> <p>a ○ 胃瘻とは、皮膚の上から胃に穴を開けて直接栄養を送れるようにする経腸栄養法である。</p> <p>b × 中心静脈へカテーテルを挿入し、栄養を補給する経静脈栄養法である。</p> <p>c × 末梢静脈へカテーテルを挿入し、栄養を補給する経静脈栄養法である。</p> <p>d ○ 栄養摂取時に、鼻、または口から食道あるいは胃までカテーテルを挿入し、栄養（流動食）を補給する経腸栄養法である。</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 83 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 114-116</p>
▶ keyword: 経腸栄養法			
214	<p>エックス線写真を現像したところ全体が白っぽくなった。原因はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 定着時間が長すぎる。</p> <p>b 現像温度が高すぎる。</p> <p>c 照射時間が長すぎる。</p> <p>d 現像液が劣化している。</p>	<p>解答: a, d</p> <p>エックス線写真が白くなる原因としてあげられるのは、定着時間が長すぎる、照射時間が短すぎる、現像時間が短すぎる、現像温度が低すぎる、現像液が劣化している、現像液の希釈濃度などである。</p> <p>a ○</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○</p>	<p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 111-112</p>
▶ keyword: エックス線写真の現像、黒化度不足			

問題 B

解答・解説

215 図を示す。



この撮影法はどれか。

- a 咬合法
b 平行法
c 咬翼法
d 二等分法

▶keyword: エックス線フィルム、咬翼法

解答: c

口内法の種類を問う問題で、この図は咬翼法である。咬翼法は、歯冠隣接面、歯頸部、歯根頂部の撮影に適しており、根尖部は観察できない。

- a × 咬合法はフィルムを上下の歯で咬んだ状態で撮影する。
b × 平行法は、歯軸とフィルムを平行に保ち、それらに垂直に投影する。
c ○
d × 二等分法は、フィルムと歯軸がなす角度の二等分線に対してエックス線を垂直に投影する。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 33-44
新歯科衛生士教本 歯科放射線学 45-47、83-91

216 エックス線写真撮影の放射線防護のために正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 照射野は最小限とする。
b 高感度フィルムを用いる。
c 正確に撮影できるまで振り廻ける。
d 成人の口内法エックス線撮影では甲状腺専用の防護カラーを用いる。

▶keyword: 放射線防護

解答: a, b

不必要な患者の被曝を避けるために、できる限り少ない線量で撮影する。

- a ○
b ○
c × できる限り撮影の失敗をなくし、最低限の枚数とすることが望ましい。
d × 小児を対象とした口内法エックス線撮影に甲状腺専用の防護カラーを用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 16-17
新歯科衛生士教本 歯科放射線学 151-153

217 血圧測定について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 聴診器は通常腹面を用いる。
b 体位は臥位あるいは坐位で行う。
c 上腕を心臓の高さより低くする。
d マンシュートは上腕にゆるみのないように巻く。

▶keyword: 血圧測定

解答: a, b

生理検査の1つである血圧測定は、患者個人、年齢や性別、その日の状態によって変化する。歯科治療を行う前に測定し、患者の現在の体調を把握することは大切である。

- a ○
b ○
c × 上腕を心臓の高さと一致させる。
d × マンシュートは上腕に指が1~2本入る程度に巻く。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 180-181
最新歯科衛生士教本 臨床検査 16-18
新歯科衛生士教本 歯科診療補助 287-289
新歯科衛生士教本 臨床検査法 32-33
ポイントチェック⑤ 179

問題 B

解答・解説

218 ABO 式血液型検査のおもて試験の結果を表に示す。

	抗 A 血清	抗 B 血清
①	非凝集	凝集
②	凝集	凝集
③	非凝集	非凝集
④	凝集	非凝集

A 型はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶keyword: ABO 式血液型、抗 A 血清、抗 B 血清

解答: d

おもて試験は患者の赤血球を用い、抗 A 抗体が含まれる血清 (抗 A 血清) および抗 B 抗体が含まれる血清 (抗 B 血清) をそれぞれ反応させることによって判定する。A 型は、A 型の赤血球に抗 A 血清を反応させると凝集が起こる。

- a × 抗 B 血清に凝集しているのは、B 型である。
b × 抗 A 血清、抗 B 血清ともに凝集しているのは、AB 型である。
c × 抗 A 血清、抗 B 血清ともに凝集していないのは、O 型である。
d ○ 抗 A 血清に凝集しているのは、A 型である。

文献: 最新歯科衛生士教本 臨床検査 41-43
ポイントチェック⑤ 180

219 一次救命処置の手順で正しいのはどれか。

- a 胸骨圧迫→人工呼吸→気道確保→AED による除細動
b 人工呼吸→気道確保→AED による除細動→胸骨圧迫
c 気道確保→胸骨圧迫→人工呼吸→AED による除細動
d AED による除細動→気道確保→胸骨圧迫→人工呼吸

▶keyword: 一次救命処置 (BLS)

解答: c

一次救命処置 (BLS) とは、器具を用いない気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、自動体外式除細動器 (AED) の使用、窒息に対する気道異物除去のことをいう。手順は、①傷病者の発見、②傷病者と救助者の安全確認、③気道確保、④呼吸の確認、⑤循環の確認、⑥胸骨圧迫、⑦人工呼吸、⑧AED による除細動である。

- a ×
b ×
c ○
d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 209-215
ポイントチェック⑤ 181-182

220 歯科治療時、患者が悪寒、悪心、めまいを訴え、血圧低下、徐脈、顔面蒼白の症状がみられた。このときの対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 保温する。
b 水平位にする。
c 呼吸を再吸入する。
d 抗アレルギー薬を投与する。

▶keyword: 神経性ショック

解答: a, b

歯科治療時の全身の偶発症について、症状、原因、治療法を理解しなければならない。この場合、血管迷走神経反射 (神経性ショック) が考えられる。神経性ショックの症状は、自覚症状は悪寒、悪心、めまい、脱力感、他覚症状は血圧低下、徐脈、顔面蒼白、冷汗、嘔吐、意識レベル低下などである。原因は、歯科治療に対する不安、恐怖、歯科治療時の痛み刺激で、歯科治療中の全身の偶発症のなかで最も多くみられる。治療法は、水平位、酸素吸入、下肢挙上、保温、輸液、昇圧薬投与などである。

- a ○
b ○
c × 過換気症候群に対する処置である。過換気症候群の場合、血圧正常、頻脈、過呼吸となる。
d × 薬物アレルギーに対する処置である。薬物アレルギーの場合、徐脈ではなく頻脈となる。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 206-207
ポイントチェック⑤ 182

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生化学	3	問 5	問 114~115
生理学	7	問 6~9	問 116~118
病理学	5	問 10~11	問 119~121
微生物学	5	問 12~14	問 122~123
薬理学	5	問 15~16	問 124~126
口腔衛生学	15	問 17~24	問 127~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 25~32	問 134~141
栄養学	5	問 33~34	問 142~144
歯科衛生士概論	2	問 35	問 145
歯科臨床の基礎	3	問 36	問 146~147
保存修復学	5	問 37~39	問 148~149
歯内療法学	5	問 40~41	問 150~152
歯周治療学	5	問 42~44	問 153~154
歯科補綴学	7	問 45~47	問 155~158
口腔外科学	7	問 48~51	問 159~161
歯科矯正学	7	問 52~54	問 162~165
小児歯科学	7	問 55~58	問 166~168
高齢者歯科学	5	問 59~60	問 169~171
障害者歯科学	5	問 61~63	問 172~173
歯科予防処置	32	問 64~79	問 174~189
歯科保健指導	30	問 80~94	問 190~204
歯科診療補助	32	問 95~110	問 205~220
計	220		

(出題数は当社予測による)

実習で役立つ参考書

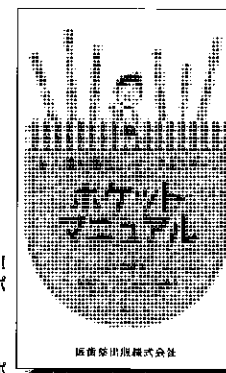
新人歯科衛生士・デンタルスタッフ

ポケットマニュアル

江澤庸博 著

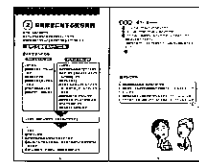
臨床実習から卒業まで 重宝すること まちがいないし!

- ◆これ一冊で新人教育はOK!
- ◆臨床現場に出るすぐ必要とされる知識が満載!
—基本的なマナー、受付業務、電話応対、診療室の管理、患者応対 etc.
- ◆新人にも任せられる基本的な業務を、診療の流れに沿って解説。
—器材などの写真多数掲載。準備するものがすぐわかるビジュアルなレイアウト!
- ◆初心者に必要な歯式や口腔内の部位の名称、歯科治療に関する基本的知識なども掲載
—ポイントの学習・確認に最適!
- ◆頻用される薬剤・材料はカラー写真で総覧!
- ◆必要な時すぐに取り出して確認できるポケットサイズ
—持ち歩きにも便利です!
- ◆書き込み用の広いメモスペース
—自院で使う薬材・薬剤、臨床現場で気づいた“ポイント”を書き込めば、あなただけの“MYポケットマニュアル”に!
- ◆スタッフ教育にお悩みの院長先生にもおすすめの書!
- ◆歯科衛生士学校学生の臨床実習にも最適です。

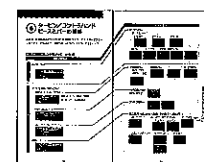


■新書判/260p
オールカラー
■定価 3,570円

(本体 3,400円 + 税 5%)



対照例つきでわかりやすい!



間違いやすい器材は写真で確認!

学びを深める参考テキスト



やさしい 治癒のしくみとはたらき 歯周組織 編

下野正基 著

●A4判/136p/オールカラー/定価4,620円(本体4,400円+税5%)

歯科衛生士が押さえておきたい必須テーマを厳選し、臨床と基礎を融合させた内容をエビデンスに基づいてもっともやさしく解説した書。臨床で遭遇する歯周組織の「治癒のしくみとはたらき」に関連する疑問については、Q&Aで明解に回答。



Dr.弘岡に訊く 臨床的ペリオ講座 2 歯科医師と歯科衛生士に必要なエビデンス

弘岡秀明・中原達郎・加藤典 著

付録DVDビデオ付

●B5判/184p/オールカラー/定価6,825円(本体6,500円+税5%)

歯科衛生士の歯周治療における重要なテーマを厳選し、臨床における“1つの疑問に対し、エビデンスで答える”という形式で、エビデンスを臨床に活用する力が自然に身につく画期的な書。歯周治療全般にわたる各処置および歯周病とインプラント、メインテナンス・SPTまでを詳説!



歯科衛生士ベーシックスタンダード 審美歯科

末瀬一彦・土屋和子・南 昌宏・宮崎真至 編著

●B5判/160p/オールカラー/定価4,620円(本体4,400円+税5%)

審美歯科治療のベーシックがやさしく学べる! 審美歯科治療の基本的知識・アプローチから、臨床術式までのスタンダードを系統的&ビジュアルにまとめた初の1冊! 歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士のチーム協働をスムーズに行うためのエッセンスを凝縮しました。